

**小牧市地域福祉に関する市民調査
報告書**

平成 28 年 3 月

小牧市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 回収状況	1
II. 市民アンケート	2
1. 回答者の属性	2
(1) 年齢 (Q1)	2
(2) 性別 (Q2)	3
(3) 同居している家族の構成 (Q3)	4
(4) 同居家族内の高齢者または障がいのある人の有無 (Q4)	5
(5) 住まいの小学校区 (Q5)	5
(6) 就業・就学状況 (Q6)	6
(7) 小牧市在住年数 (Q7)	7
(8) 居住形態 (Q8)	8
2. 地域福祉についての考え	9
(1) 小牧市は地域活動・ボランティア活動が活発なまちだと思うか (Q9)	9
(2) 住民同士のかかわりについて (Q10)	10
(3) 住民同士の支え合いのための個人情報の取扱いについて (Q11)	10
3. 地域活動について	11
(1) 近所付き合いの程度 (Q12)	11
(2) 自治会への加入有無 (Q13)	12
(3) 参加している地域の活動・行事内容 (Q14)	13
(4) 新たな支え合いの関係を築くために必要なつながり (Q15)	15
(5) ボランティア活動への参加経験 (Q16)	16
(6) 参加したボランティア活動・行事 (Q16-2)	17
(7) 今後のボランティア活動への参加意向 (Q17)	18
(8) ボランティア活動に参加したくない理由 (Q17-2)	18
(9) 行っている自助活動 (Q18)	19
(10) 現在行っている活動、今後行いたい活動 (Q19)	21

4. 地域の課題について	22
（１） 住んでいる地域の住みやすさ （Q20）	22
（２） 日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物 （Q21）	23
（３） 住んでいる地域に必要な活動 （Q22）	24
（４） 問題や困りごとが生じた場合の解決方法 （Q23）	25
（５） 支援しやすい環境とするために必要な取り組み （Q24）	25

5. 地域福祉を推進するため.....	26
（１） 「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまち （Q25）	26
（２） 新たな地域のつながりを築くために進めるべき取り組み （Q26）	27
（３） 小牧市社会福祉協議会の認知度 （Q27）	28
（４） 小牧市社会福祉協議会の機関や事業で知っているもの （Q27-2）	29
（５） 地域包括支援センターの認知度 （Q28）	30
（６） 災害時も含めた地域活動をするうえで行政にしてほしいこと （Q29）	31
（７） 地域の活動に割くことのできる時間 （Q30）	32
（８） 地域情報等について希望する提供方法 （Q31）	32

III. 中学生.....33

1. 回答者の属性.....	33
（１） 回答者の中学校.....	33
（２） 性別 （Q1）	33

2. ボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について	34
（１） ボランティア活動への参加経験の有無 （Q2）	34
（２） ボランティア活動に参加してよかったこと、楽しかったことの有無 （Q3）	34
（３） 中学校卒業後のボランティア活動への参加意向 （Q4）	35
（４） 盆踊りやお祭りなどの地域の行事への参加経験の有無 （Q5）	35
（５） 地域行事に参加してよかったと思ったこと、楽しかったことの有無 （Q6）	36
（６） 今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向 （Q7）	36

3. 地域活動について	37
（１） 近所の人とのかかわり （Q8）	37
（２） 地域活動でやってみたいこと （Q9）	38
（３） 「自助」「共助」「公助」についての認知度 （Q10）	40
（４） 日頃生活している中での、地域の一員としてのあり方 （Q11）	40
（５） 災害時に地域の一員としてできること （Q12）	42
（６） 地域活動が行える時 （Q13）	44

IV. 前回調査(平成 23 年)との比較.....45

1. 市民アンケート 45

(1)	回答者の属性（年齢・性別）	45
(2)	家族構成	46
(3)	就業・就学状況	46
(4)	小牧市在住年数	47
(5)	居住形態	47
(6)	住民同士のかかわり	48
(7)	住民同士の支え合いのための個人情報の取扱い	48
(8)	近所付き合いの程度	49
(9)	自治会への加入有無	49
(10)	参加している地域の活動・行事内容	50
(11)	新たな支え合いの関係を築くために必要なつながり	51
(12)	ボランティア活動への参加経験	51
(13)	今後のボランティア活動への参加意向	52
(14)	ボランティア活動に参加したくない理由	53
(15)	住んでいる地域の住みやすさ	53
(16)	日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物	54
(17)	問題や困りごとが生じた場合の解決方法	55
(18)	「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまち	55
(19)	小牧市社会福祉協議会の認知度	56
(20)	地域包括支援センターの認知度	56

2. 中学生 57

(1)	回答者の属性	57
(2)	ボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について	57
(3)	中学校卒業後のボランティア活動への参加意向	58
(4)	盆踊りやお祭りなどの地域の行事への参加経験の有無	58
(5)	今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向	59

V. 小学校区別まとめ 60

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「自分たちの地域は自分たちで創る」といった自治意識のもと、「小牧市がめざす福祉のまち」「日常の地域活動（自助、共助）の取り組みや今後の参加意向」などについての考えをきき、「第2次小牧市地域福祉計画／第2次小牧市地域福祉活動計画～あなたが主役 助け合いの輪でつながるまち こまき」の見直しのための基礎資料とします。

2. 調査対象

一般調査：市内に居住している18歳以上の方の中から3,000人を無作為に抽出

中学生調査：市内の中学校2年生

3. 回収状況

	配布数	回収数	有効回収率
一般市民	3,000	1,639	54.6%
中学生	1,479	1,414	95.6%

Ⅱ. 市民アンケート

1. 回答者の属性

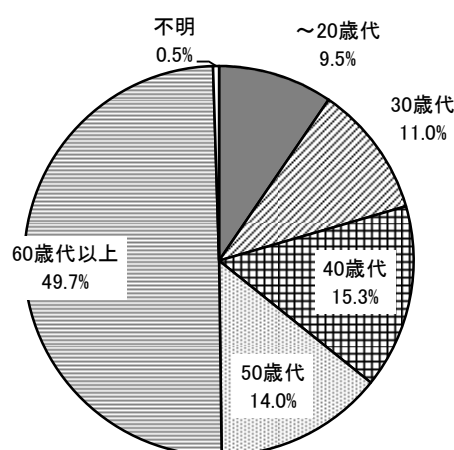
(1) 年齢 (Q1)

回答者の年齢については、約半数が「60 歳以上」(49.7%) となっています。次いで、「40 歳代」が 15.3%、「50 歳代」が 14.0%となっています。

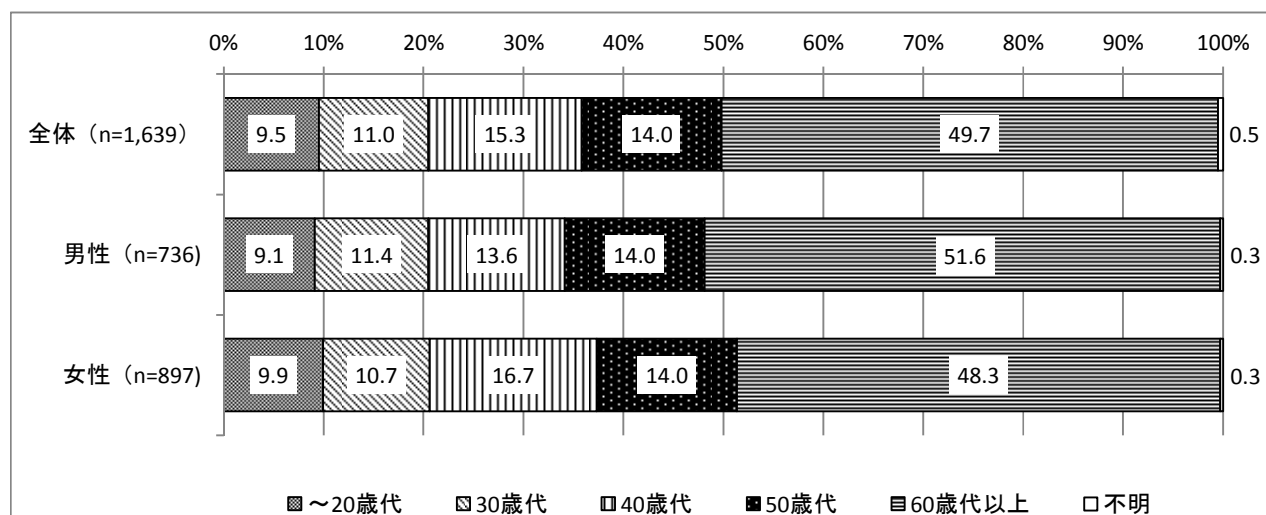
男女別にみると、大きな違いはないものの、女性の方が男性に比べてやや「40 歳代」の割合が高くなっています。

小学校区別にみると、「小牧」、「小牧南」では「～40 歳代」が半数以上を占めている一方で、「三ツ渕」、「篠岡」、「北里」、「一色」、「小木」、「本庄」、「桃ヶ丘」、「陶」では「60 歳代以上」が半数以上を占めており、小学校区によって年齢構成に違いがみられます。

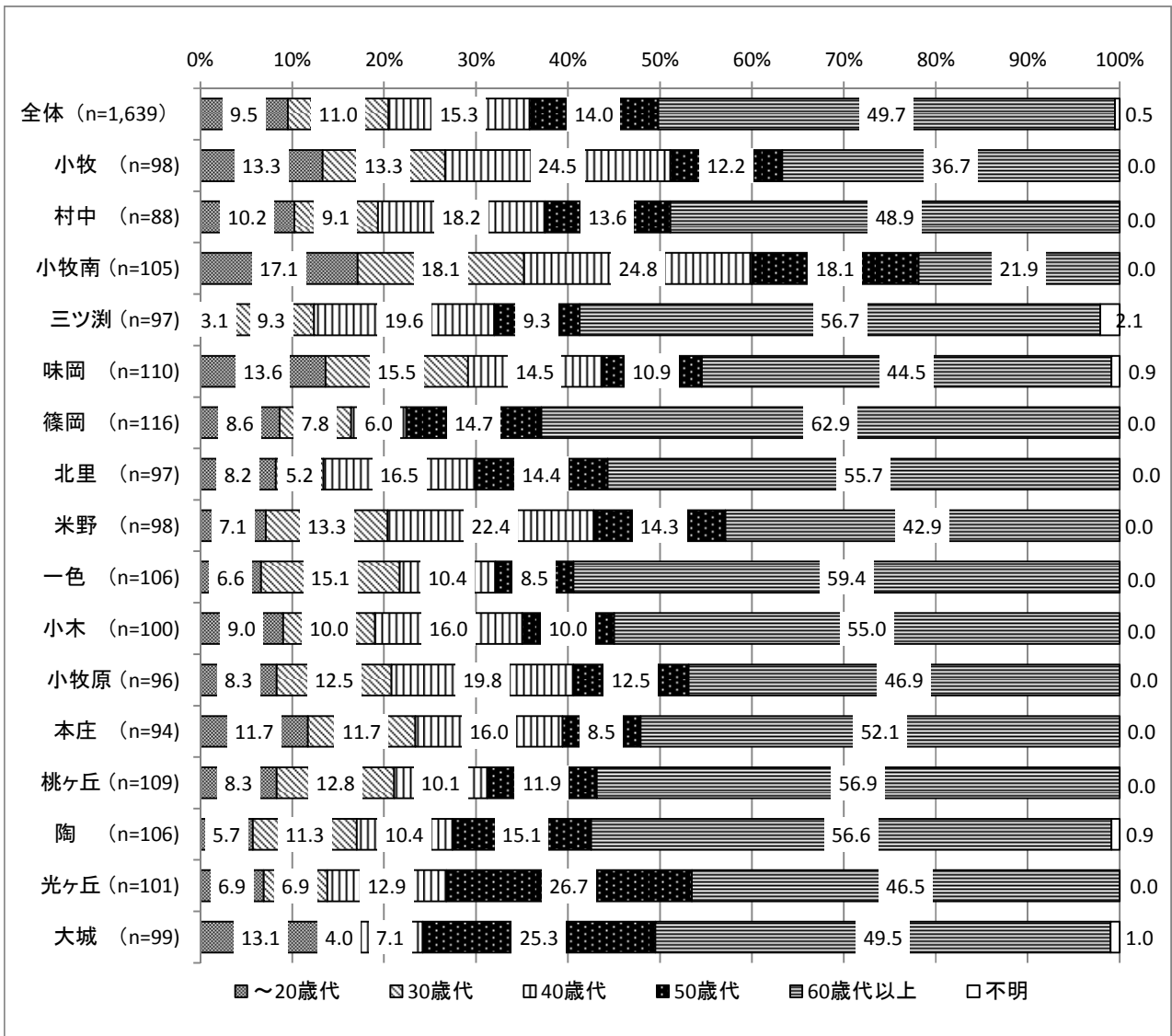
図表－ 1 年齢 (n=1,639)



図表－ 2 男女別 年齢 (n=1,639)



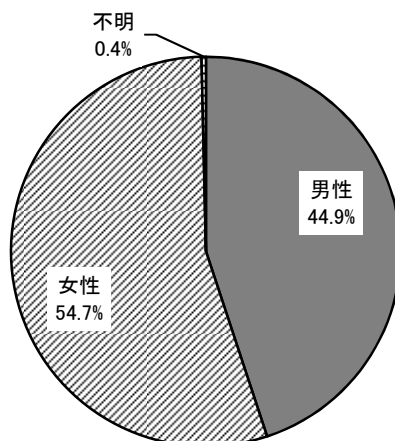
図表－ 3 小学校区別 年齢 (n=1,639)



(2) 性別 (Q2)

回答者の性別については、「男性」が 44.9%、「女性」が 54.7%となっています。

図表－ 4 性別 (n=1,639)

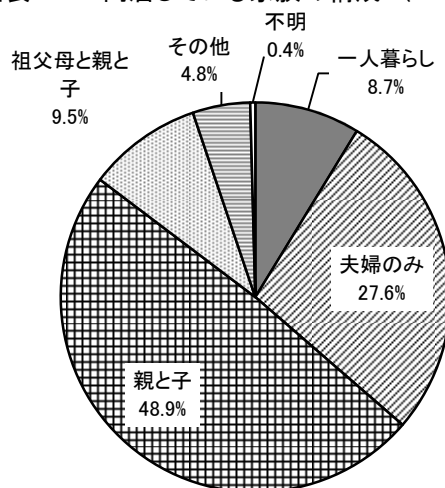


(3) 同居している家族の構成 (Q3)

同居している家族構成については、「親と子」が 48.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」(27.6%)、「祖父母と親と子」(9.5%)、「一人暮らし」(8.7%) となっています。

小学校区別にみると、どの校区もおおむね同様の傾向となっているものの、「小牧南」では「一人暮らし」が、「桃ヶ丘」では「夫婦のみ」が、「本庄」、「陶」では「祖父母と親と子」が他の校区に比べて高くなっています。

図表－ 5 同居している家族の構成 (n=1,639)



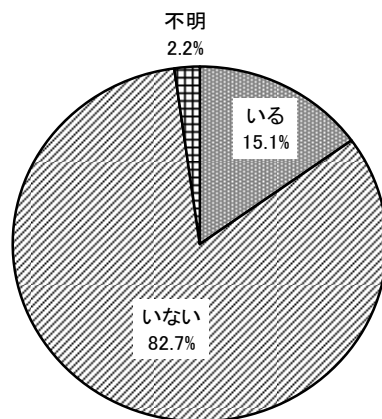
図表－ 6 小学校区別 同居している家族の構成 (n=1,639)

	一人暮らし	夫婦のみ	親と子	祖父母と親と子	その他	不明
全体 (n=1,639)	8.7	27.6	48.9	9.5	4.8	0.4
小牧 (n=98)	14.3	30.6	44.9	9.2	1.0	—
村中 (n=88)	13.6	20.5	47.7	12.5	5.7	—
小牧南 (n=105)	17.1	19.0	50.5	6.7	6.7	—
三ツ淵 (n=97)	10.3	28.9	48.5	8.2	4.1	—
味岡 (n=110)	9.1	26.4	48.2	5.5	10.0	0.9
篠岡 (n=116)	6.9	30.2	49.1	11.2	2.6	—
北里 (n=97)	4.1	27.8	54.6	8.2	4.1	1.0
米野 (n=98)	12.2	23.5	50.0	8.2	6.1	—
一色 (n=106)	9.4	26.4	56.6	3.8	3.8	—
小木 (n=100)	8.0	27.0	42.0	14.0	9.0	—
小牧原 (n=96)	7.3	26.0	50.0	11.5	4.2	1.0
本庄 (n=94)	5.3	20.2	53.2	18.1	3.2	—
桃ヶ丘 (n=109)	3.7	41.3	42.2	9.2	3.7	—
陶 (n=106)	8.5	32.1	39.6	16.0	2.8	0.9
光ヶ丘 (n=101)	2.0	31.7	49.5	7.9	7.9	1.0
大城 (n=99)	2.0	30.3	60.6	5.1	1.0	1.0
不明 (n=19)	42.1	15.8	31.6	—	5.3	5.3

(4) 同居家族内の高齢者または障がいのある人の有無 (Q4)

同居家族内の高齢者または障がいのある人の有無については、「いる」が 15.1%、「いない」が 82.7%となっています。

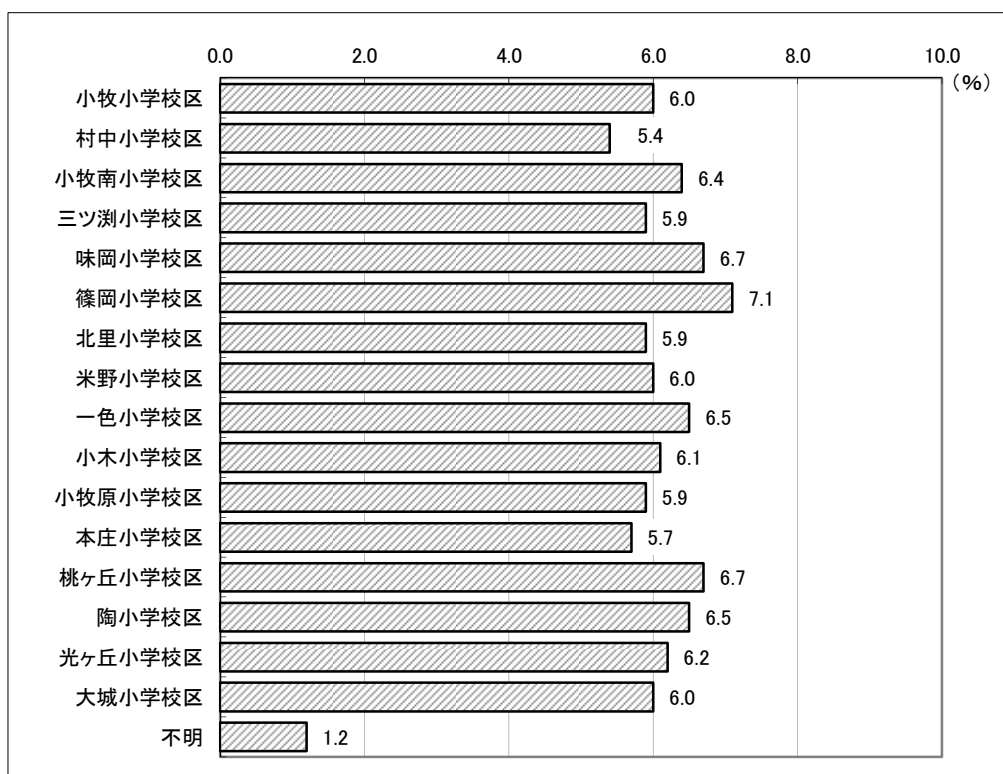
図表－ 7 同居家族内の高齢者または障がいのある人の有無 (n=1,639)



(5) 住まいの小学校区 (Q5)

住まいの小学校区については、おおむねどの小学校区も同様の割合となっていますが、「篠岡」がやや高くなっています。

図表－ 8 住まいの小学校区 (n=1,639)

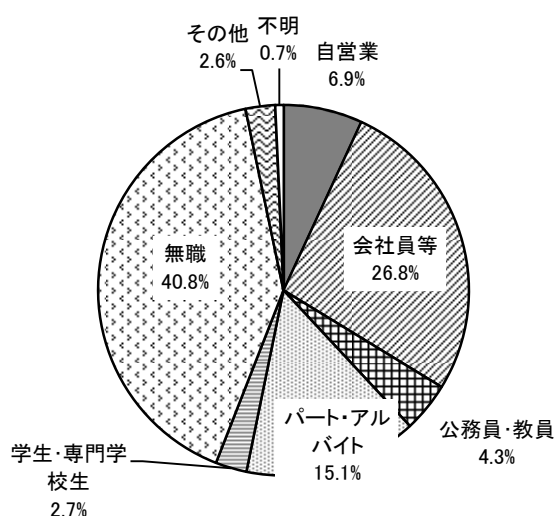


(6) 就業・就学状況 (Q6)

就業・就学の状況については「無職」が40.8%と最も高く、次いで「会社員等」(26.8%)、「パート・アルバイト」(15.1%)となっています。

年代別にみると、「50歳代」までは「会社員等」の割合が最も高くなっていますが、「60歳代以上」は半数以上が「無職」となっています。そのほか、「～20歳代」では「学生・専門学校生」が、「40歳代」では「パート・アルバイト」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

図表－ 9 就業・就学状況 (n=1,639)



図表－ 10 年代別 就業・就学状況 (n=1,639)

(単位：%)

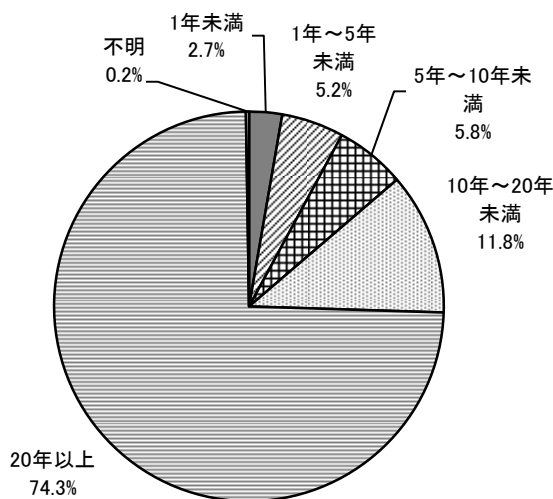
	自営業	会社員等	公務員・教員	パート・アルバイト	学生・専門学校生	無職	その他	不明
全体 (n=1,639)	6.9	26.8	4.3	15.1	2.7	40.8	2.6	0.7
～20歳代 (n=156)	—	44.9	7.7	7.7	28.8	7.7	3.2	—
30歳代 (n=180)	5.0	48.3	7.8	17.2	—	18.9	2.8	—
40歳代 (n=250)	5.2	46.0	9.2	26.0	—	11.6	2.0	—
50歳代 (n=230)	10.0	37.4	7.0	24.3	—	19.1	1.7	0.4
60歳代以上 (n=815)	8.2	10.1	0.7	10.2	—	67.0	2.8	1.0
不明 (n=8)	12.5	—	—	12.5	—	37.5	—	37.5

(7) 小牧市在住年数 (Q7)

小牧市での在住年数については、大半が「20 年以上」(74.3%) となっています。次いで「10～20 年未満」(11.8%) が高くなっています。

小学校区別にみると、どの校区もおおむね同様の傾向となっているものの、「小牧南」では、「5 年未満」が、「小牧原」では「1 年未満」が他の校区に比べて高くなっています。

図表－ 11 小牧市在住年数 (n=1,639)



図表－ 12 小学校区別 小牧市在住年数 (n=1,639)

(単位：%)

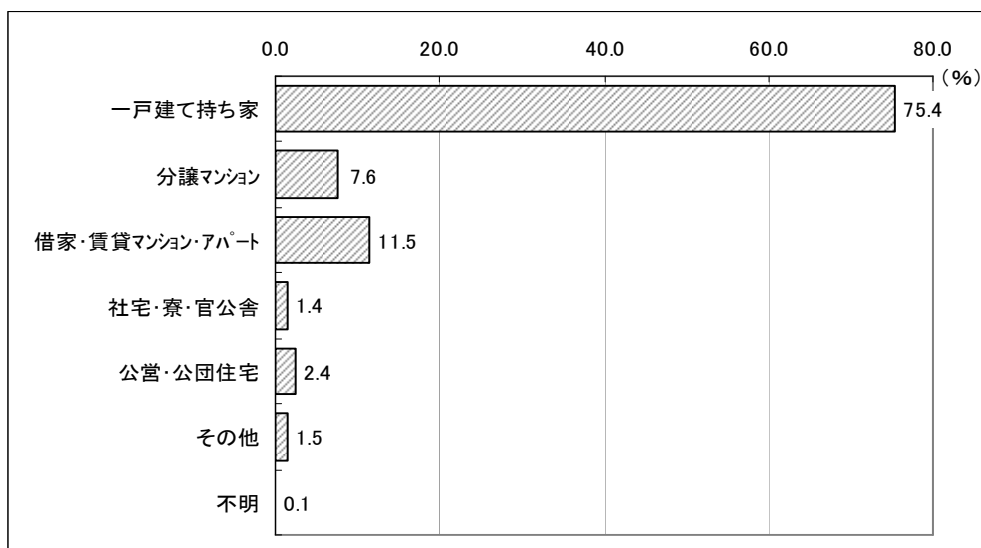
	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	不明
全体 (n=1,639)	2.7	5.2	5.8	11.8	74.3	0.2
小牧 (n=98)	6.1	9.2	8.2	15.3	61.2	—
村中 (n=88)	4.5	6.8	3.4	12.5	72.7	—
小牧南 (n=105)	3.8	19.0	9.5	14.3	53.3	—
三ツ淵 (n=97)	1.0	4.1	3.1	10.3	81.4	—
味岡 (n=110)	2.7	2.7	7.3	13.6	73.6	—
篠岡 (n=116)	0.9	4.3	5.2	10.3	79.3	—
北里 (n=97)	1.0	5.2	—	11.3	82.5	—
米野 (n=98)	7.1	9.2	5.1	15.3	63.3	—
一色 (n=106)	0.9	2.8	9.4	6.6	80.2	—
小木 (n=100)	2.0	4.0	7.0	7.0	79.0	1.0
小牧原 (n=96)	9.4	4.2	9.4	8.3	68.8	—
本庄 (n=94)	1.1	2.1	2.1	11.7	83.0	—
桃ヶ丘 (n=109)	—	0.9	6.4	14.7	78.0	—
陶 (n=106)	—	5.7	7.5	8.5	78.3	—
光ヶ丘 (n=101)	2.0	1.0	3.0	10.9	83.2	—
大城 (n=99)	1.0	3.0	4.0	18.2	73.7	—
不明 (n=19)	10.5	—	10.5	10.5	52.6	15.8

(8) 居住形態 (Q8)

居住形態については、大半が「一戸建て持ち家」(75.4%)となっています。次いで「借家・賃貸マンション・アパート」(11.5%)、「分譲マンション」(7.6%)が高くなっています。

小学校区別にみると、どの校区も「一戸建て持ち家」の割合が最も高いのは同じですが、「大城」、「小牧」では「分譲マンション」が、「小牧」、「米野」、「小牧原」では「借家・賃貸マンション・アパート」が、「小牧南」では「社宅・寮・マンション・アパート」が他の校区に比べて高くなっています。一方、「北里」、「小木」、「本庄」、「陶」、「光ヶ丘」では、大半が「一戸建て持ち家」となっています。

図表－ 13 居住形態 (n=1,639)



図表－ 14 小学校区別 居住形態 (n=1,639)

(単位: %)

	一戸建て 持ち家	分譲 マンション	借家・賃 貸マンション・ アパート	社宅・寮・ 官公舎	公営・公 団住宅	その他	不明
全体 (n=1,639)	75.4	7.6	11.5	1.4	2.4	1.5	0.1
小牧 (n=98)	49.0	20.4	27.6	1.0	1.0	1.0	—
村中 (n=88)	78.4	—	19.3	2.3	—	—	—
小牧南 (n=105)	55.2	12.4	16.2	15.2	—	1.0	—
三ツ淵 (n=97)	83.5	9.3	5.2	—	—	2.1	—
味岡 (n=110)	70.9	4.5	18.2	—	3.6	2.7	—
篠岡 (n=116)	80.2	12.1	0.9	—	5.2	1.7	—
北里 (n=97)	86.6	2.1	11.3	—	—	—	—
米野 (n=98)	57.1	5.1	25.5	1.0	7.1	4.1	—
一色 (n=106)	72.6	1.9	12.3	0.9	7.5	4.7	—
小木 (n=100)	89.0	1.0	10.0	—	—	—	—
小牧原 (n=96)	69.8	3.1	25.0	1.0	—	1.0	—
本庄 (n=94)	93.6	4.3	2.1	—	—	—	—
桃ヶ丘 (n=109)	80.7	11.0	2.8	—	4.6	0.9	—
陶 (n=106)	88.7	3.8	5.7	0.9	—	0.9	—
光ヶ丘 (n=101)	88.1	6.9	2.0	—	2.0	1.0	—
大城 (n=99)	68.7	22.2	2.0	—	6.1	1.0	—
不明 (n=19)	42.1	10.5	21.1	—	5.3	10.5	10.5

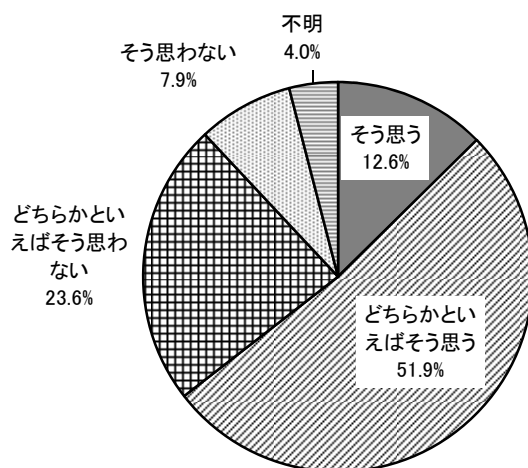
2. 地域福祉についての考え

(1) 小牧市は地域活動・ボランティア活動が活発なまちだと思うか (Q9)

小牧市は地域活動・ボランティア活動が活発なまちだと思うかについてきいたところ、「思う（「そう思う」（12.6%）と「どちらかといえばそう思う」（51.9%）の合計）」人が64.5%、「思わない（「どちらかといえばそう思わない」（23.6%）と「思わない」（7.9%）の合計）」が31.5%となっています。

小学校区別にみると、「三ツ淵」、「米野」、「本庄」では、「思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）」が他の校区に比べて高くなっている一方で、「桃ヶ丘」や「光ヶ丘」では「思わない（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計）」が他の校区に比べて高くなっています。

図表－ 15 小牧市は地域活動・ボランティア活動が活発なまちだと思うか (n=1,639)



図表－ 16 小学校区別 小牧市は地域活動・ボランティア活動が活発なまちだと思うか (n=1,639)

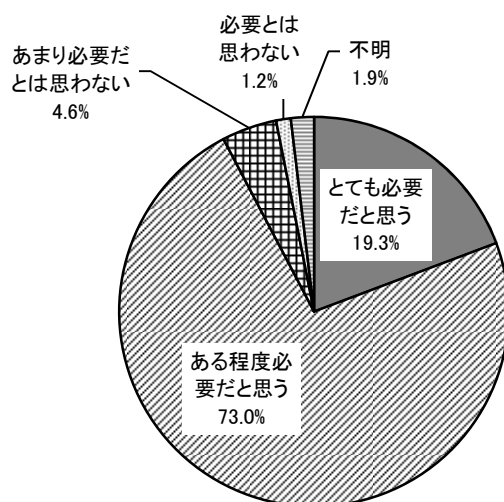
(単位：%)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	不明
全体 (n=1,639)	12.6	51.9	23.6	7.9	4.0
小牧 (n=98)	12.2	55.1	24.5	6.1	2.0
村中 (n=88)	9.1	58.0	18.2	9.1	5.7
小牧南 (n=105)	12.4	59.0	16.2	10.5	1.9
三ツ淵 (n=97)	10.3	64.9	11.3	6.2	7.2
味岡 (n=110)	14.5	51.8	24.5	6.4	2.7
篠岡 (n=116)	8.6	49.1	30.2	6.9	5.2
北里 (n=97)	12.4	53.6	24.7	6.2	3.1
米野 (n=98)	14.3	61.2	11.2	11.2	2.0
一色 (n=106)	14.2	47.2	23.6	9.4	5.7
小木 (n=100)	17.0	44.0	31.0	4.0	4.0
小牧原 (n=96)	16.7	43.8	29.2	4.2	6.3
本庄 (n=94)	20.2	55.3	12.8	9.6	2.1
桃ヶ丘 (n=109)	6.4	47.7	36.7	7.3	1.8
陶 (n=106)	9.4	50.0	25.5	13.2	1.9
光ヶ丘 (n=101)	8.9	46.5	33.7	9.9	1.0
大城 (n=99)	15.2	46.5	23.2	6.1	9.1
不明 (n=19)	21.1	42.1	5.3	10.5	21.1

(2) 住民同士のかかわりについて (Q10)

住民同士のかかわりについては、「必要だと思う」人が 92.3%（「とても必要だと思う」(19.3%) と「ある程度必要だと思う」(73.0%) の合計）、「必要だと思わない」人が 5.8%（「あまり必要だとは思わない」(4.6%) と「必要とは思わない」(1.2%) の合計）となっています。

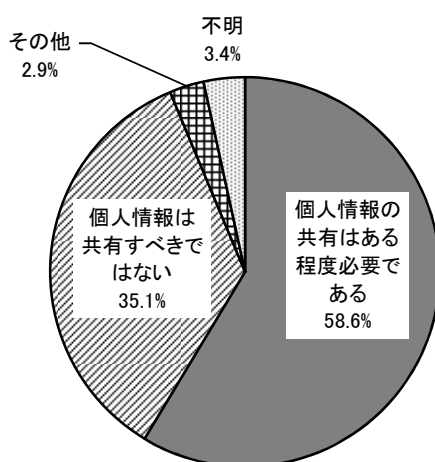
図表－ 17 住民同士のかかわりについて (n=1,639)



(3) 住民同士の支え合いのための個人情報の取扱いについて (Q11)

住民同士の支え合いのための個人情報の取扱いについてきいたところ、「個人情報の共有はある程度必要である」が 58.6%、「個人情報は共有すべきではない」が 35.1%となっています。

図表－ 18 住民同士の支え合いのための個人情報の取扱いについて (n=1,639)



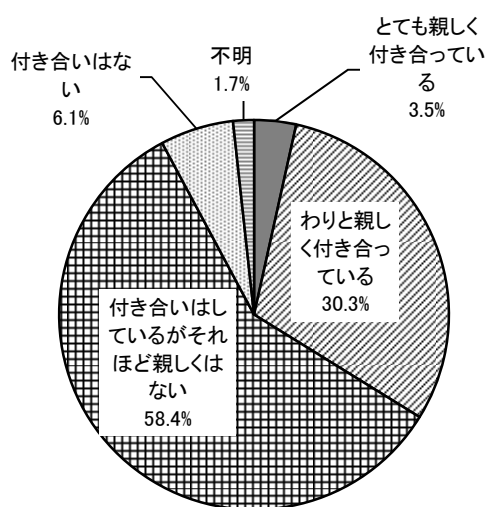
3. 地域活動について

(1) 近所付き合いの程度 (Q12)

近所付き合いの程度についてきいたところ、「比較的親しく付き合っている」人が 33.8%（「とても親しく付き合っている」(3.5%)と「わりと親しく付き合っている」(30.3%)の合計）、「比較的付き合いをしていない」人が 64.5%（「付き合いはしているがそれほど親しくはない」(58.4%)と「付き合いはない」(6.1%)の合計）となっています。

年代別にみると、「～20 歳代」では、「比較的親しく付き合っている」人は約 12%にとどまっているのに対し、年齢が高くなるにつれ割合が高くなり、「60 歳代以上」では約 42%になっています。

図表－ 19 近所付き合いの程度 (n=1,639)



図表－ 20 年代別 近所付き合いの程度 (n=1,639)

(単位: %)

	合 と と も い 親 し く 付 き	合 わ っ り と い 親 し く 付 き	な が 付 い そ き れ 合 ほ い ど は 親 し て く い は る	付 き 合 い は な い	不 明
全体 (n=1,639)	3.5	30.3	58.4	6.1	1.7
～20歳代 (n=156)	0.6	11.5	72.4	13.5	1.9
30歳代 (n=180)	3.9	21.7	65.6	7.8	1.1
40歳代 (n=250)	2.0	26.8	63.6	5.6	2.0
50歳代 (n=230)	1.7	30.0	60.0	7.0	1.3
60歳代以上 (n=815)	4.8	36.8	52.3	4.3	1.8
不明 (n=8)	12.5	50.0	37.5	—	—

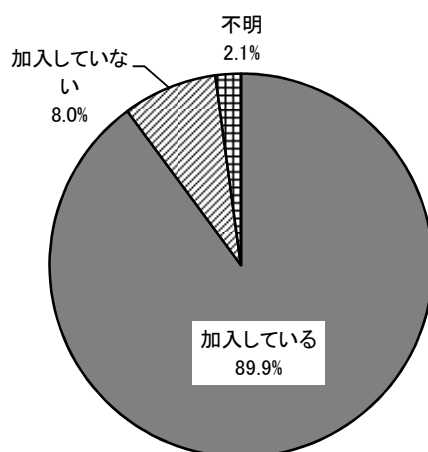
(2) 自治会への加入有無 (Q13)

自治会への加入の有無については、大半が「加入している」(89.9%)としている一方で、「加入していない」人が8.0%います。

年齢にみると、「～20歳代」が「加入している」のは73.1%ですが、年齢が高くなるにつれ加入している割合が高くなり、「60歳代以上」は約94.0%となっています。

また、小学校区別にみると、どの校区も「加入している」割合がおおむね同じですが、「小牧南」や「米野」においては「加入している」割合が他の校区に比べてやや低くなっています。

図表－ 21 自治会への加入有無 (n=1,639)



図表－ 22 年代別・小学校区別 自治会への加入有無 (n=1,639)

(単位: %)

		加入している	加入していない	不明
全体		89.9	8.0	2.1
年代別	～20歳代 (n=156)	73.1	25.0	1.9
	30歳代 (n=180)	87.8	10.6	1.7
	40歳代 (n=250)	87.2	10.4	2.4
	50歳代 (n=230)	91.7	6.5	1.7
	60歳代以上 (n=815)	94.0	3.9	2.1
	不明 (n=8)	75.0	—	25.0
小学校区別	小牧 (n=98)	84.7	13.3	2.0
	村中 (n=88)	89.8	8.0	2.3
	小牧南 (n=105)	81.0	16.2	2.9
	三ツ淵 (n=97)	90.7	7.2	2.1
	味岡 (n=110)	86.4	12.7	0.9
	篠岡 (n=116)	91.4	6.0	2.6
	北里 (n=97)	90.7	6.2	3.1
	米野 (n=98)	82.7	15.3	2.0
	一色 (n=106)	90.6	7.5	1.9
	小木 (n=100)	92.0	6.0	2.0
	小牧原 (n=96)	88.5	8.3	3.1
	本庄 (n=94)	94.7	4.3	1.1
	桃ヶ丘 (n=109)	97.2	2.8	—
	陶 (n=106)	93.4	6.6	—
	光ヶ丘 (n=101)	96.0	3.0	1.0
	大城 (n=99)	91.9	3.0	5.1
	不明 (n=19)	68.4	15.8	15.8

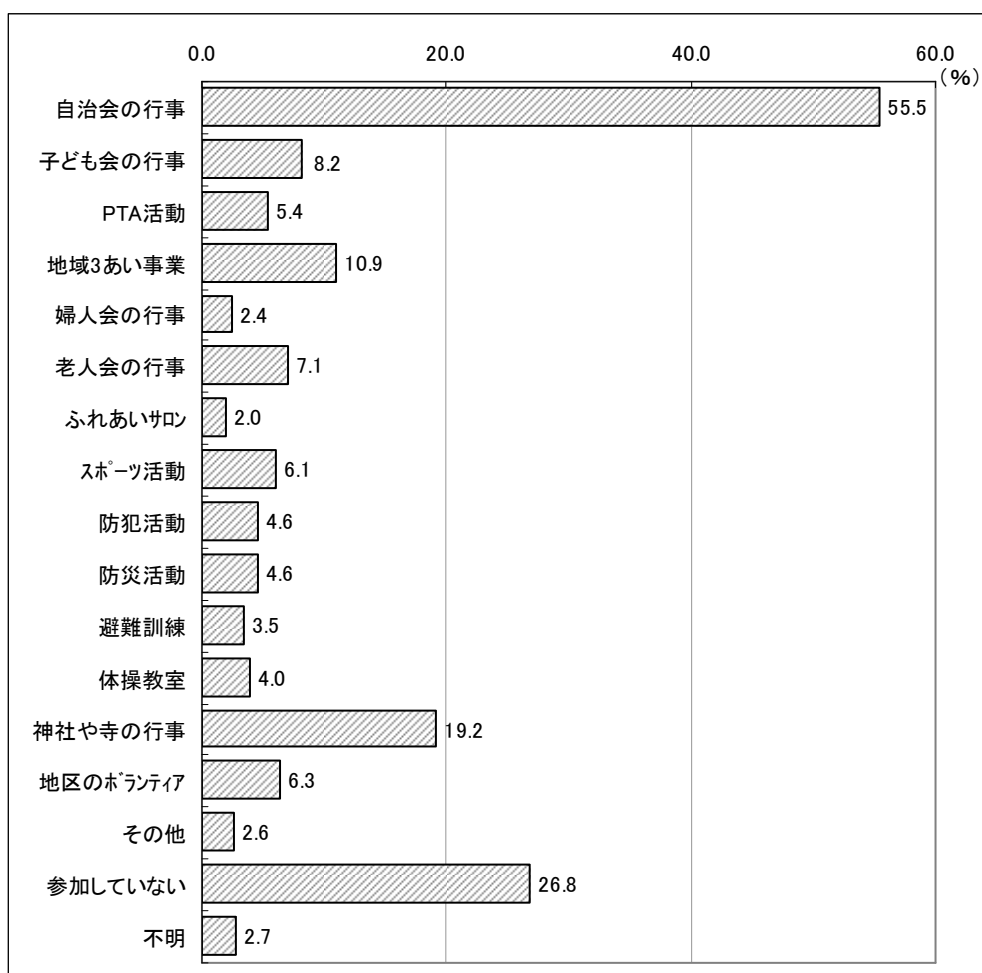
(3) 参加している地域の活動・行事内容 (Q14)

参加している地域の活動・行事内容についてきいたところ、「自治会の行事」が55.5%と最も高く、次いで「神社や寺の行事」(19.2%)、「地域3あい事業」(10.9%)となっています。一方、「参加していない」人も26.8%います。

年代別にみると、「～20歳代」は「参加していない」割合が最も高く65.4%となっています。一方、「40歳代」以上では半数以上が「自治会の行事」に参加しています。その他「30歳代」や「40歳代」では「子ども会の行事」や「PTA活動」など、子どもに関する活動に参加している人の割合が、「60歳代以上」では「地域3あい事業」や「老人会の行事」などの活動に参加している人の割合が他に比べて高くなっています。

また、小学校区別にみると、大きな違いはないものの、「小牧南」では「子ども会の行事」が、「三ツ渚」では「老人会の行事」や「防犯活動」、「神社や寺の行事」が、「陶」では「神社や寺の行事」が、「光ヶ丘」では「自治会の行事」が他の校区に比べて高くなっています。

図表ー 23 参加している地域の活動・行事内容(複数回答) (n=1,639)



図表ー 24 年代別・小学校区別 参加している地域の活動・行事内容(複数回答) (n=1,639)

(単位: %)

		自治会の 行事	子ども会の 行事	PTA活動	地域3あい 事業	婦人会の 行事	老人会の 行事	ふれあい サロン	スポーツ 活動
全体		55.5	8.2	5.4	10.9	2.4	7.1	2.0	6.1
年代別	～20歳代(n=156)	17.3	7.1	1.9	1.3	—	—	0.6	3.2
	30歳代(n=180)	48.9	22.2	10.0	6.1	—	—	0.6	2.8
	40歳代(n=250)	53.6	17.6	20.4	8.4	1.6	1.6	—	6.0
	50歳代(n=230)	69.1	4.3	3.9	6.1	0.4	—	0.9	6.5
	60歳代以上(n=815)	61.2	3.4	1.0	16.1	4.3	13.5	3.4	7.2
	不明(n=8)	37.5	12.5	—	—	—	25.0	—	12.5
地域別	小牧(n=98)	51.0	11.2	3.1	9.2	3.1	3.1	1.0	4.1
	村中(n=88)	54.5	10.2	3.4	13.6	5.7	15.9	1.1	2.3
	小牧南(n=105)	41.0	19.0	11.4	6.7	1.0	1.9	—	4.8
	三ツ淵(n=97)	56.7	8.2	8.2	18.6	8.2	20.6	9.3	15.5
	味岡(n=110)	52.7	10.9	3.6	6.4	0.9	5.5	0.9	4.5
	篠岡(n=116)	59.5	5.2	4.3	10.3	1.7	7.8	3.4	7.8
	北里(n=97)	43.3	8.2	2.1	12.4	1.0	7.2	3.1	7.2
	米野(n=98)	51.0	6.1	8.2	10.2	2.0	8.2	2.0	1.0
	一色(n=106)	54.7	4.7	1.9	9.4	1.9	6.6	0.9	7.5
	小木(n=100)	51.0	11.0	5.0	13.0	6.0	6.0	2.0	6.0
	小牧原(n=96)	57.3	10.4	2.1	12.5	4.2	6.3	1.0	4.2
	本庄(n=94)	62.8	9.6	8.5	11.7	—	5.3	5.3	5.3
	桃ヶ丘(n=109)	58.7	4.6	7.3	11.9	1.8	1.8	0.9	12.8
	陶(n=106)	57.5	2.8	4.7	7.5	—	10.4	—	2.8
	光ヶ丘(n=101)	77.2	5.0	5.0	13.9	2.0	5.0	1.0	4.0
	大城(n=99)	61.6	6.1	8.1	9.1	—	4.0	—	7.1
	不明(n=19)	42.1	—	5.3	10.5	5.3	5.3	—	5.3

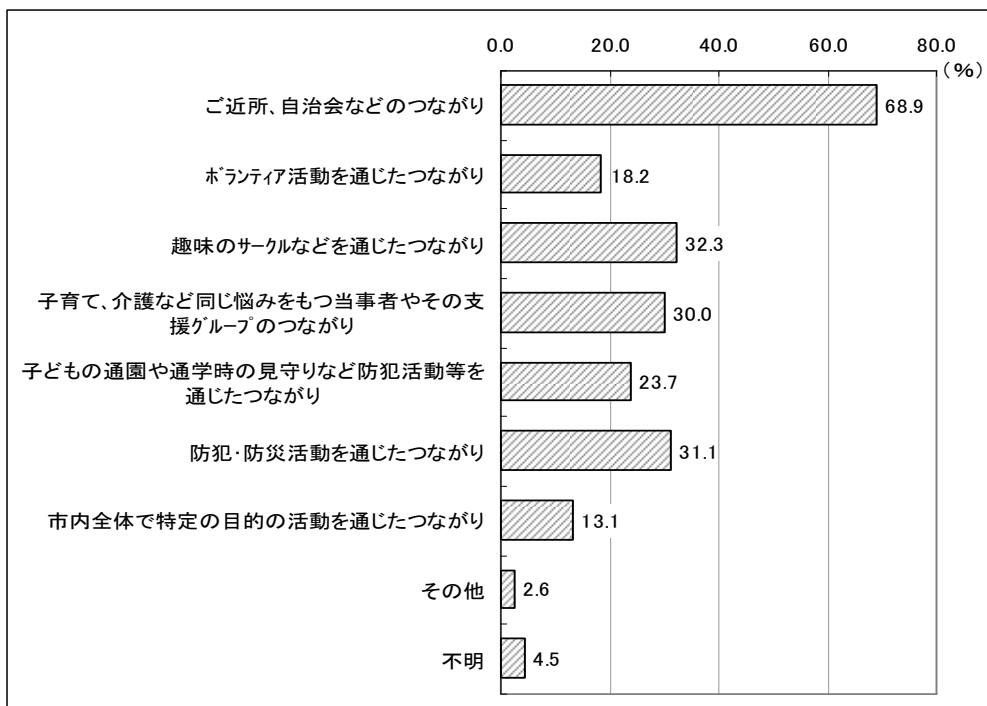
		防犯活動	防災活動	避難訓練	体操教室	神社や寺 の行事	地区のボラ ンティア	その他	参加してい ない	不明
全体		4.6	4.6	3.5	4.0	19.2	6.3	2.6	26.8	2.7
年代別	～20歳代(n=156)	—	1.3	0.6	—	8.3	2.6	1.3	65.4	1.9
	30歳代(n=180)	0.6	1.7	1.1	2.2	8.9	1.7	2.2	35.0	1.7
	40歳代(n=250)	3.2	3.2	2.4	0.4	16.0	3.2	2.0	30.0	2.0
	50歳代(n=230)	1.7	3.5	2.2	0.9	19.6	3.5	1.7	17.8	2.2
	60歳代以上(n=815)	7.5	6.7	5.3	7.2	24.5	9.7	3.4	19.1	3.6
	不明(n=8)	12.5	—	—	—	—	25.0	—	37.5	—
地域別	小牧(n=98)	4.1	3.1	4.1	5.1	17.3	5.1	2.0	37.8	4.1
	村中(n=88)	3.4	3.4	2.3	2.3	26.1	5.7	2.3	27.3	3.4
	小牧南(n=105)	—	1.0	3.8	—	11.4	1.0	2.9	39.0	1.9
	三ツ淵(n=97)	20.6	12.4	5.2	8.2	35.1	10.3	4.1	18.6	1.0
	味岡(n=110)	4.5	6.4	4.5	5.5	12.7	4.5	2.7	29.1	1.8
	篠岡(n=116)	4.3	2.6	3.4	1.7	18.1	4.3	4.3	20.7	5.2
	北里(n=97)	2.1	3.1	3.1	2.1	27.8	6.2	—	30.9	2.1
	米野(n=98)	3.1	1.0	1.0	1.0	15.3	4.1	1.0	31.6	1.0
	一色(n=106)	6.6	3.8	1.9	2.8	23.6	13.2	3.8	26.4	3.8
	小木(n=100)	2.0	7.0	7.0	3.0	27.0	3.0	3.0	29.0	4.0
	小牧原(n=96)	4.2	3.1	1.0	6.3	13.5	4.2	1.0	32.3	4.2
	本庄(n=94)	4.3	8.5	3.2	8.5	11.7	8.5	3.2	22.3	—
	桃ヶ丘(n=109)	4.6	5.5	3.7	6.4	1.8	4.6	1.8	26.6	1.8
	陶(n=106)	4.7	5.7	3.8	3.8	41.5	10.4	2.8	20.8	—
	光ヶ丘(n=101)	2.0	4.0	4.0	2.0	11.9	8.9	1.0	14.9	2.0
	大城(n=99)	2.0	3.0	3.0	3.0	16.2	8.1	6.1	21.2	6.1
	不明(n=19)	10.5	10.5	5.3	21.1	5.3	5.3	—	36.8	10.5

(4) 新たな支え合いの関係を築くために必要なつながり (Q15)

新たな支え合いの関係を築くために必要なつながりについてきいたところ、「ご近所、自治会などのつながり」が 68.9%と最も高く、次いで「趣味のサークルなどを通じたつながり」(32.3%)、「防犯・防災活動を通じたつながり」(31.1%)、「子育て、介護など同じ悩みをもつ当事者やその支援グループのつながり」(30.0%)となっています。

年代別にみると、どの年代も「ご近所・自治会などのつながり」をあげる人の割合が最も高くなっています。その他、「～20歳代」から「50歳代」では、「子育て、介護など同じ悩みをもつ当事者やその支援グループのつながり」や「子どもの通園や通学時の見守りなど防犯活動等を通じたつながり」をあげる人の割合が高くなっています。

図表－ 25 新たな支え合いの関係を築くために必要なつながり(複数回答) (n=1,639)



図表－ 26 年代別 新たな支え合いの関係を築くために必要なつながり(複数回答) (n=1,639)

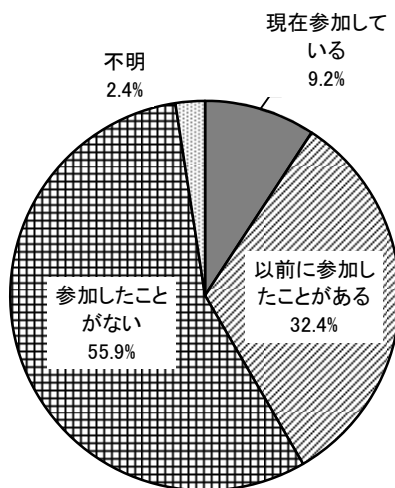
(単位: %)

	のご近所が、自治会など	通じたボランティア活動	趣味のサークルなど	のやじつそのみで支え合いグループ	の子育て、介護など当事者同	が活動等を通じた防犯活動	子どもなどや通学	じ防犯・防災活動	な市の活動を通じた目的	その他	不明
全体 (n=1,639)	68.9	18.2	32.3	30.0	23.7	31.1	13.1	2.6	4.5		
～20歳代 (n=156)	44.9	14.7	39.1	37.2	37.2	32.1	12.8	1.9	5.1		
30歳代 (n=180)	59.4	13.9	29.4	45.6	39.4	31.1	15.0	2.2	2.2		
40歳代 (n=250)	66.4	14.0	29.2	41.2	29.6	28.4	14.0	2.0	2.0		
50歳代 (n=230)	67.4	20.9	30.4	42.2	25.2	37.8	11.7	1.7	3.5		
60歳代以上 (n=815)	76.9	20.4	33.3	18.5	15.7	29.9	12.9	3.3	5.9		
不明 (n=8)	62.5	12.5	12.5	—	—	25.0	12.5	—	12.5		

(5) ボランティア活動への参加経験 (Q16)

ボランティア活動への参加経験についてきいたところ、「現在参加している」が9.2%、「以前に参加したことがある」が32.4%、「参加したことがない」が55.9%となっています。

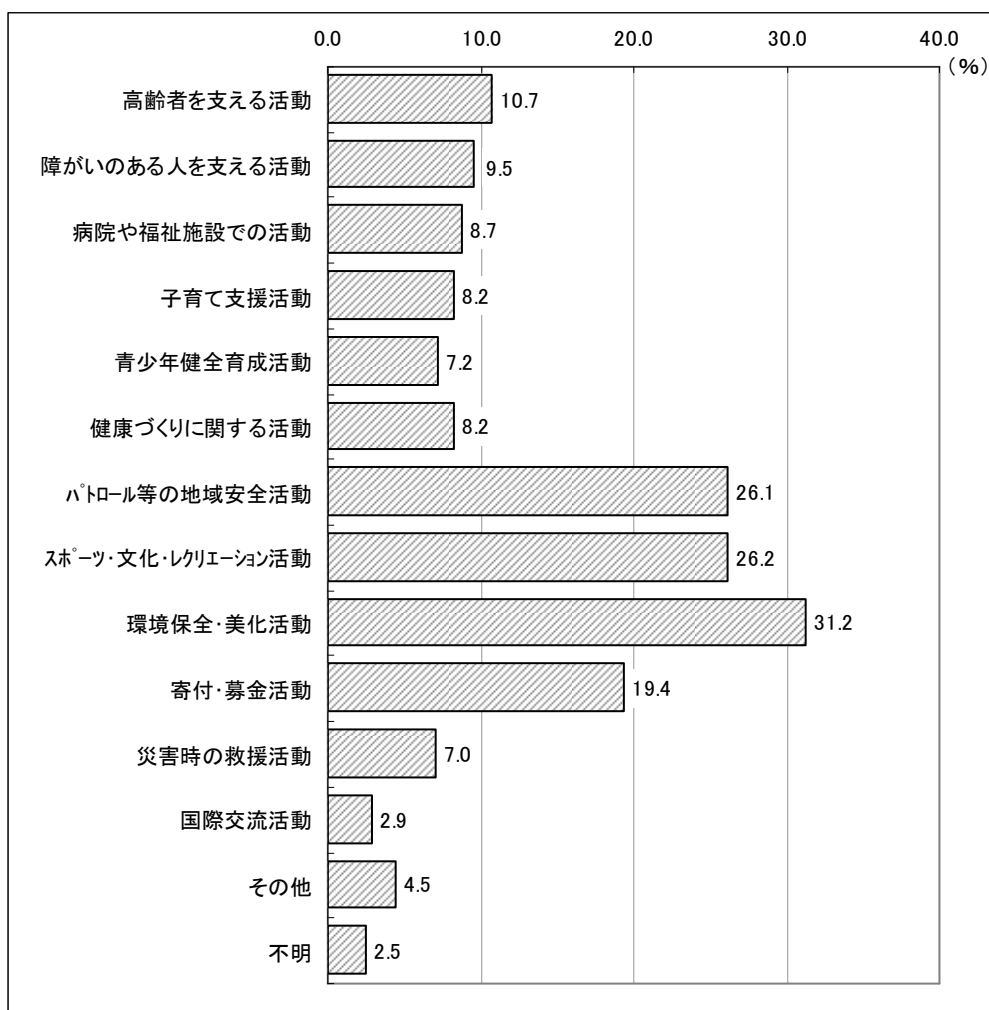
図表－ 27 ボランティア活動への参加経験 (n=1,639)



(6) 参加したボランティア活動・行事 (Q16-2)

参加したことのある人に参加したボランティア活動・行事についてきいたところ、「環境保全・美化活動」が31.2%と最も高く、次いで「スポーツ・文化・レクリエーション活動」(26.2%)、「パトロール等の地域安全活動」(26.1%)となっています。

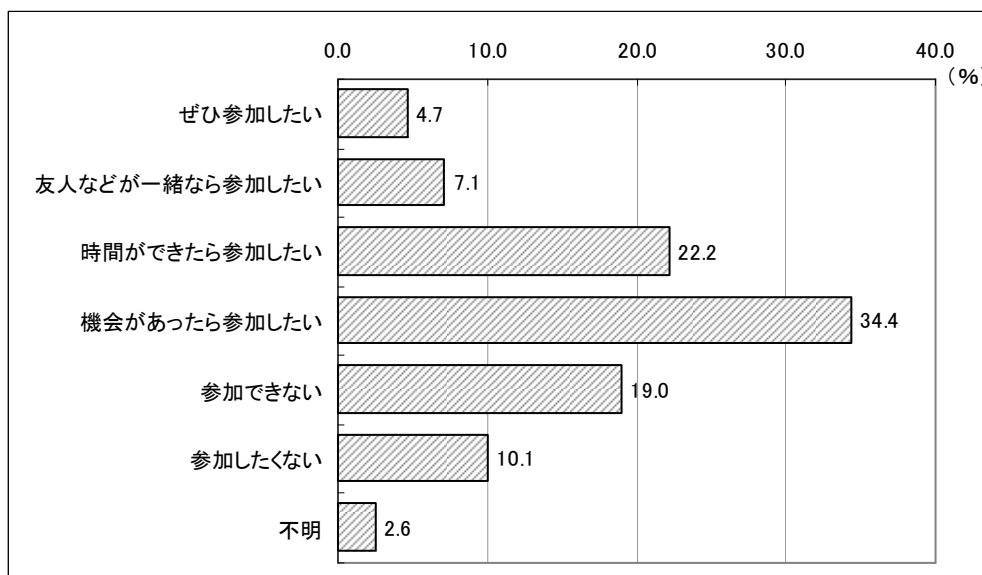
図表ー 28 参加したボランティア活動・行事(複数回答) (n=682)



(7) 今後のボランティア活動への参加意向 (Q17)

今後のボランティア活動への参加意向についてきいたところ、「機会があったら参加したい」が 34.4%と最も高く、次いで「時間ができたら参加したい」(22.2%)となっています。一方、「参加できない」が 19.0%、「参加したくない」が 10.1%となっています。

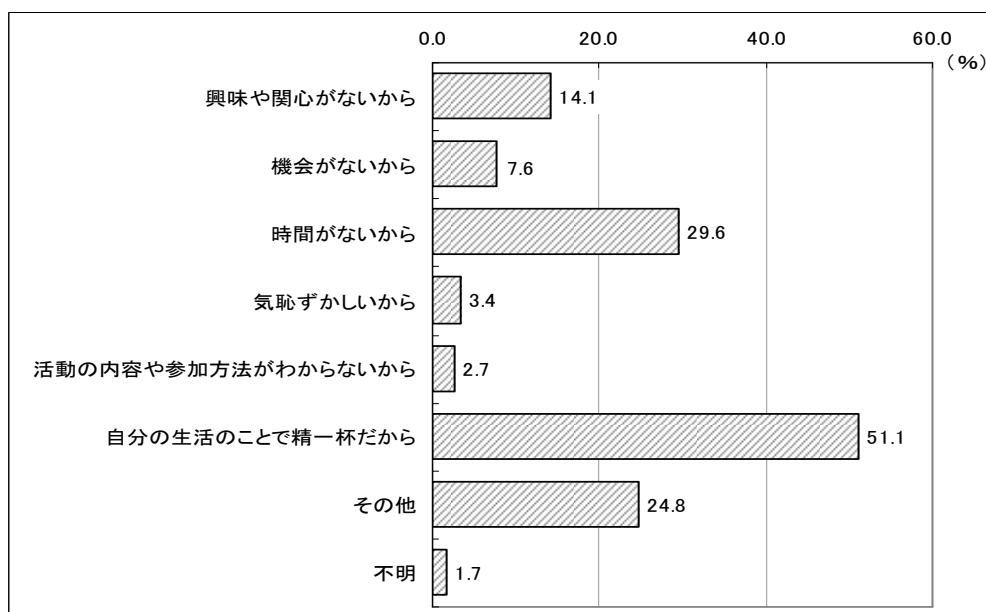
図表ー 29 今後のボランティア活動への参加意向 (n=1,639)



(8) ボランティア活動に参加したくない理由 (Q17-2)

ボランティア活動に参加したくないと回答した人にその理由をきいたところ、「自分の生活のことで精一杯だから」(51.1%)と最も高く、次いで「時間がないから」(29.6%)となっています。

図表ー 30 ボランティア活動に参加したくない理由(複数回答) (n=476)

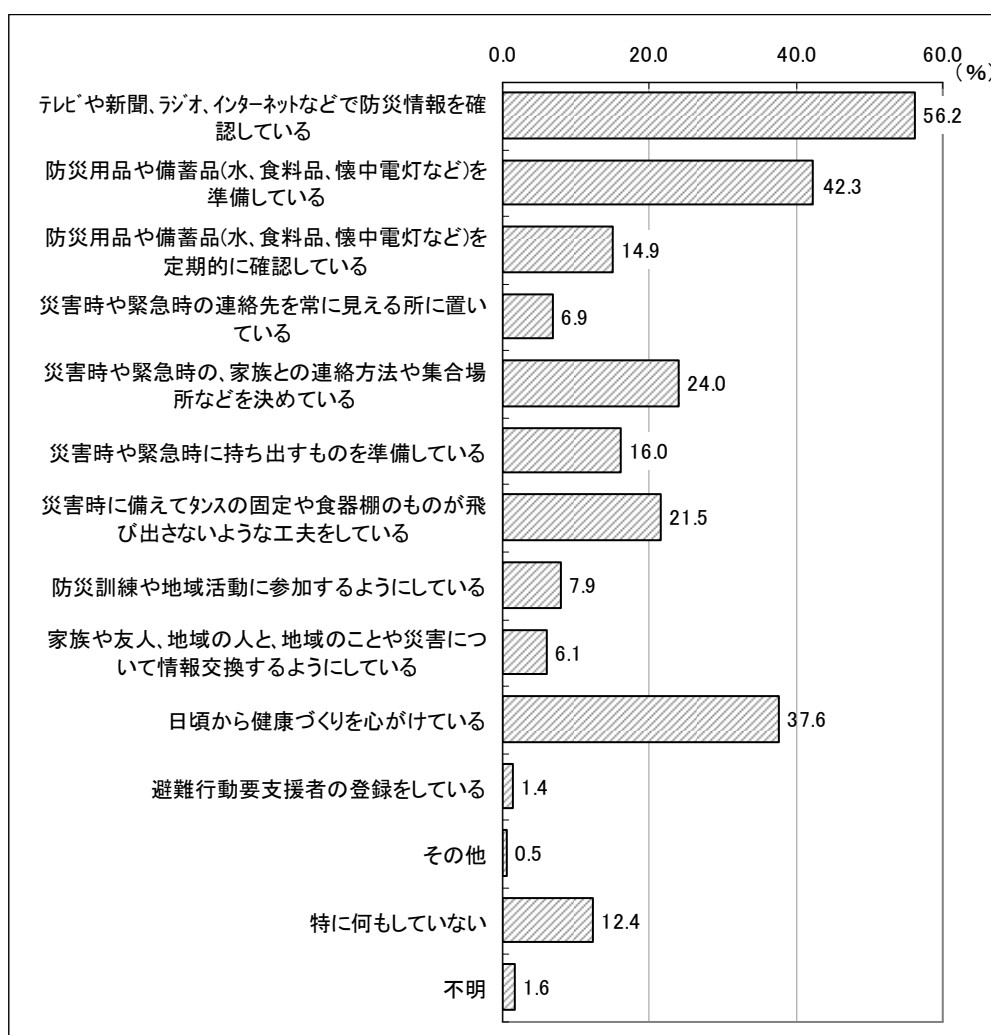


(9) 行っている自助活動 (Q18)

現在行っている自助活動についてきいたところ、「テレビや新聞、ラジオ、インターネットなどで防災情報を確認している」が 56.2%と最も高く、次いで「防災用品や備蓄品(水、食料品、懐中電灯など)を準備している」(42.3%)、「日頃から健康づくりを心がけている」(37.6%) となっています。一方、「特に何もしていない」人も 12.4%います。

年代別にみると、どの年代も「テレビや新聞、ラジオ、インターネットなどで防災情報を確認している」の割合が高くなっていますが、その他については、年齢が高くなるにつれ実施している割合が高くなる傾向にあり、特に「日ごろから健康づくりを心がけている」は「60 歳代以上」では半数を超えています。一方、「～20 歳代」では「特に何もしていない」が 23.1%と他に比べて高くなっています。

図表ー 31 行っている自助活動(複数回答) (n=1,639)



図表－ 32 年代別 行っている自助活動(複数回答) (n=1,639)

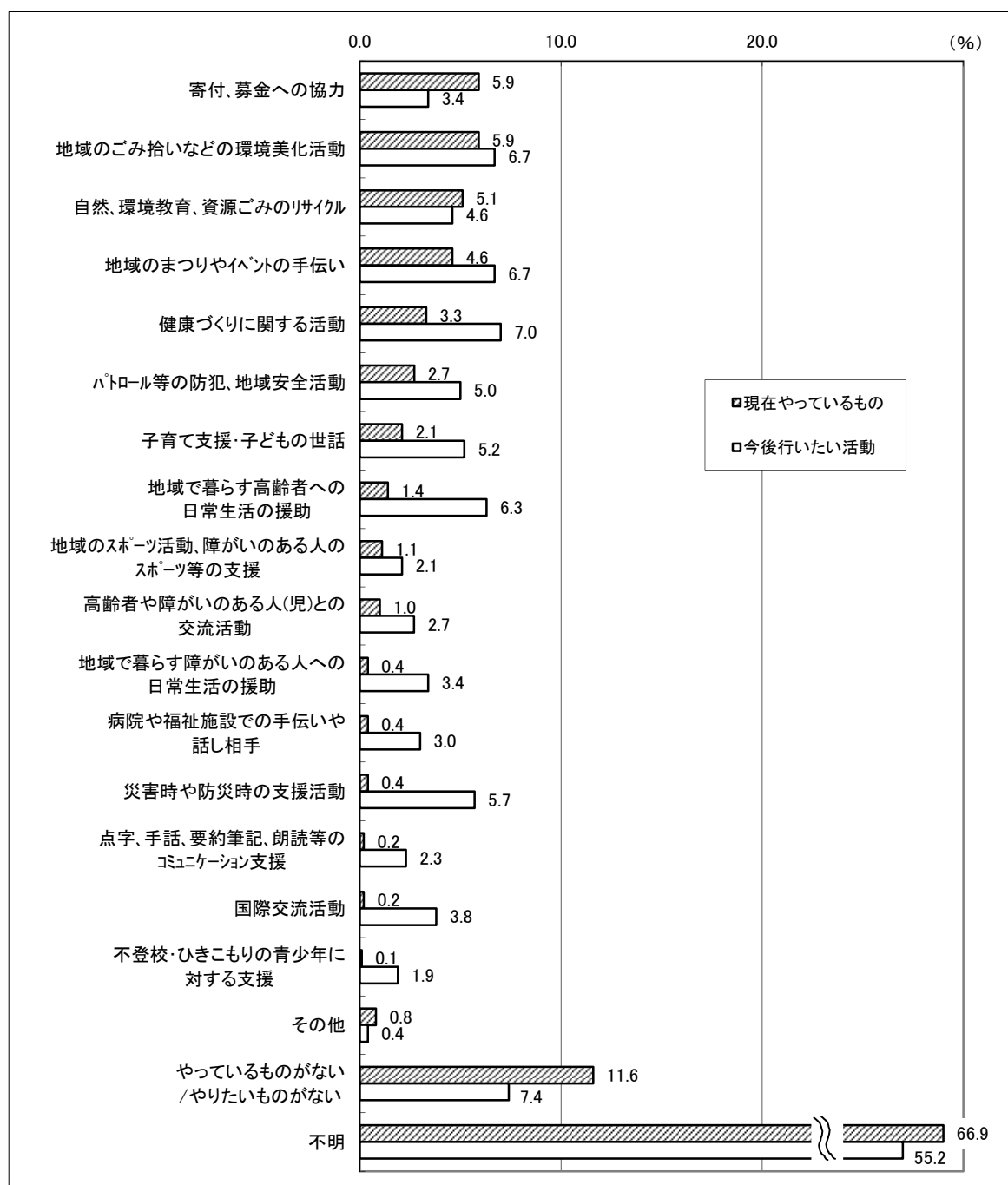
(単位:%)

	確認している テレビや新聞・ラジオ・インターネットなどで防災情報を	防災用品や備蓄品（水・食料・懐中電灯など）を準備している	防災用品や備蓄品（水・食料・懐中電灯など）を定期的に確認している	災害時や緊急時の連絡先を常に見える所に置いている	災害時や緊急時の・家族との連絡方法や集合場所などを決めている	災害時や緊急時に持ち出すものを準備している	災害時に備えてタンスの固定や食器棚のものが飛び出さないような工夫をしている	防災訓練や地域活動に参加するようにしている	家族や友人・地域の人と情報地 域のことや災害について情報交換するようにしている	日頃から健康づくりを心がけている	避難行動要支援者の登録をしている	その他	特に何もしていない	不明
全体 (n=1,639)	56.2	42.3	14.9	6.9	24.0	16.0	21.5	7.9	6.1	37.6	1.4	0.5	12.4	1.6
～20歳代 (n=156)	40.4	28.2	4.5	3.2	25.6	7.7	13.5	0.6	7.1	19.2	0.6	0.6	23.1	0.6
30歳代 (n=180)	53.3	39.4	16.1	2.2	28.3	17.8	11.1	1.1	6.7	15.6	0.6	－	14.4	1.1
40歳代 (n=250)	58.8	41.6	15.6	6.8	29.6	15.6	20.4	6.0	4.4	18.8	1.2	－	15.6	0.4
50歳代 (n=230)	59.1	47.4	9.1	4.3	27.0	16.5	25.2	6.5	5.2	31.3	－	0.4	12.6	0.4
60歳代以上 (n=815)	57.8	44.4	18.0	9.2	20.1	16.9	24.7	11.9	6.4	53.7	2.2	0.7	9.1	2.7
不明 (n=8)	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	37.5	25.0	－	25.0	25.0	－	－	－	－

(10) 現在行っている活動、今後行いたい活動 (Q19)

現在行っている活動、今後行いたい活動についてきいたところ、現在行っているものとしては「寄付、募金への協力」、「地域のごみ拾いなどの環境美化活動」「自然、環境教育、資源ごみのリサイクル」をあげる人の割合が比較的高くなっています。また、今後行いたい活動としては、「健康づくりに関する活動」、「地域で暮らす高齢者への日常生活の援助」、「地域のごみ拾いなどの環境美化活動」、「地域のまつりやイベントの手伝い」をあげる人の割合が比較的高くなっています。

図表－ 33 現在行っている活動、今後行いたい活動(複数回答) (n=1,639)



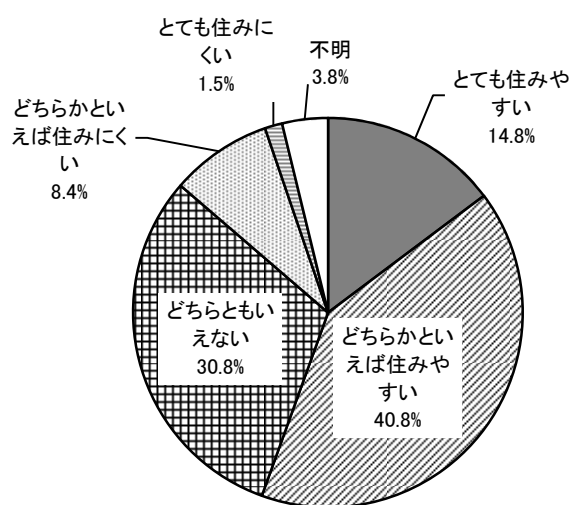
4. 地域の課題について

(1) 住んでいる地域の住みやすさ (Q20)

住んでいる地域の住みやすさについてきいたところ、「住みやすい」が55.6%（「とても住みやすい」(14.8%)と「どちらかといえば住みやすい」(40.8%)の合計）、「どちらともいえない」が30.8%、「住みにくい」が9.9%（「どちらかといえば住みにくい」(8.4%)と「とても住みにくい」(1.5%)の合計）となっています。

小学校区別にみると、どの校区も同様の傾向となっていますが、「米野」では「とても住みやすい」が、「村中」や「小木」では「どちらともいえない」が他の校区に比べて高くなっています。

図表－ 34 住んでいる地域の住みやすさ (n=1,639)



図表－ 35 小学校区別 住んでいる地域の住みやすさ (n=1,639)

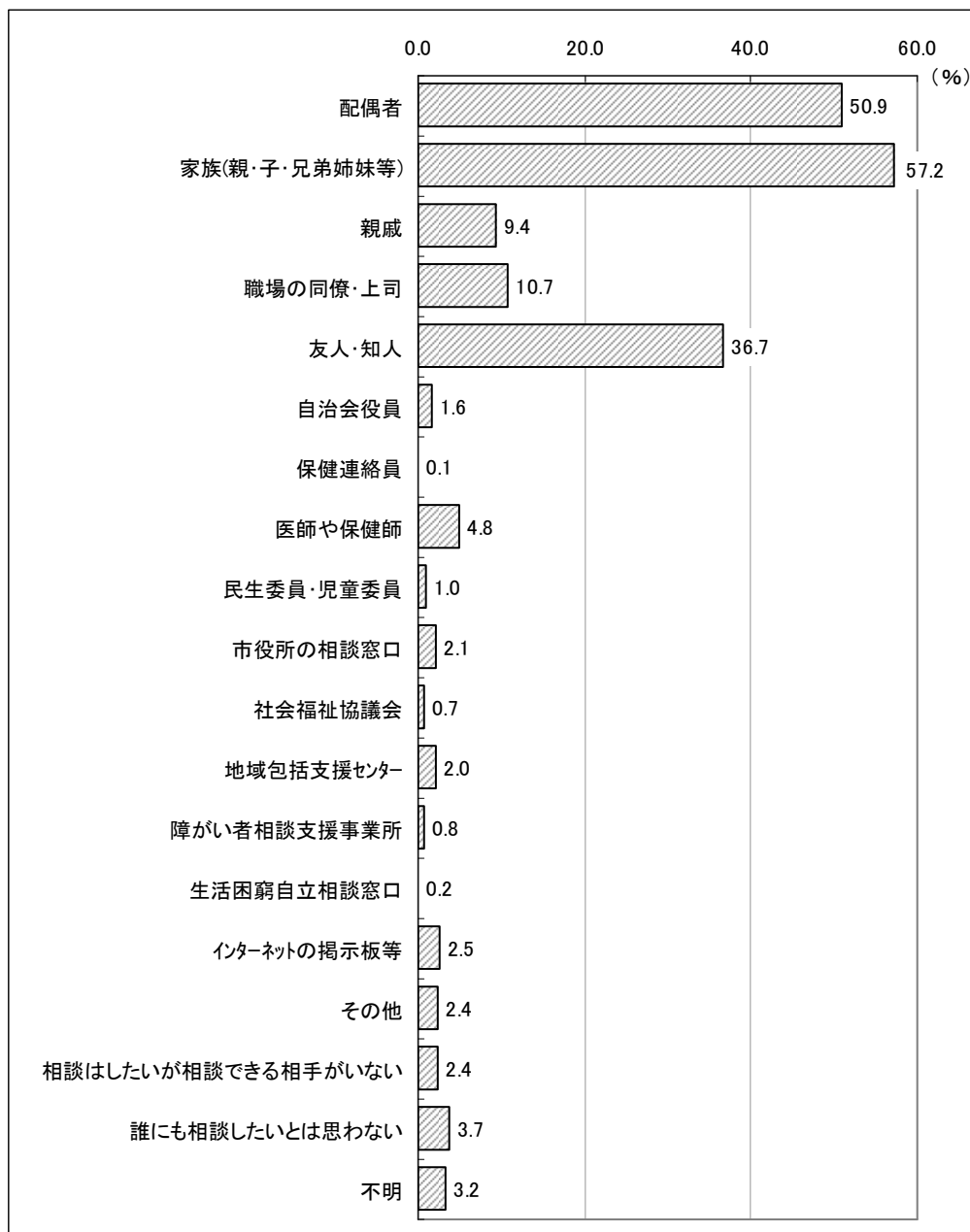
(単位：%)

	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	不明
全体 (n=1,639)	14.8	40.8	30.8	8.4	1.5	3.8
小牧 (n=98)	17.3	43.9	24.5	8.2	1.0	5.1
村中 (n=88)	8.0	33.0	40.9	13.6	3.4	1.1
小牧南 (n=105)	19.0	45.7	27.6	4.8	1.0	1.9
三ツ淵 (n=97)	13.4	38.1	34.0	9.3	1.0	4.1
味噌岡 (n=110)	17.3	48.2	26.4	2.7	—	5.5
篠岡 (n=116)	10.3	37.9	33.6	12.9	—	5.2
北里 (n=97)	14.4	40.2	32.0	9.3	1.0	3.1
米野 (n=98)	25.5	35.7	30.6	3.1	1.0	4.1
一色 (n=106)	13.2	40.6	31.1	7.5	2.8	4.7
小木 (n=100)	13.0	35.0	41.0	6.0	1.0	4.0
小牧原 (n=96)	16.7	52.1	22.9	5.2	1.0	2.1
本庄 (n=94)	19.1	40.4	24.5	10.6	2.1	3.2
桃ヶ丘 (n=109)	16.5	45.0	26.6	8.3	1.8	1.8
陶 (n=106)	8.5	32.1	39.6	11.3	1.9	6.6
光ヶ丘 (n=101)	11.9	40.6	32.7	11.9	2.0	1.0
大城 (n=99)	10.1	41.4	29.3	12.1	3.0	4.0
不明 (n=19)	26.3	47.4	10.5	—	—	15.8

(2) 日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物 (Q21)

日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物についてきいたところ、「家族(親・子・兄弟姉妹等)」が 57.2%と最も高く、次いで「配偶者」(50.9%)、「友人・知人」(36.7%) となっています。専門的な機関に相談する人は比較的低くなっています。

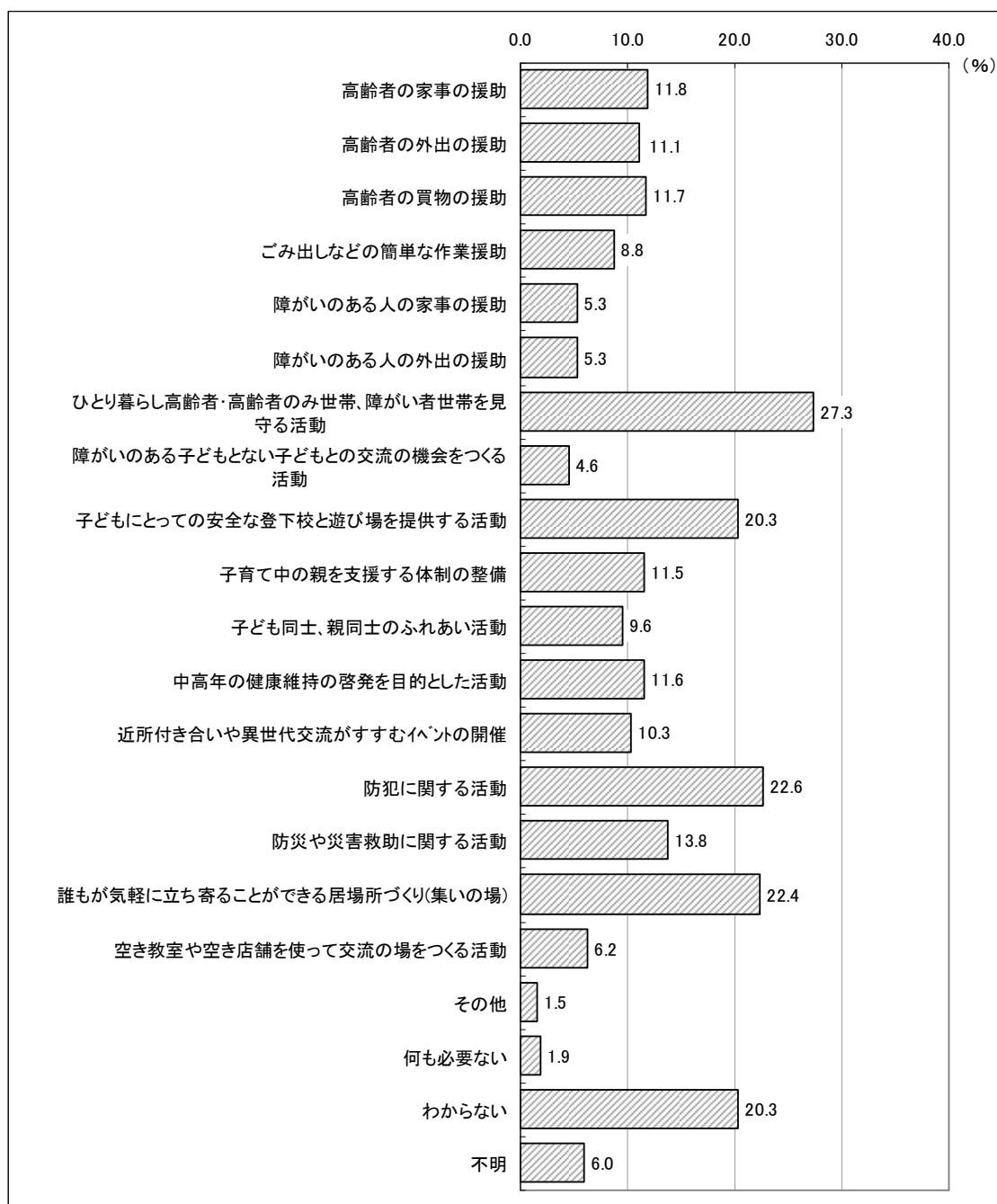
図表ー 36 日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物(複数回答) (n=1,639)



(3) 住んでいる地域に必要な活動 (Q22)

住んでいる地域に必要な活動についてきいたところ、「ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯、障がい者世帯を見守る活動」が 27.3%と最も高く、次いで「防犯に関する活動」(22.6%)、「誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり(集いの場)」(22.4%)、「子どもにとっての安全な登下校と遊び場を提供する活動」(20.3%)となっています。

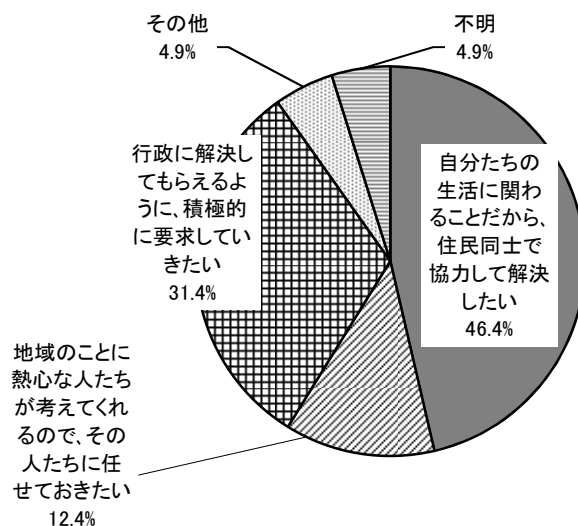
図表ー 37 住んでいる地域に必要な活動(複数回答) (n=1,639)



(4) 問題や困りごとが生じた場合の解決方法 (Q23)

問題や困りごとが生じた場合の解決方法についてきいたところ、「自分たちの生活に関わることだから、住民同士で協力して解決したい」が 46.4%と最も高く、次いで「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」(31.4%)となっています。

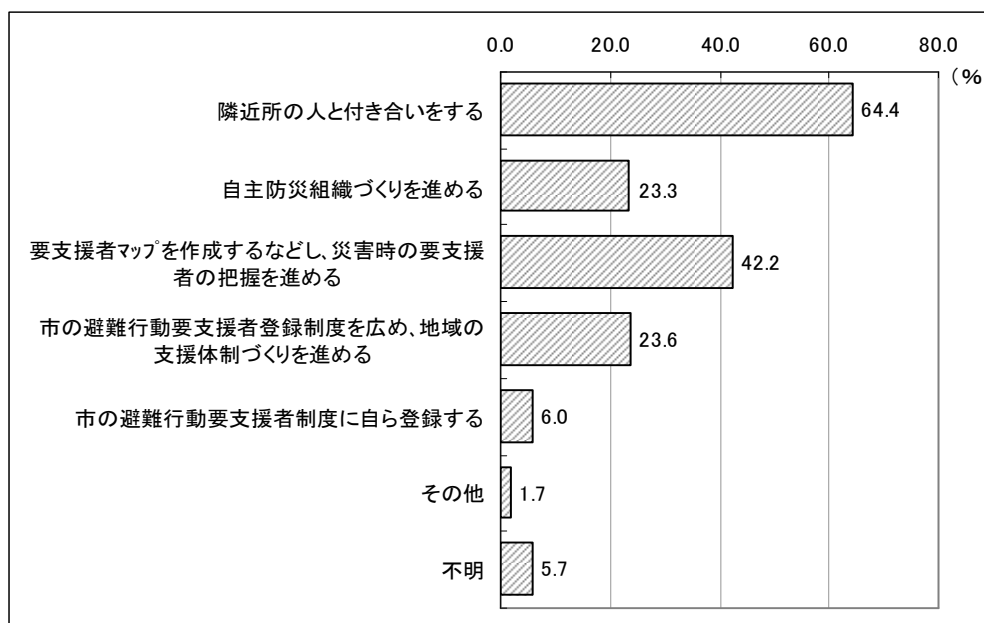
図表－ 38 問題や困りごとが生じた場合の解決方法 (n=1,639)



(5) 支援しやすい環境とするために必要な取り組み (Q24)

支援しやすい環境とするために必要な取り組みについてきいたところ、「隣近所の人と付き合いをする」が 64.4%と最も高く、次いで「要支援者マップを作成するなどし、災害時の要支援者の把握を進める」(42.2%)、「市の避難行動要支援者登録制度を広め、地域の支援体制づくりを進める」(23.6%)、「自主防災組織づくりを進める」(23.3%)となっています。

図表－ 39 支援しやすい環境とするために必要な取り組み(複数回答) (n=1,639)

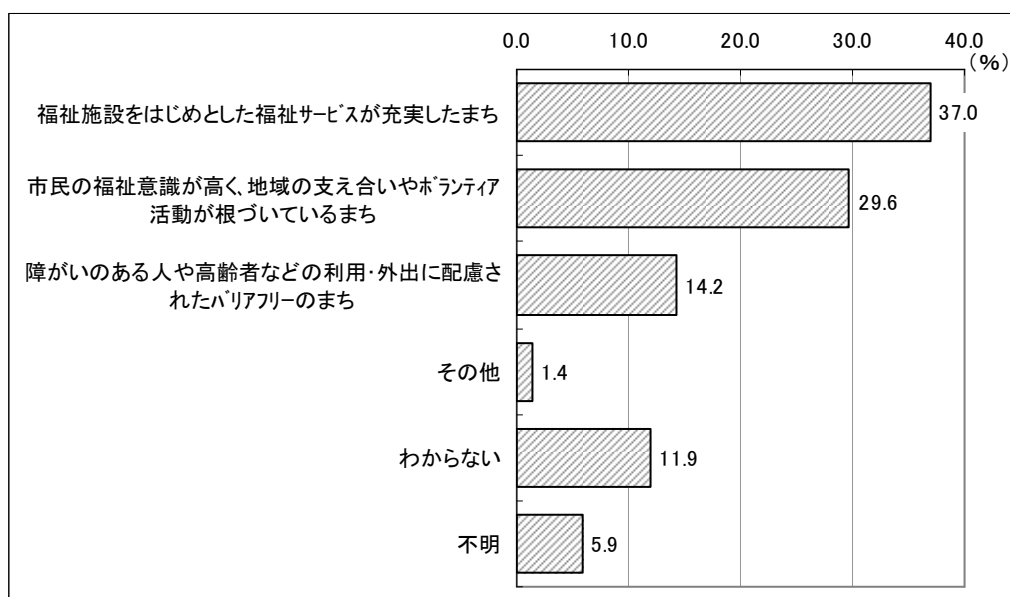


5. 地域福祉を推進するため

(1) 「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまち (Q25)

「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまちについてきいたところ、「福祉施設をはじめとした福祉サービスが充実したまち」が 37.0%と最も高く、次いで「市民の福祉意識が高く、地域の支え合いやボランティア活動が根づいているまち」(29.6%) となっています。

図表ー 40 「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまち (n=1,639)

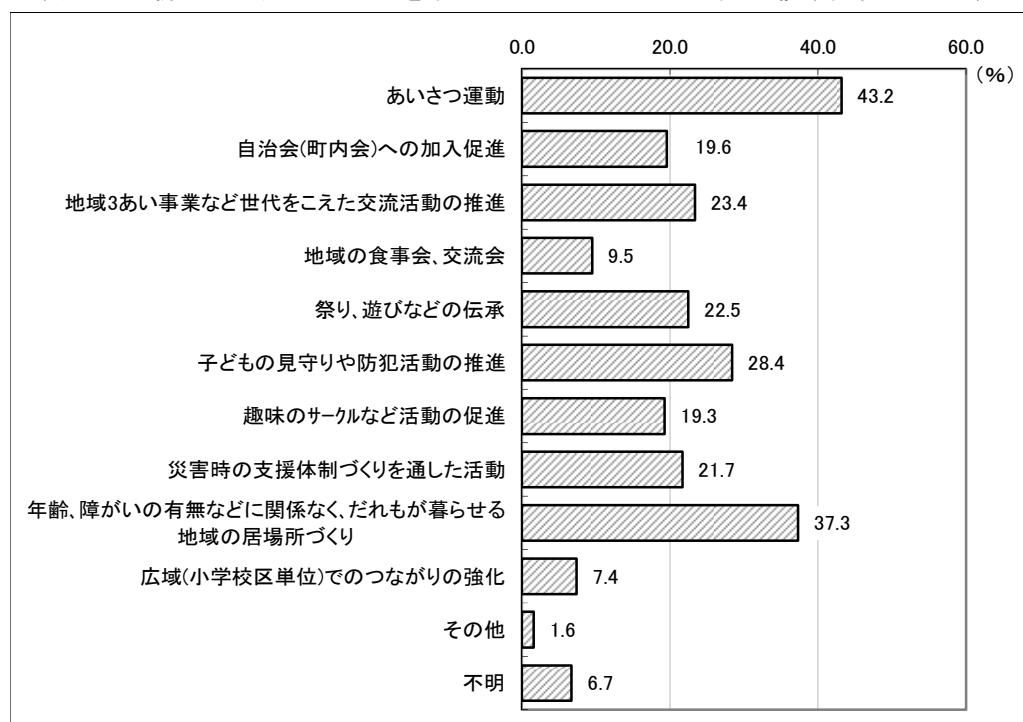


(2) 新たな地域のつながりを築くために進めるべき取り組み (Q26)

新たな地域のつながりを築くために進めるべき取り組みについてきいたところ、「あいさつ運動」が43.2%と最も高く、次いで「年齢、障がいの有無などに関係なく、だれもが暮らせる地域の居場所づくり」(37.3%)、「子どもの見守りや防犯活動の推進」(28.4%)となっています。

年代別にみると、どの年代も「あいさつ運動」や「年齢、障がいの有無などに関係なく、だれもが暮らせる地域の居場所づくり」が上位にあがっているのは同じですが、比較的若い年代(「～20歳代」から「30歳代」)では「祭り・遊びなどの伝承」、「子どもの見守りや防犯活動の推進」をあげる人の割合が他に比べて高くなっています。

図表ー 41 新たな地域のつながりを築くために進めるべき取り組み(複数回答) (n=1,639)



図表ー 42 年代別 新たな地域のつながりを築くために進めるべき取り組み(複数回答) (n=1,639)

(単位: %)

	あいさつ運動	加入自治会(町内会)への促進	地域3あい事業など世代をこえた交流活動の推進	地域の食事会・交流会	祭り・遊びなどの伝承	子どもの見守りや防犯活動の推進	趣味のサークルなど活動の促進	災害時の支援体制づくりを通した活動	年齢、障がいの有無などに関係なく、だれもが暮らせる地域の居場所づくり	広域(小学校区単位)でのつながりの強化	その他	不明
全体(n=1,639)	43.2	19.6	23.4	9.5	22.5	28.4	19.3	21.7	37.3	7.4	1.6	6.7
～20歳代(n=156)	30.1	9.6	14.7	6.4	35.9	30.8	26.3	22.4	32.7	7.1	1.9	3.2
30歳代(n=180)	35.6	13.9	17.2	10.0	32.8	44.4	22.8	27.2	32.8	10.0	2.2	4.4
40歳代(n=250)	32.4	14.8	18.0	5.2	23.2	36.0	18.4	25.2	34.8	9.2	1.6	3.6
50歳代(n=230)	37.8	24.8	29.1	9.1	22.6	30.9	17.4	23.9	37.4	7.4	2.6	2.2
60歳代以上(n=815)	52.4	23.1	26.3	11.3	17.7	21.3	18.0	18.8	39.8	6.4	1.1	9.9
不明(n=8)	25.0	—	37.5	25.0	—	25.0	12.5	12.5	50.0	12.5	—	25.0

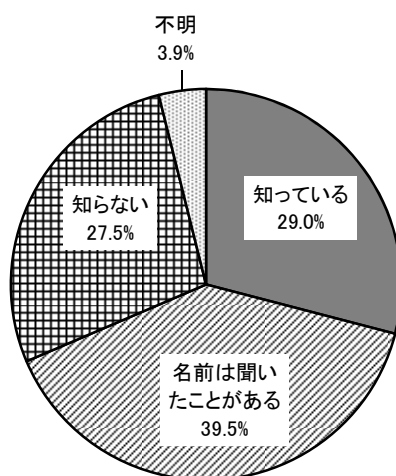
(3) 小牧市社会福祉協議会の認知度 (Q27)

小牧市社会福祉協議会を知っているか聞いたところ、「知っている」が29.0%、「名前は聞いたことがある」39.5%、「知らない」が27.5%となっています。

年代別にみると、「～20歳代」では「知っている」が9.0%であるのに対し、「60歳代以上」では36.8%と、年齢が高くなるにつれ、「知っている」が高くなっています。

また、小学校区別にみると、「小牧原」や「小牧南」では「知らない」が他の校区に比べて高くなっています。

図表－ 43 小牧市社会福祉協議会の認知度 (n=1,639)



図表－ 44 年代別・小学校区別 小牧市社会福祉協議会の認知度 (n=1,639)

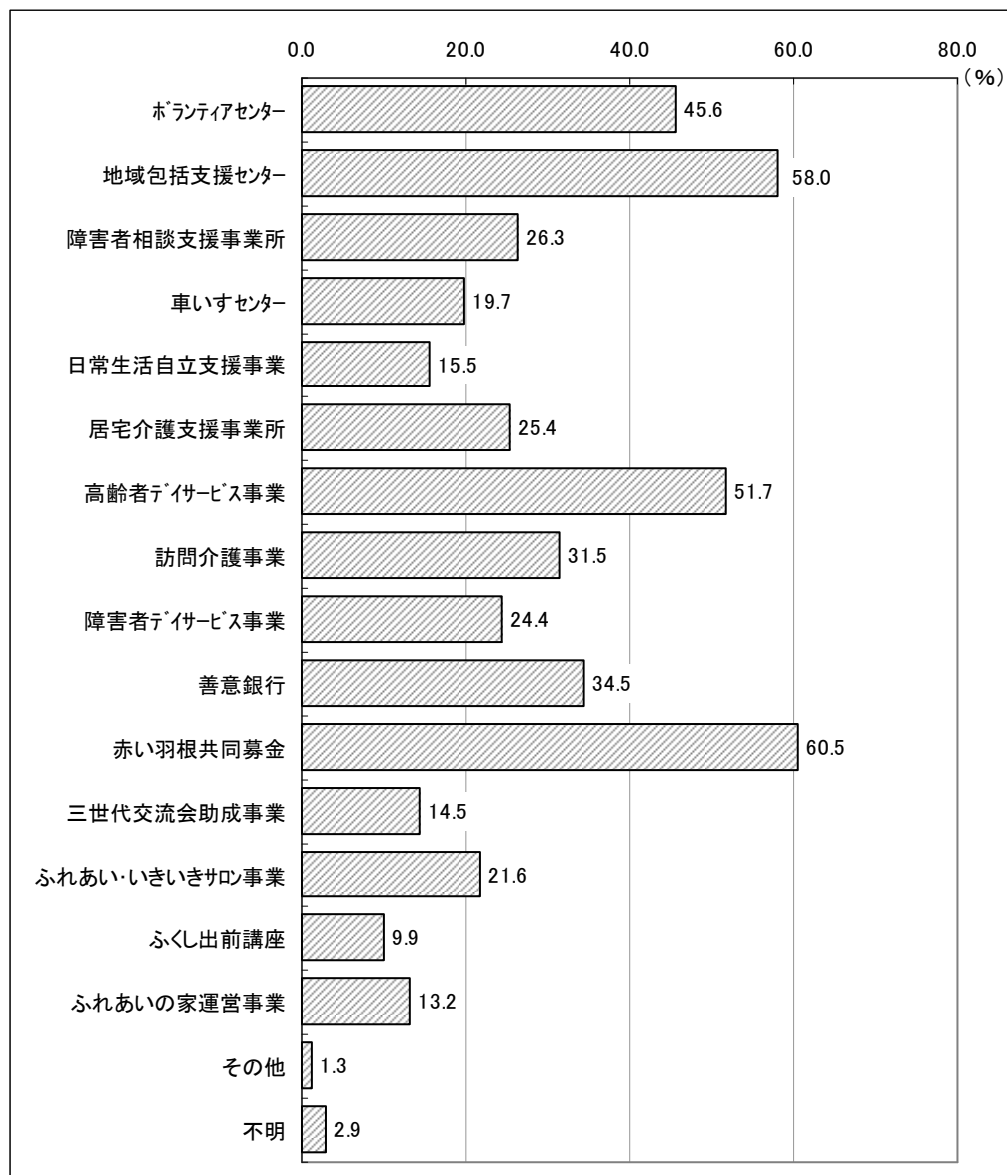
(単位: %)

		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	不明
全体		29.0	39.5	27.5	3.9
年代別	～20歳代(n=156)	9.0	33.3	56.4	1.3
	30歳代(n=180)	16.7	38.9	42.8	1.7
	40歳代(n=250)	23.2	40.0	35.2	1.6
	50歳代(n=230)	31.3	40.9	27.4	0.4
	60歳代以上(n=815)	36.8	40.2	16.6	6.4
	不明(n=8)	25.0	50.0	—	25.0
	不明	25.0	50.0	—	25.0
小学校区別	小牧(n=98)	32.7	32.7	29.6	5.1
	村中(n=88)	33.0	36.4	27.3	3.4
	小牧南(n=105)	21.0	39.0	35.2	4.8
	三ツ淵(n=97)	37.1	43.3	13.4	6.2
	味岡(n=110)	24.5	40.0	30.9	4.5
	篠岡(n=116)	31.0	41.4	25.9	1.7
	北里(n=97)	33.0	35.1	26.8	5.2
	米野(n=98)	26.5	42.9	29.6	1.0
	一色(n=106)	31.1	39.6	23.6	5.7
	小木(n=100)	28.0	38.0	31.0	3.0
	小牧原(n=96)	25.0	36.5	36.5	2.1
	本庄(n=94)	28.7	48.9	19.1	3.2
	桃ヶ丘(n=109)	29.4	45.9	24.8	—
	陶(n=106)	25.5	40.6	30.2	3.8
	光ヶ丘(n=101)	34.7	32.7	30.7	2.0
	大城(n=99)	23.2	44.4	26.3	6.1
	不明(n=19)	36.8	10.5	21.1	31.6

(4) 小牧市社会福祉協議会の機関や事業で知っているもの (Q27-2)

小牧市社会福祉協議会を知っている人に、小牧市社会福祉協議会の機関や事業で知っているものについてきいたところ、「赤い羽根共同募金」(60.5%)、「地域包括支援センター」(58.0%)、「高齢者デイサービス事業」(51.7%)が上位にあがっています。

図表ー 45 小牧市社会福祉協議会の機関や事業で知っているもの(複数回答) (n=1,639)



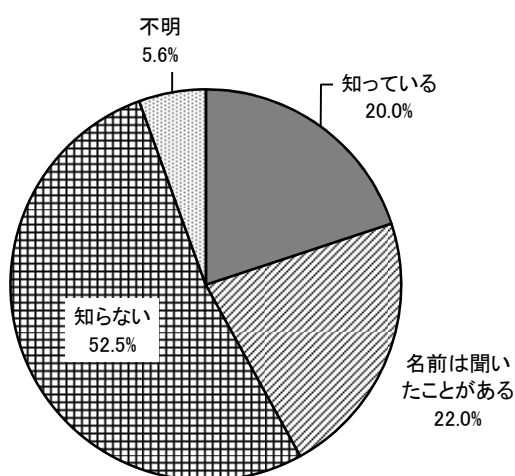
(5) 地域包括支援センターの認知度 (Q28)

地域包括支援センターを知っているか聞いたところ、「知っている」が20.0%、「名前は聞いたことがある」22.0%、「知らない」が52.5%となっています。

年代別にみると、「～20歳代」では「知っている」が9.0%であるのに対し、「60歳以上」では25.3%と、年齢が高くなるにつれ、「知っている」が高くなっています。

また、小学校区別にみると、「小牧南」では「知らない」が他の校区に比べて高くなっています。

図表－ 46 地域包括支援センターの認知度 (n=1,639)



図表－ 47 年代別・小学校区別 地域包括支援センターの認知度 (n=1,639)

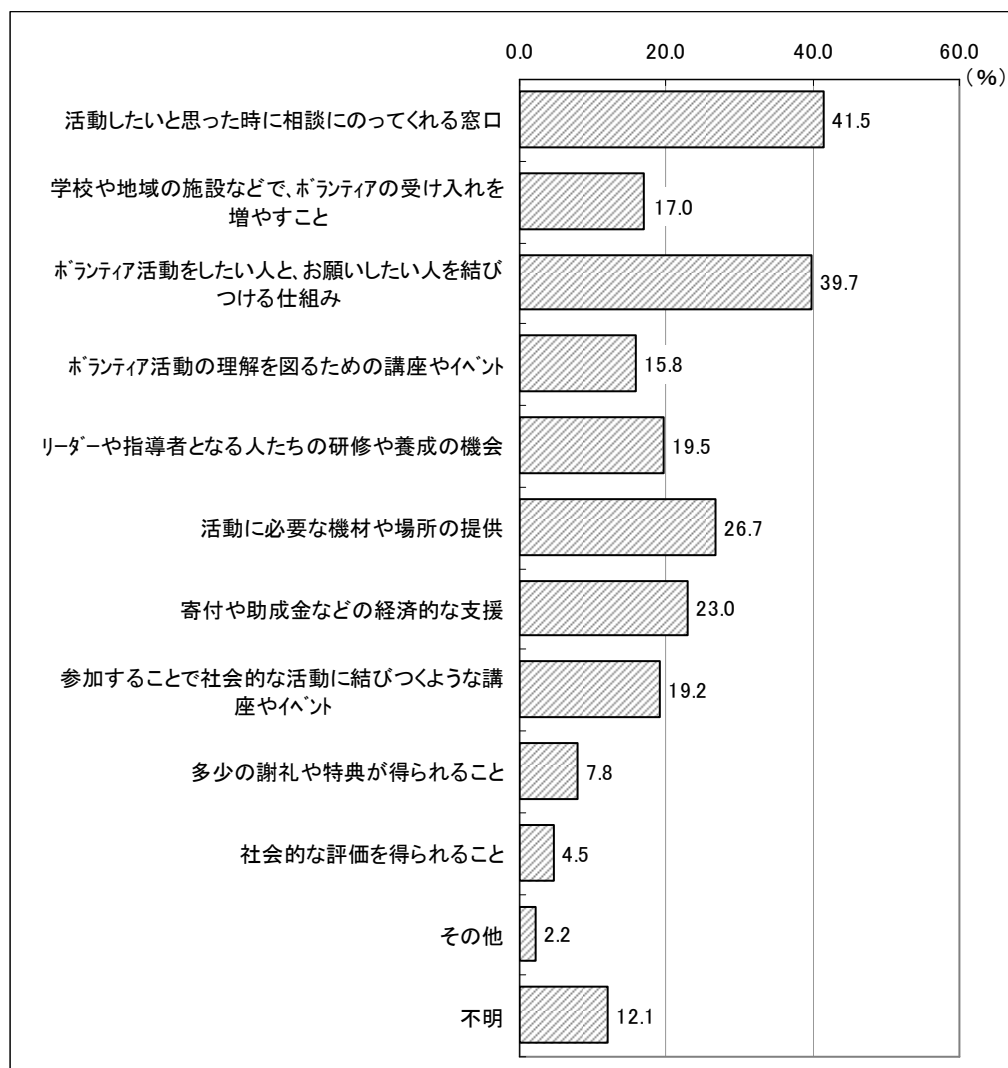
(単位：%)

		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	不明
全体		20.0	22.0	52.5	5.6
年代別	～20歳代 (n=156)	9.0	15.4	73.1	2.6
	30歳代 (n=180)	15.0	16.1	67.8	1.1
	40歳代 (n=250)	12.8	19.6	66.4	1.2
	50歳代 (n=230)	20.0	20.0	57.0	3.0
	60歳代以上 (n=815)	25.3	25.9	39.9	9.0
	不明 (n=8)	25.0	25.0	25.0	25.0
小学校区別	小牧 (n=98)	23.5	10.2	61.2	5.1
	村中 (n=88)	15.9	20.5	55.7	8.0
	小牧南 (n=105)	6.7	21.9	65.7	5.7
	三ツ淵 (n=97)	20.6	25.8	46.4	7.2
	味岡 (n=110)	15.5	26.4	53.6	4.5
	篠岡 (n=116)	22.4	29.3	42.2	6.0
	北里 (n=97)	28.9	14.4	48.5	8.2
	米野 (n=98)	17.3	22.4	57.1	3.1
	一色 (n=106)	27.4	19.8	48.1	4.7
	小木 (n=100)	26.0	24.0	46.0	4.0
	小牧原 (n=96)	14.6	25.0	57.3	3.1
	本庄 (n=94)	12.8	25.5	57.4	4.3
	桃ヶ丘 (n=109)	23.9	23.9	49.5	2.8
	陶 (n=106)	20.8	19.8	53.8	5.7
	光ヶ丘 (n=101)	27.7	14.9	52.5	5.0
	大城 (n=99)	14.1	27.3	51.5	7.1
	不明 (n=19)	21.1	21.1	26.3	31.6

(6) 災害時も含めた地域活動をするうえで行政にしてほしいこと (Q29)

災害時も含めた地域活動をするうえで行政にしてほしいことについてきいたところ、「活動したいと思った時に相談にのってくれる窓口」が41.5%と最も高く、次いで「ボランティア活動をしたい人と、お願いしたい人を結びつける仕組み」(39.7%)となっています。

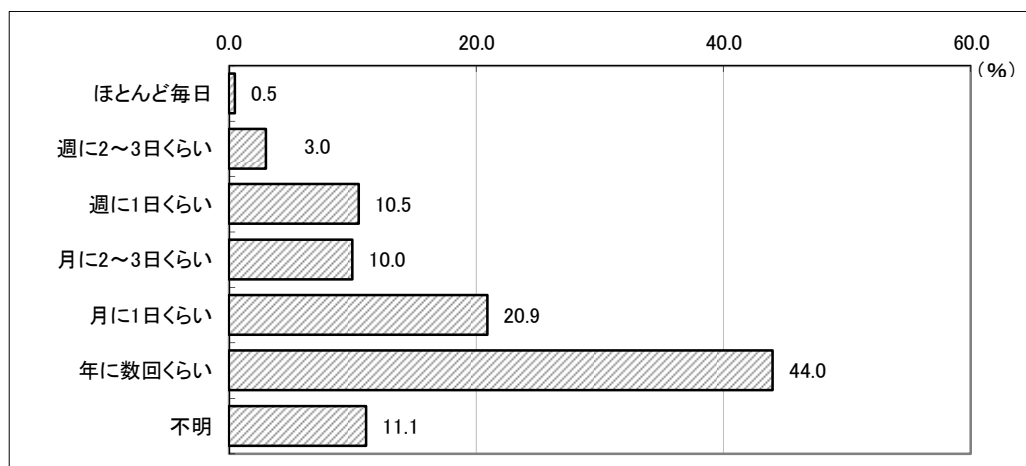
図表一 48 災害時も含めた地域活動をするうえで行政にしてほしいこと(複数回答) (n=1,639)



(7) 地域の活動に割くことのできる時間 (Q30)

地域の活動に割くことのできる時間についてきいたところ、「年に数回くらい」が 44.0%と最も高く、次いで「月に1日くらい」(20.9%)、「週に1日くらい」(10.5%)、「月に2～3日くらい」(10.0%)となっています。

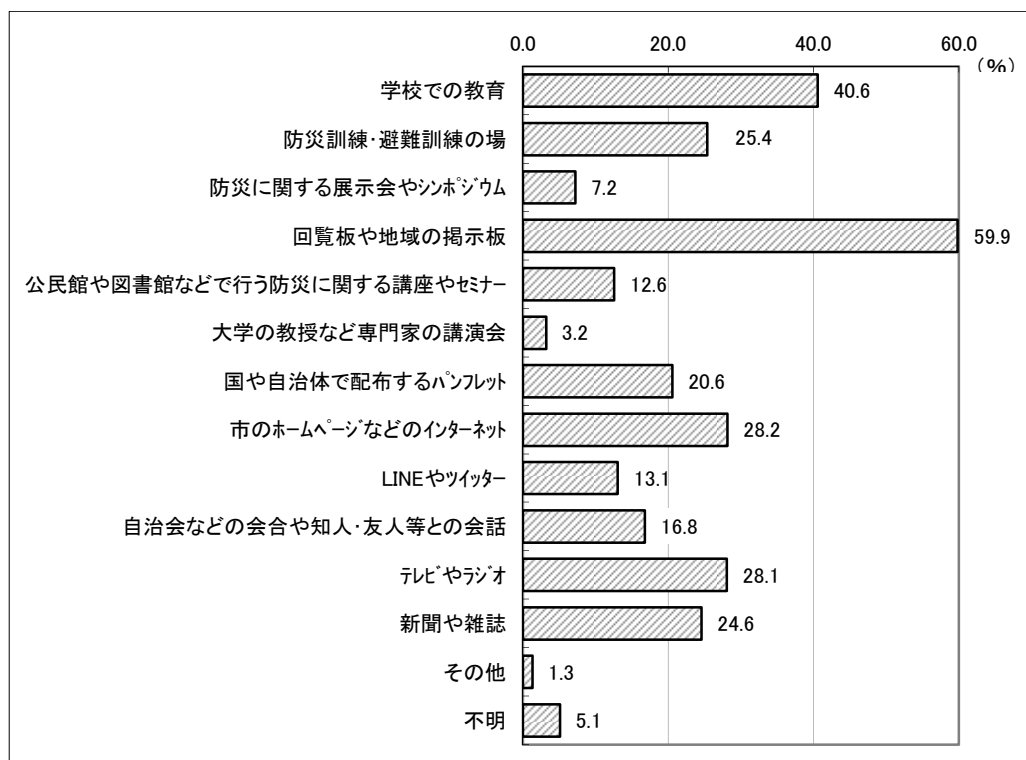
図表－ 49 地域の活動に割くことのできる時間 (n=1,639)



(8) 地域情報等について希望する提供方法 (Q31)

地域情報等について希望する提供方法についてきいたところ、「回覧板や地域の掲示板」が 59.9%と最も高く、次いで「学校での教育」(40.6%)となっています。

図表－ 50 地域情報等について希望する提供方法(複数回答) (n=1,639)



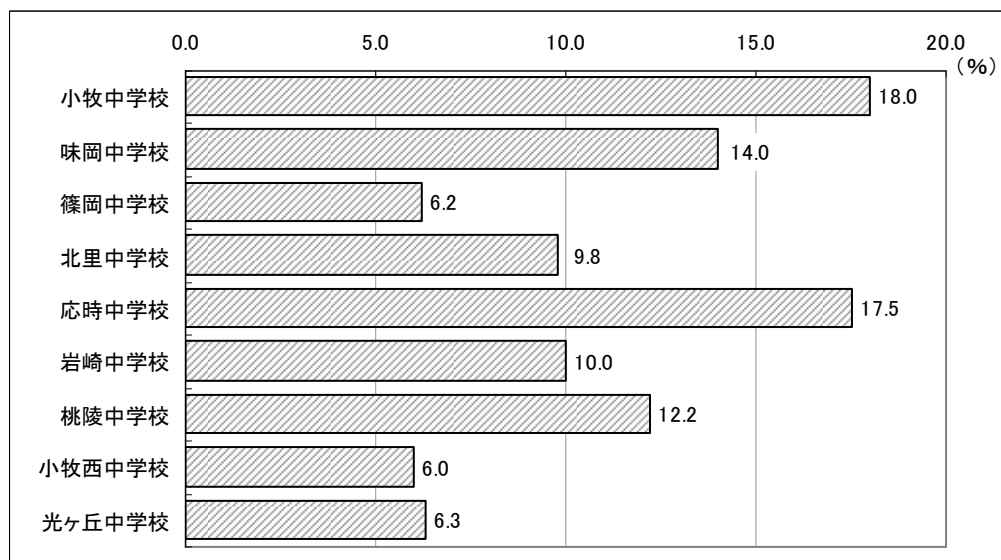
Ⅲ. 中学生

1. 回答者の属性

(1) 回答者の中学校

回答者の中学校は、「小牧中学校」が 18.0%と最も高く、次いで「応時中学校」(17.5%)となっています。

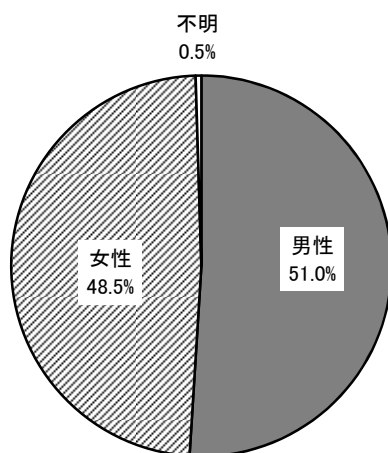
図表ー 51 回答者の中学校 (n=1,414)



(2) 性別 (Q1)

性別については、「男性」が 51.0%、「女性」が 48.5%となっています。

図表ー 52 性別 (n=1,414)

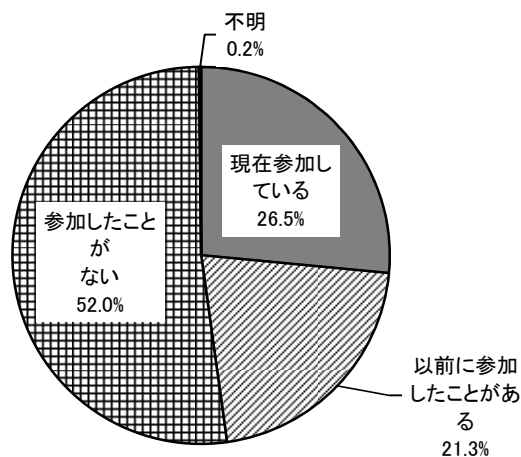


2. ボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について

(1) ボランティア活動への参加経験の有無 (Q2)

ボランティア活動への参加経験の有無については、「現在参加している」が 26.5%、「以前に参加したことがある」が 21.3%、「参加したことがない」が 52.0%となっています。

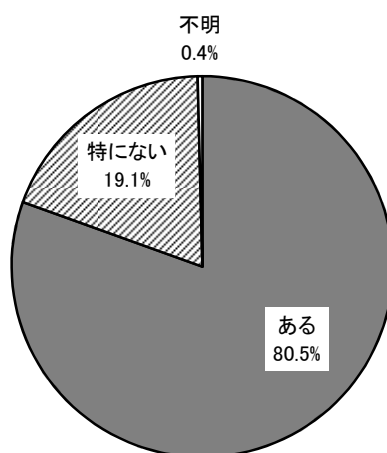
図表－ 53 ボランティア活動への参加経験の有無 (n=1,414)



(2) ボランティア活動に参加してよかったこと、楽しかったことの有無 (Q3)

ボランティア活動に参加したことがある人に、参加してよかったこと、楽しかったことがあるかきいたところ、「ある」が 80.5%、「特にない」が 19.1%となっています。

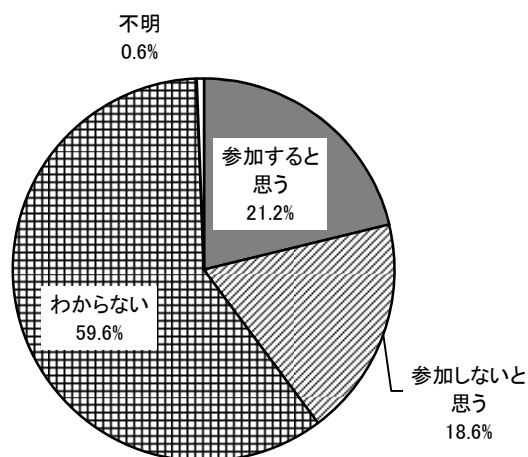
図表－ 54 ボランティア活動に参加してよかったこと、楽しかったことの有無 (n=676)



(3) 中学校卒業後のボランティア活動への参加意向 (Q4)

ボランティア活動に参加したことがある人に、中学校卒業後にボランティア活動へ参加したいかきいたところ、「参加すると思う」が21.2%、「参加しないと思う」が18.6%、「わからない」が59.6%となっています。

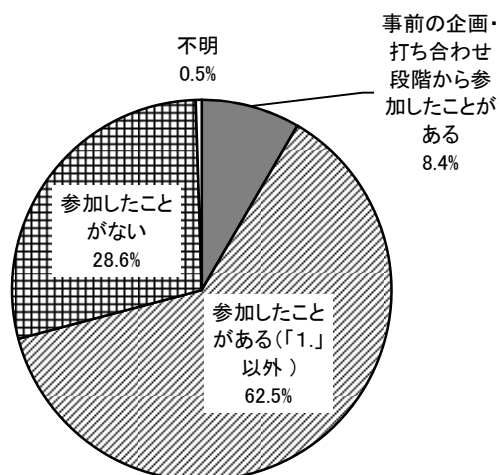
図表ー 55 中学校卒業後のボランティア活動への参加意向 (n=676)



(4) 盆踊りやお祭りなどの地域の行事への参加経験の有無 (Q5)

盆踊りやお祭りなどの地域の行事への参加経験の有無についてきいたところ、「事前の企画・打ち合わせ段階から参加したことがある」が8.4%、「参加したことがある(「1.」以外)」が62.5%、「参加したことがない」が28.6%となっています。

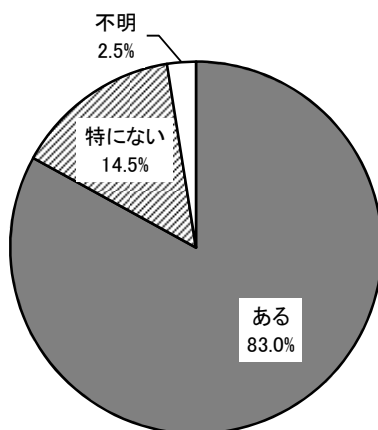
図表ー 56 盆踊りやお祭りなどの地域の行事に参加経験の有無 (n=1,414)



(5) 地域行事に参加してよかったと思ったこと、楽しかったことの有無 (Q6)

盆踊りやお祭りなどの地域の行事に参加した人に参加してよかったこと、楽しかったことがあるかきいたところ、「ある」が83.0%、「特にない」が14.5%となっています。

図表ー 57 地域行事に参加してよかったと思ったこと、楽しかったことの有無 (n=1,002)

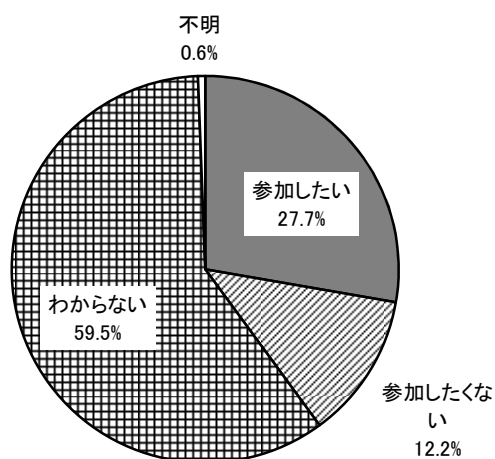


(6) 今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向 (Q7)

今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向についてきいたところ、「参加したい」が27.7%、「参加したくない」が12.2%、「わからない」が59.5%となっています。

地域の人とのかかわり別にみると、「あいさつしたり、気軽に話しかけたりしてくれる」地域は「参加したい」が36.7%である一方で、「あまりしてくれない」地域では「参加したい」が16.3%となっています。

図表ー 58 今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向 (n=1,414)



図表－ 59 近所の人とのかかわり別 今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向（n=1,414）

（単位：％）

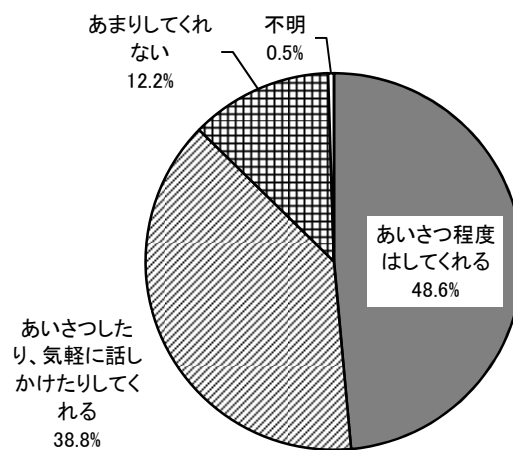
	参加したい	参加したくない	わからない	不明
全体(n=1,414)	27.7	12.2	59.4	0.6
あいさつ程度はしてくれる (n=687)	23.3	12.8	63.5	0.4
あいさつしたり、気軽に話しかけたりしてくれる(n=548)	36.7	8.8	53.6	0.9
あまりしてくれない (n=172)	16.3	21.5	61.6	0.6
不明(n=7)	42.9	－	57.1	－

3. 地域活動について

（１） 近所の人とのかかわり （Q8）

近所の人とのかかわりについてきいたところ、「あいさつ程度はしてくれる」が 48.6%、「あいさつしたり、気軽に話しかけたりしてくれる」が 38.8%、「あまりしてくれない」が 12.2%となっています。

図表－ 60 近所の人とのかかわり（n=1,414）



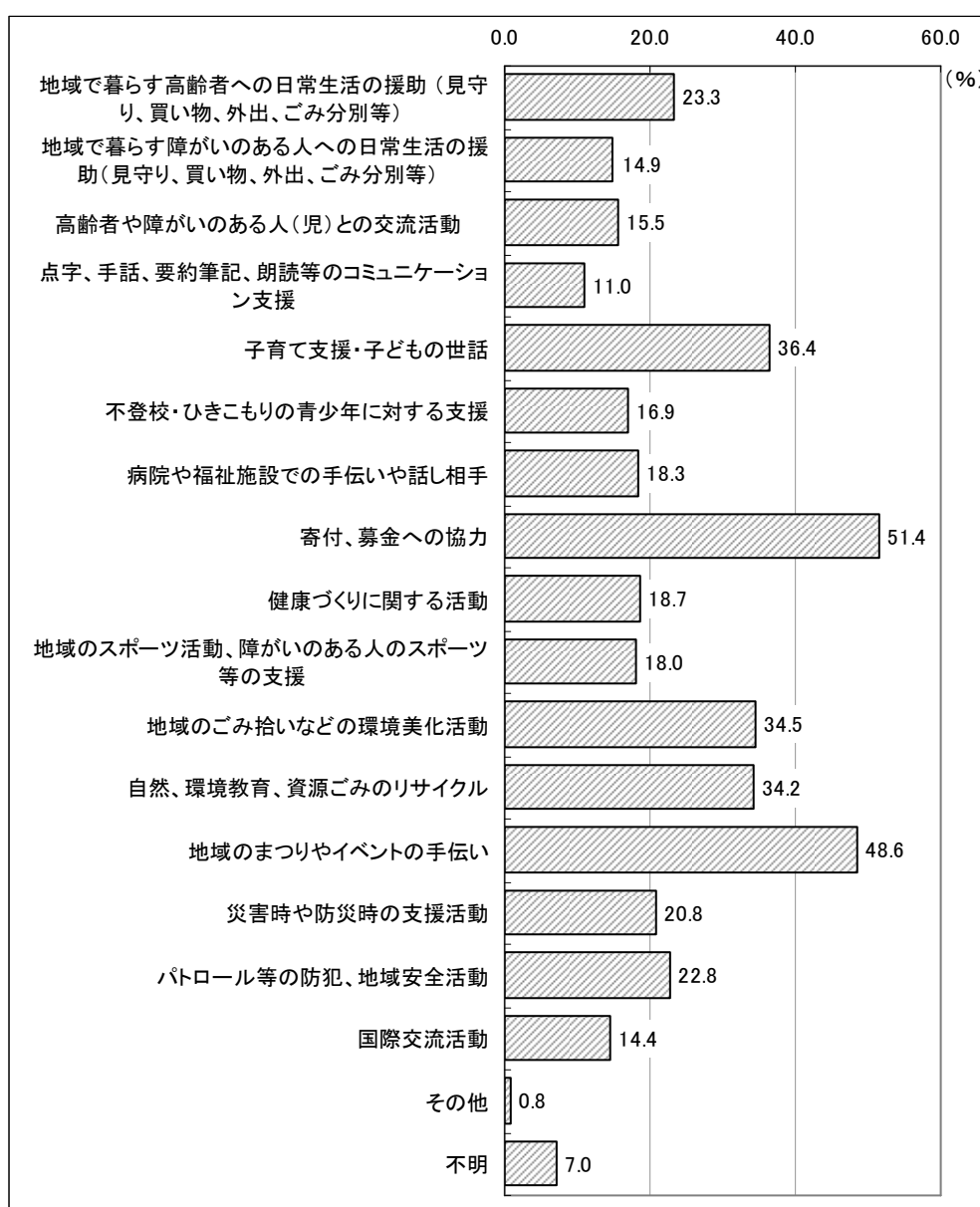
(2) 地域活動でやってみたいこと (Q9)

地域活動でやってみたいことについてきいたところ、「寄付、募金への協力」が 51.4%と最も高く、次いで「地域のまつりやイベントの手伝い」(48.6%)、「子育て支援・子どもの世話」(36.4%)、「地域のごみ拾いなどの環境美化活動」(34.5%)、「自然、環境教育、資源ごみのリサイクル」(34.2%) となっています。

男女別にみると、全体的に「女性」の方が「男性」に比べてやってみたいこととしてあげている人の割合が高くなっています。特に「子育て支援・子どもの世話」や「地域のまつりやイベントの手伝い」については 20 ポイント以上高くなっています。

また、ボランティアの経験別にみると、ボランティア活動に「現在参加している」人や「以前に参加したことがある」人は、「参加したことがない」人に比べて全体的にどの項目についても、参加したいとあげている割合が高くなっています。

図表－ 61 地域活動でやってみたいこと(複数回答) (n=1,414)



図表－ 62 性別・ボランティア経験別 地域活動でやってみたいこと(複数回答) (n=1,414)

(単位：％)

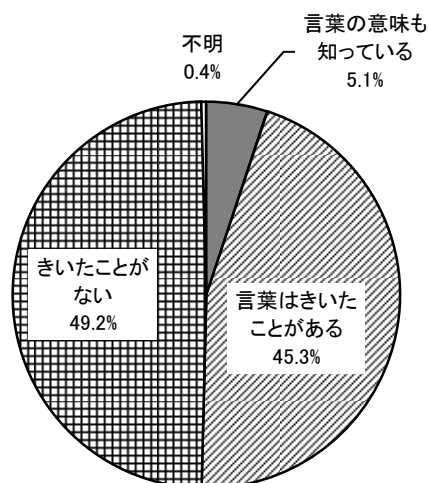
		地域で暮らし 高齢者への日常 生活の援助(見守り、 買い物、外出、 ごみ分別等)	地域で暮らし 障がいのある人 への生活の援助(見 守り、買い物、 外出、ごみ分別等)	高齢者や障がい のある人(児 と)	点字、手話、要 約筆記、朗読等 のコミュニケーション 支援	子育て支援・子 どもの世話	不登校・ひきこ もりの青少年に 対する支援	病院や福祉施設 での手伝いや話 し相手	寄付、募金への 協力
全体(n=1,414)		23.3	14.9	15.5	11.0	36.4	16.9	18.3	51.4
性別	男性(n=721)	20.4	12.8	10.7	8.7	22.9	16.6	11.0	47.2
	女性(n=686)	26.5	17.1	20.6	13.6	50.4	17.3	25.9	56.0
	不明(n=7)	—	14.3	14.3	—	42.9	—	28.6	42.9
ボランティア 経験別	現在参加している (n=375)	27.5	16.5	21.3	13.3	45.6	15.5	24.8	64.5
	以前に参加した ことがある(n=301)	23.6	16.9	18.6	11.3	40.5	21.6	19.6	53.2
	参加したことがない (n=735)	21.1	13.2	11.3	9.8	29.9	15.6	14.3	44.1
	不明(n=100)	—	—	—	—	33.3	33.3	66.7	33.3

		健康づくりに関 する活動	地域のスポーツ活 動、障がいのある 人のスポーツ活動 の支援	地域のゴミ拾い などの環境美化 活動	自然、環境教育 、資源ごみのリ サイクル	地域のまつりや イベントの手伝 い	災害時や防災時 の支援活動	パトロール等の 防犯、地域安全 活動	国際交流活動	その他	不明
全体(n=1,414)		18.7	18.0	34.5	34.2	48.6	20.8	22.8	14.4	0.8	7.0
性別	男性(n=721)	19.7	22.1	33.6	31.8	38.8	20.0	27.0	11.1	1.1	10.5
	女性(n=686)	17.8	13.7	35.6	37.0	59.2	21.9	18.5	17.9	0.6	3.4
	不明(n=7)	—	14.3	28.6	—	14.3	—	14.3	14.3	—	—
ボランティア 経験別	現在参加している (n=375)	19.7	18.1	40.5	40.0	60.0	25.9	28.3	17.1	0.8	1.9
	以前に参加した ことがある(n=301)	20.3	22.3	38.5	34.2	54.5	23.6	21.9	15.9	0.3	3.0
	参加したことがない (n=735)	17.6	16.1	29.9	31.2	40.5	17.1	20.5	12.5	1.1	11.3
	不明(n=100)	—	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—

(3) 「自助」「共助」「公助」についての認知度 (Q10)

「自助」「共助」「公助」の言葉を知っているかきいたところ、「言葉の意味も知っている」が5.1%、「言葉はきいたことがある」が45.3%、「きいたことがない」が49.2%となっています。

図表－ 63 「自助」「共助」「公助」についての認知度 (n=1,414)



(4) 日頃生活している中での、地域の一員としてのあり方 (Q11)

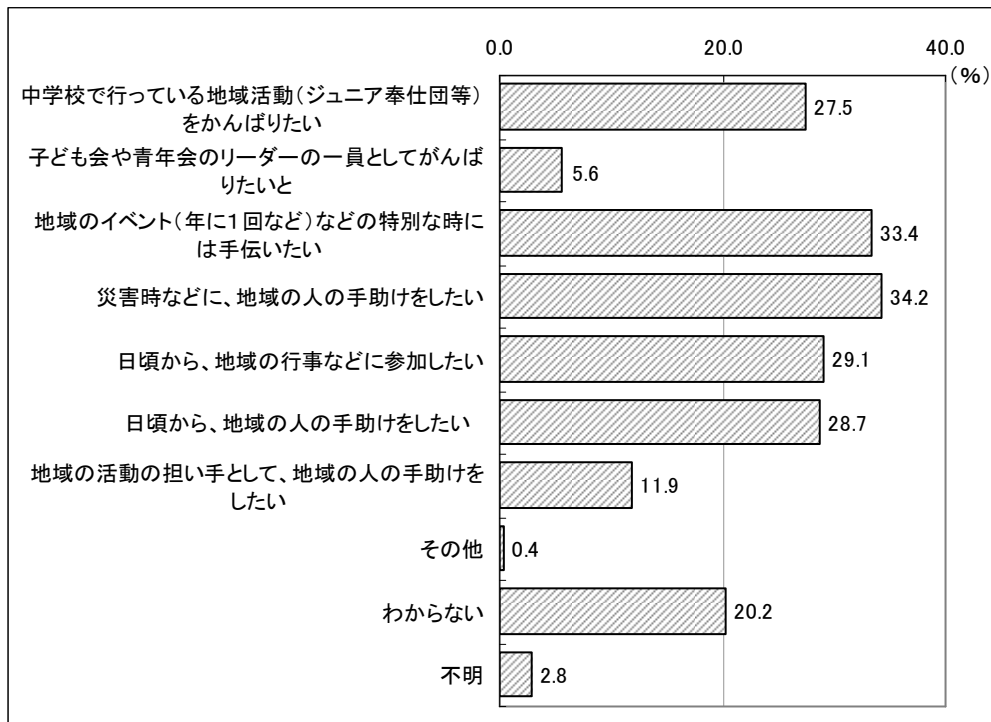
日頃生活している中での、地域の一員としてのあり方についてきいたところ、「災害時などに、地域の人の手助けをしたい」(34.2%)、「地域のイベント(年に1回など)などの特別な時には手伝いたい」(33.4%)が上位にあがっています。

男女別にみると、女性の方が男性に比べて、さまざまな場面で活動したいと考えている人の割合が高く、特に「中学校で行っている地域活動(ジュニア奉仕団等)をがんばりたい」や「日頃から、地域の行事などに参加したい」、「日頃から、地域の人の手助けをしたい」については、男性と10ポイント以上の差がみられます。

地域別にみると、「北里」では「中学校で行っている地域活動(ジュニア奉仕団等)をがんばりたい」を、「小牧中部」では「地域のイベント(年に1回など)などの特別な時には手伝いたい」や「災害時などに、地域の人の手助けをしたい」を、「味岡」では「地域のイベント(年に1回など)などの特別な時には手伝いたい」や「災害時などに、地域の人の手助けをしたい」「日頃から、地域の人の手助けをしたい」をあげる割合が他の地域に比べて高くなっています。

その他、近所の人とのかかわり別にみると、「あいさつしたり、気軽に話しかけたりしてくれる」地域では、全体的にどの項目も参加したいとする人の割合が他に比べて高くなっています。一方、「あまりしてくれない」地域では、「わからない」とする人が36.6%います。

図表－ 64 日頃生活している中で、地域の一員としてのあり方(複数回答) (n=1,414)



図表－ 65 性別・地域別・近所の人とのかかわり別
日頃生活している中で、地域の一員としてのあり方(複数回答) (n=1,414)

		(単位: %)									
		中学校等活動(ジュニア奉仕活動)をがんばりたい	子ども会や青年会の一員として	1回などイベント(年別)	災害時などの手伝いをしたい	日頃から参加したい行事	日頃からしたい人の	地域の活動の担い手として、地域の人の手助	その他	わからない	不明
全体(n=1,414)		27.5	5.6	33.4	34.2	29.1	28.7	11.9	0.4	20.2	2.8
性別	男性(n=721)	20.2	6.9	29.8	31.5	23.7	23.6	11.2	0.6	26.5	4.0
	女性(n=686)	35.1	4.2	37.3	37.5	35.1	34.1	12.7	0.3	13.4	1.5
	不明(n=7)	28.6	—	14.3	—	—	28.6	—	—	42.9	14.3
地域別	小牧南部(n=247)	15.8	4.9	26.7	32.8	30.4	25.5	10.9	1.2	23.1	3.2
	小牧中部(n=255)	22.7	6.7	40.4	40.4	31.8	31.0	15.3	0.8	18.0	1.2
	小牧西武(n=85)	28.2	5.9	25.9	24.7	28.2	24.7	10.6	—	29.4	7.1
	篠岡(n=349)	29.8	5.4	32.1	31.2	28.1	26.6	12.0	—	19.5	3.7
	味岡(n=339)	31.3	5.0	38.6	39.8	28.3	34.8	12.4	0.3	16.5	2.7
	北里(n=139)	41.7	6.5	27.3	25.2	27.3	23.0	6.5	—	24.5	0.7
近所の人とかかわり別	あいさつ程度はしてくれる(n=687)	24.6	4.1	31.0	30.4	26.8	22.7	8.7	0.3	21.0	3.1
	あいさつしたり、気軽に話しかけたりしてくれる(n=548)	32.1	7.8	38.9	42.0	35.6	38.9	17.7	0.5	14.1	1.8
	あまりしてくれない(n=172)	25.0	4.7	26.7	26.2	19.2	21.5	5.8	0.6	36.6	3.5
	不明(n=7)	14.3	—	—	—	—	—	14.3	—	28.6	42.9

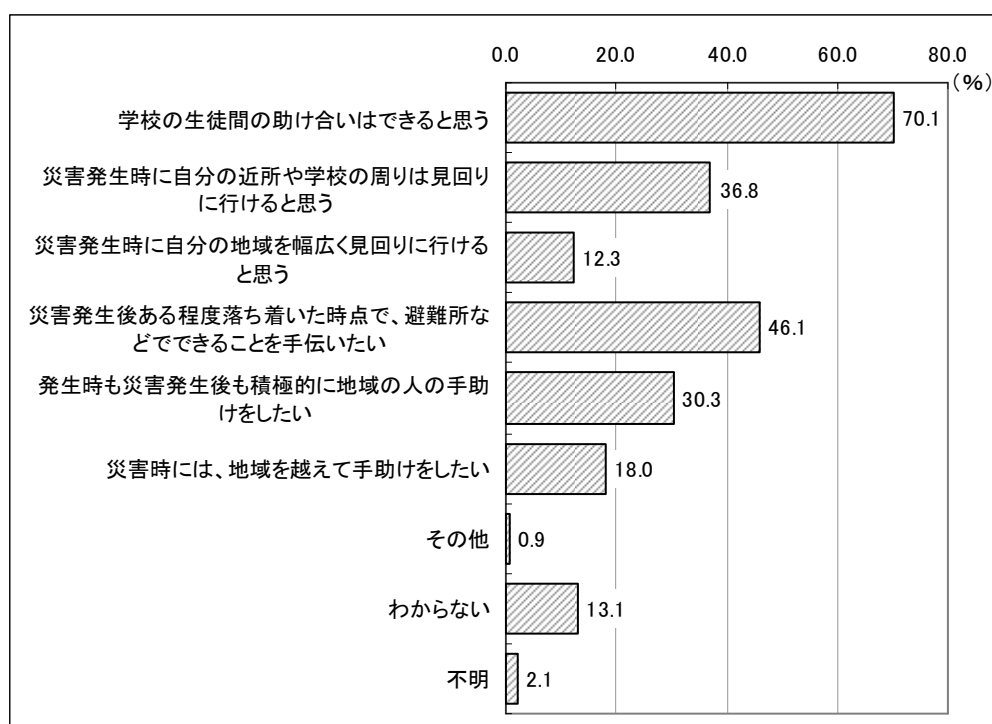
(5) 災害時に地域の一員としてできること (Q12)

災害時に地域の一員としてできることについてきいたところ、「学校の生徒間の助け合いはできると思う」が70.1%と最も高く、次いで「災害発生後ある程度落ち着いた時点で、避難所などでできることを手伝いたい」(46.1%)、「災害発生時に自分の近所や学校の周りは見回りに行けると思う」(36.8%)となっています。

男女別にみると、女性は男性に比べて、「災害発生後ある程度落ち着いた時点で、避難所などでできることを手伝いたい」をあげる人の割合が18ポイント高く、また、女性の方が全体的に地域の一員としてできることをしたいとする割合が高くなっています。

近所の人とのかかわり別にみると、「あいさつしたり、気軽に話しかけたりしてくれる」地域では、全体的にどの項目も一員としてできることをしたいとする割合が他に比べて高くなっています。

図表－ 66 災害時に地域の一員としてできること(複数回答) (n=1,414)



(单位:%)

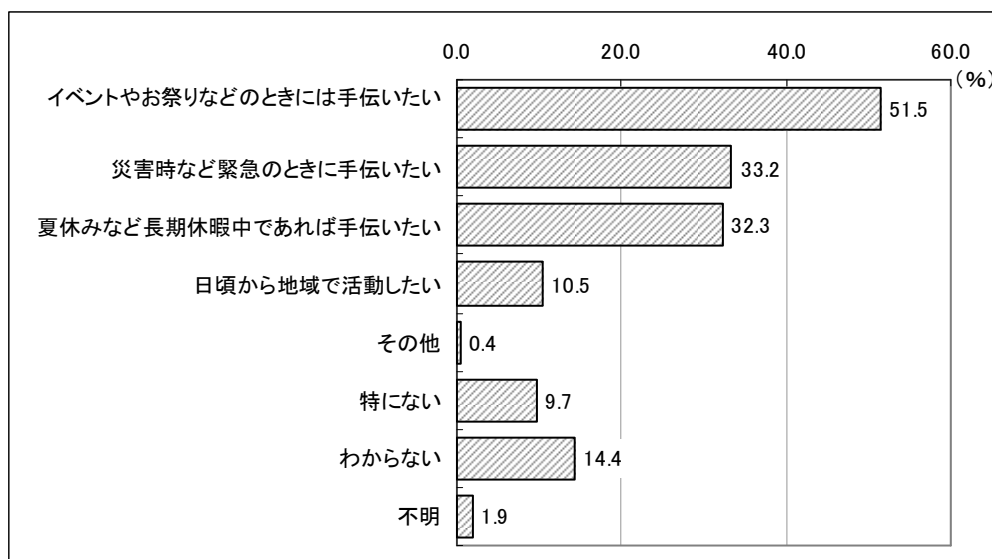
43

(6) 地域活動が行える時 (Q13)

地域活動が行える時についてきいたところ、「イベントやお祭りなどのときには手伝いたい」が 51.5%と最も高く、次いで「災害時など緊急のときには手伝いたい」(33.2%)、「夏休みなど長期休暇中であれば手伝いたい」(32.3%)となっています。

近所の人とのかかわり別にみると、「あいさつしたり、気軽に話しかけたりしてくれる」地域では、全体的に手伝いたいとする割合が他に比べて高くなっています。

図表－ 68 地域活動が行える時(複数回答) (n=1,414)



図表－ 69 近所の人とのかかわり別 地域活動が行える時(複数回答) (n=1,414)

(単位: %)

	のイ ベン きに トは 手お 伝祭 いた など	に災 害手 伝時 いた など 緊急 の時 き	で夏 あ休 れみ ばな ど手 伝長 期休 いた 暇中	た日 い頃 から 地 域 で 活 動 し	そ 他	特 に な い	わ か ら な い	不 明
全体(n=1,414)	51.5	33.2	32.3	10.5	0.4	9.7	14.4	1.9
あいさつ程度はしてくれる (n=687)	48.2	30.7	29.4	6.7	0.4	11.1	15.6	2.0
あいさつしたり、気軽に話 かけたりしてくれる(n=548)	60.6	38.9	36.3	16.4	0.4	5.3	10.8	1.5
あまりしてくれない (n=172)	37.2	26.7	32.0	7.6	0.6	17.4	20.3	1.7
不明(n=7)	14.3	—	14.3	—	—	28.6	28.6	28.6

IV. 前回調査(平成 23 年)との比較

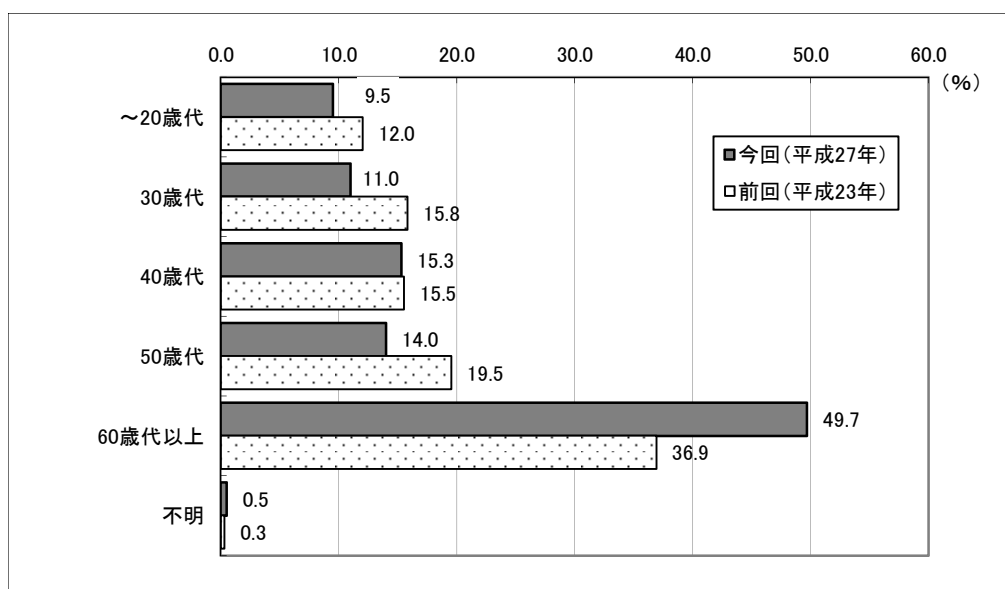
	調査期間	有効回答数（n 数）
今回	平成 27 年 12 月 1 日～12 月 18 日	1,509
前回	平成 23 年 2 月 8 日～2 月 21 日	1,639

1. 市民アンケート

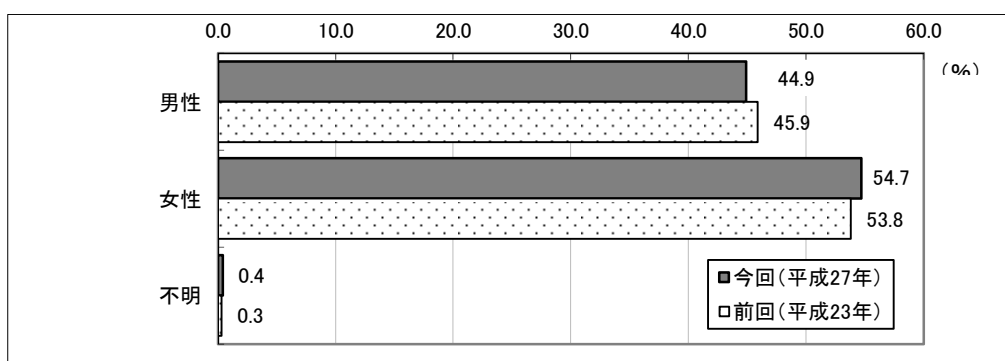
（１） 回答者の属性（年齢・性別）

前回調査（平成 23 年実施、以下「前回」という）に比べ、「60 歳代以上」が約 13 ポイント高くなっている一方で、「30 歳代」、「50 歳代」がそれぞれ 5 ポイント前後減少しています。男女比は前回とほぼ同様となっています。

図表－ 70 年齢



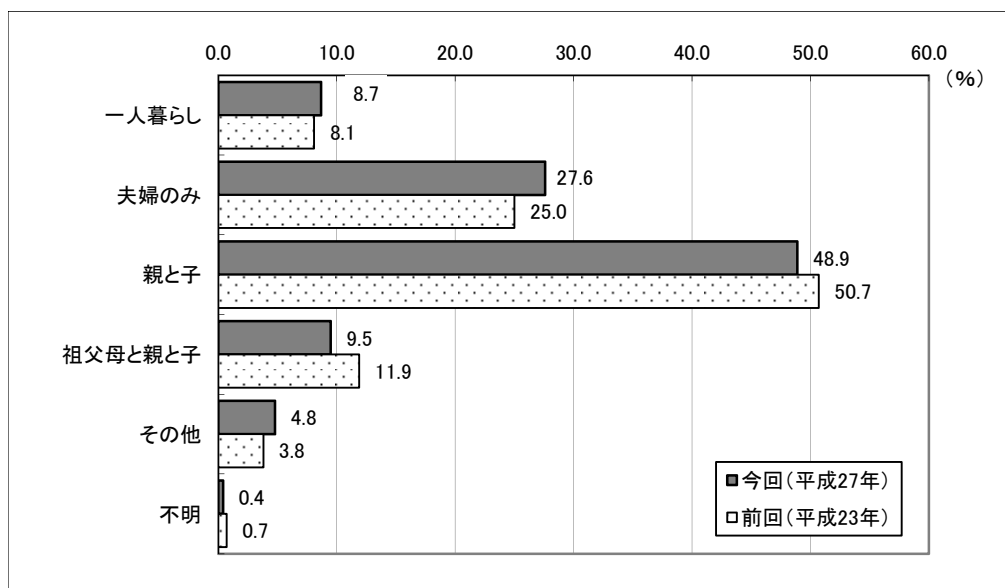
図表－ 71 性別



(2) 家族構成

家族構成においても、前回とほぼ同様となっています。

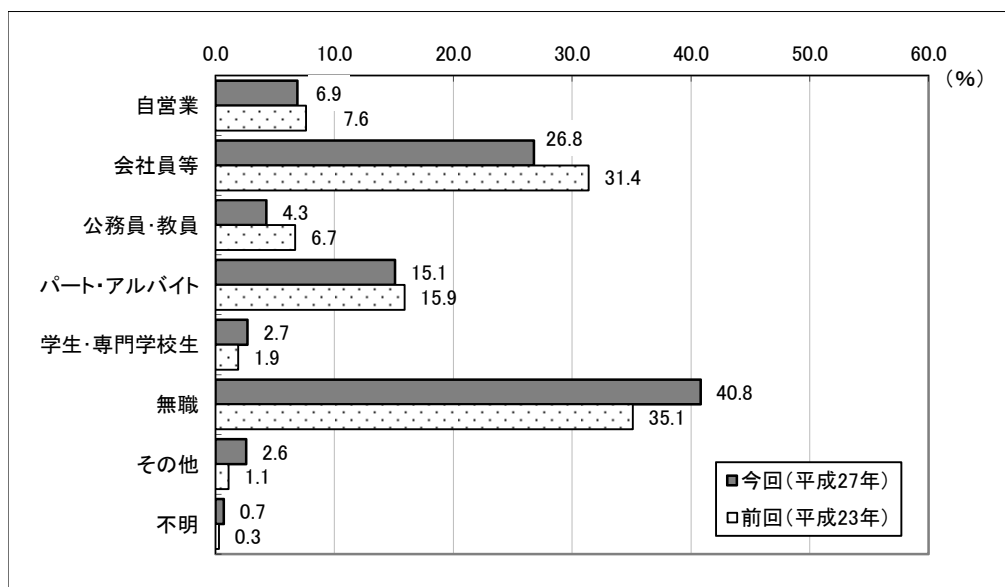
図表－ 72 同居している家族の構成 (n=1,639)



(3) 就業・就学状況

就業・就学状況については、60 歳代以上の割合が高くなったこともあり、「無職」が約 6 ポイント増加している一方で、「会社員等」が約 5 ポイント減少しています。

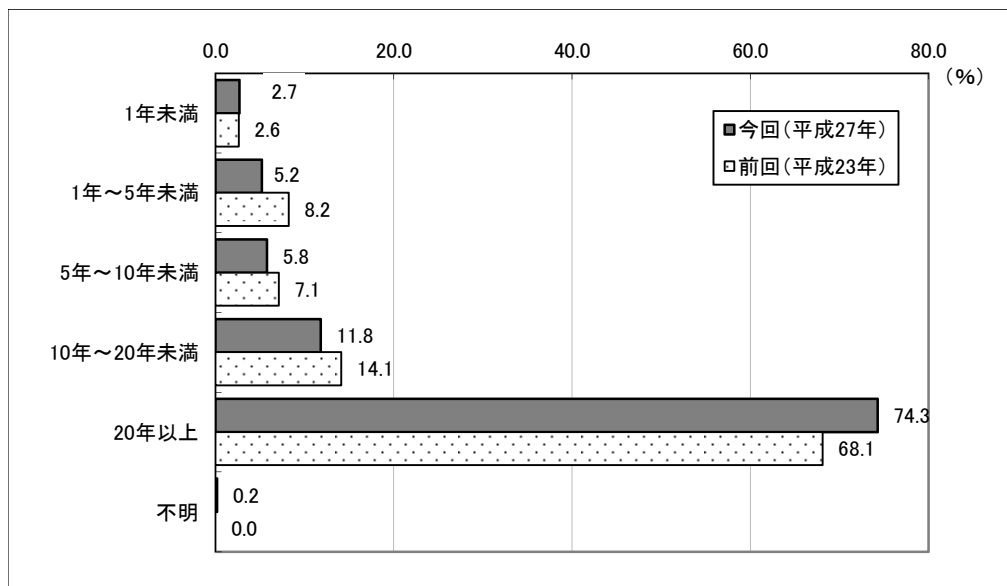
図表－ 73 就業・就学状況



(4) 小牧市在住年数

小牧市在住年数については、60歳以上の割合が高くなったこともあり、前回に比べて「20年以上」が約6ポイント高くなっています。

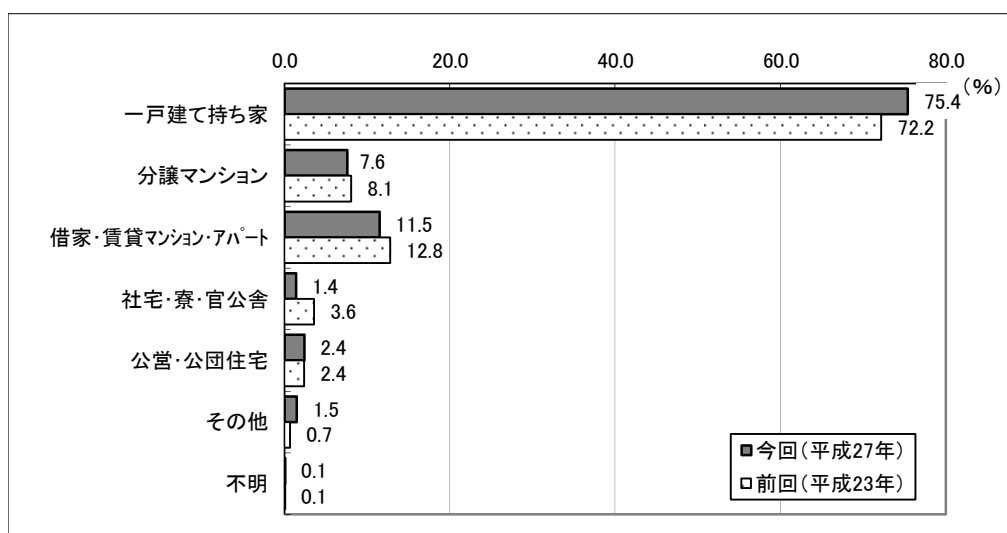
図表－ 74 小牧市在住年数



(5) 居住形態

居住形態については、前回とおおむね同様の傾向となっています。

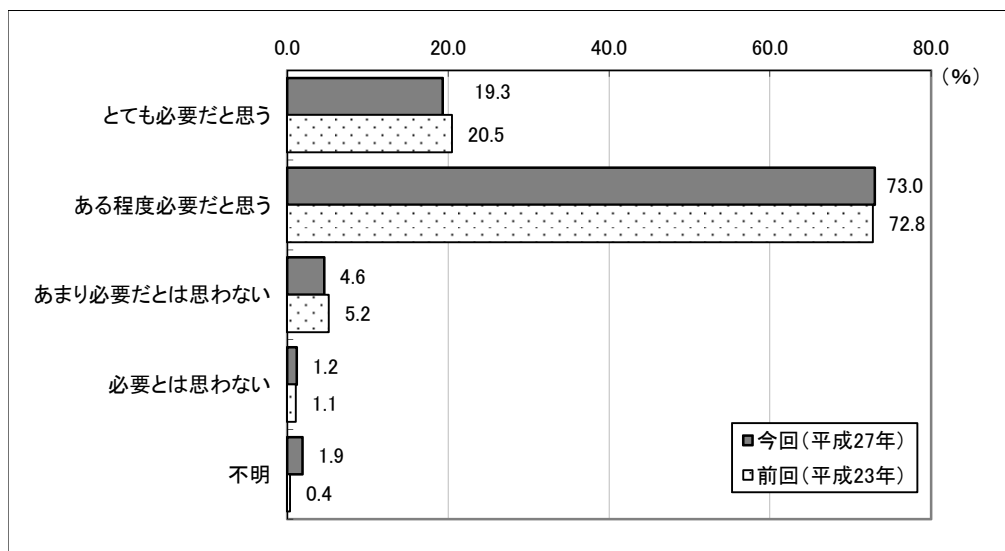
図表－ 75 居住形態



(6) 住民同士のかかわり

住民同士のかかわりについては、前回とおおむね同様の傾向となっています。

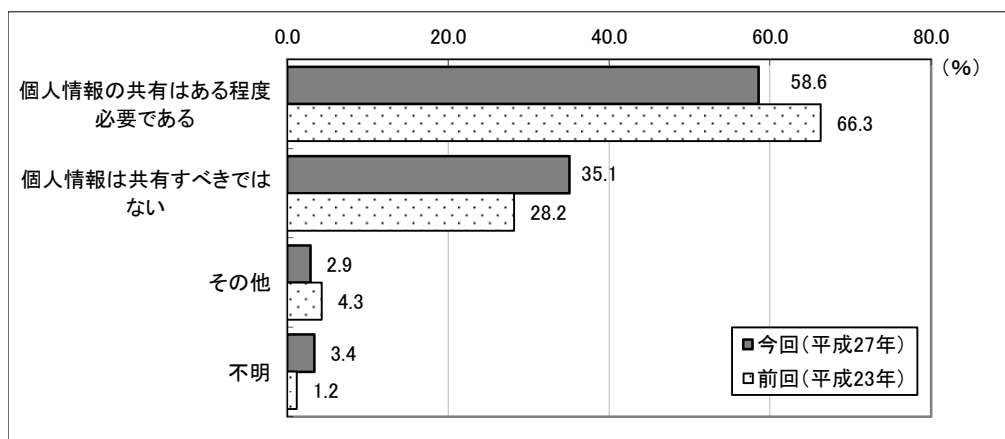
図表ー 76 住民同士のかかわりについて



(7) 住民同士の支え合いのための個人情報の取扱い

住民同士の支え合いのための個人情報の取扱いについては、前回同様「個人情報の共有はある程度必要である」が半数以上を占めているものの、前回に比べて「個人情報は共有すべきではない」が約7ポイント増加しています。

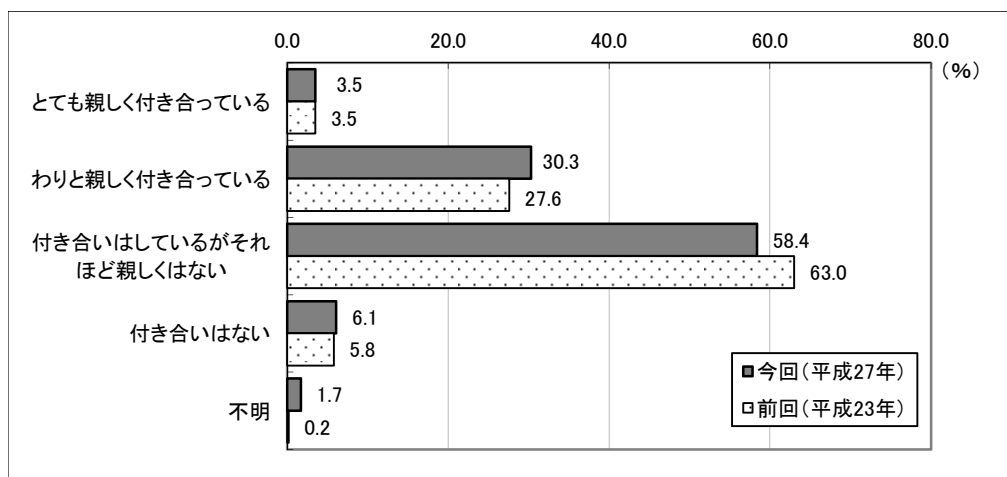
図表ー 77 住民同士の支え合いのための個人情報の取扱いについて



(8) 近所付き合いの程度

近所付き合いの程度については、前回とおおむね同様の傾向となっています。

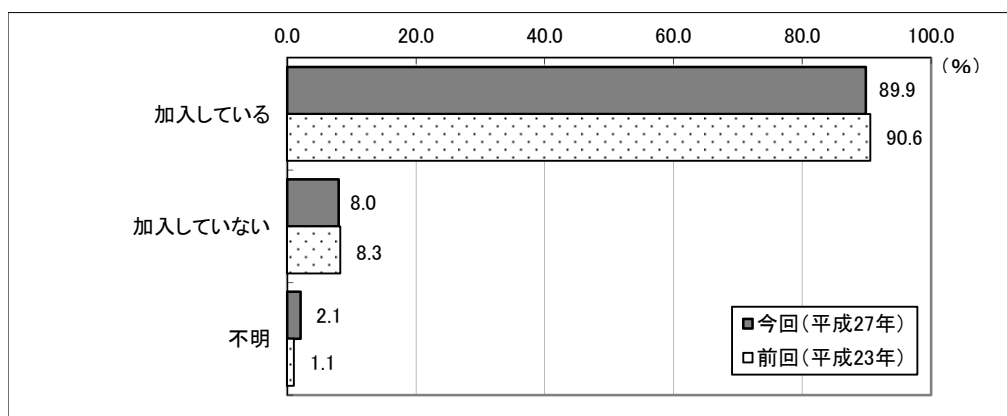
図表－ 78 近所付き合いの程度



(9) 自治会への加入有無

自治会への加入有無については、前回同様「加入している」割合が約 90%と高くなっています。

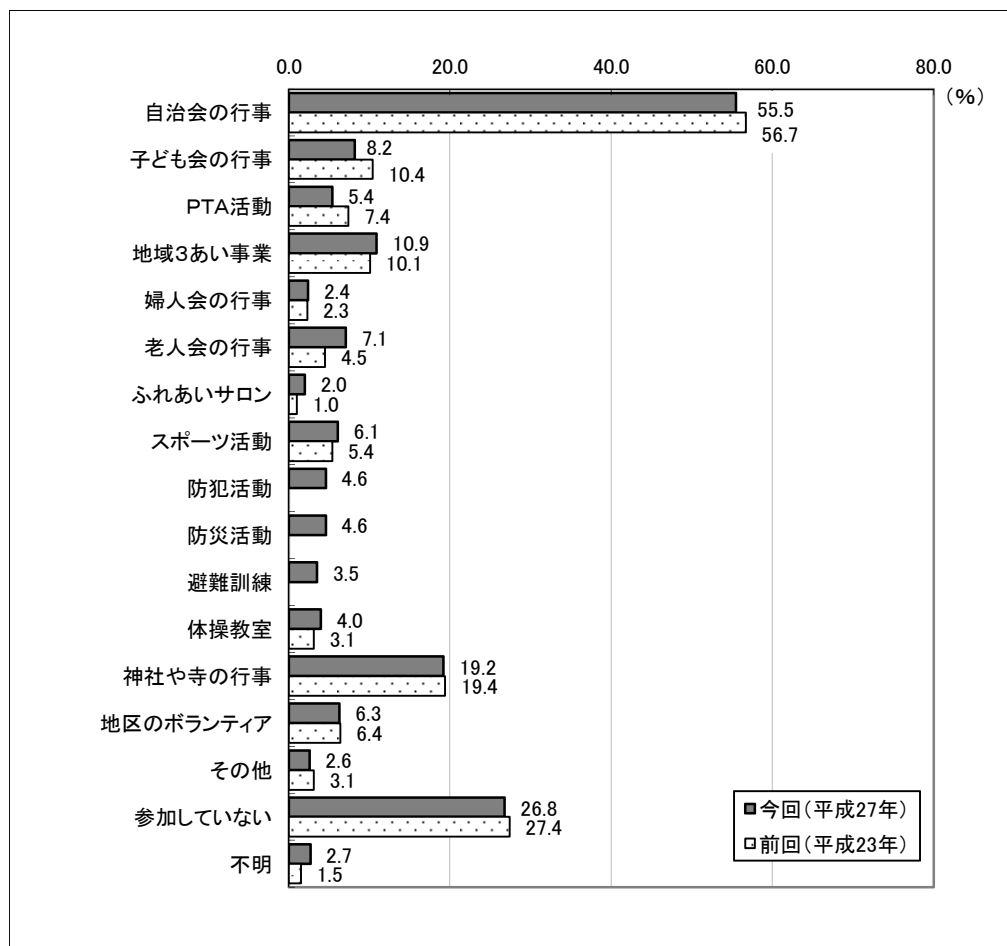
図表－ 79 自治会への加入有無



(10) 参加している地域の活動・行事内容

参加している地域の活動・行事内容については、前回とおおむね同様の傾向となっています。ただ、「子ども会の行事」や「PTA活動」など子どもに関する活動への参加状況がやや低くなっています。

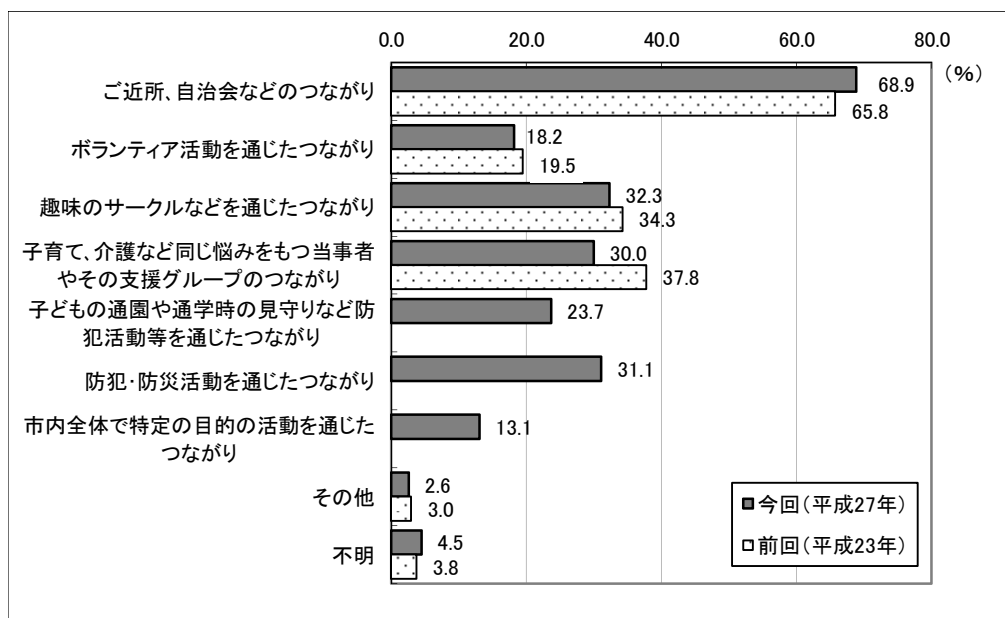
図表－ 80 参加している地域の活動・行事内容(複数回答)



(11) 新たな支え合いの関係を築くために必要なつながり

新たな支え合いの関係を築くために必要なつながりについては、前回と同じ項目については、おおむね同様の傾向になっています。また、今回新たに追加した項目では「防犯・防災活動を通じたつながり」が高くなっています。

図表－ 81 新たな支え合いの関係を築くために必要なつながり(複数回答)

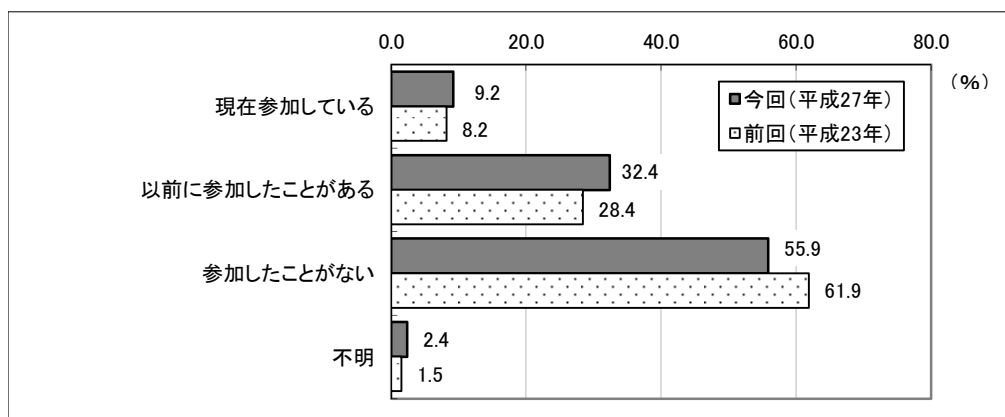


(12) ボランティア活動への参加経験

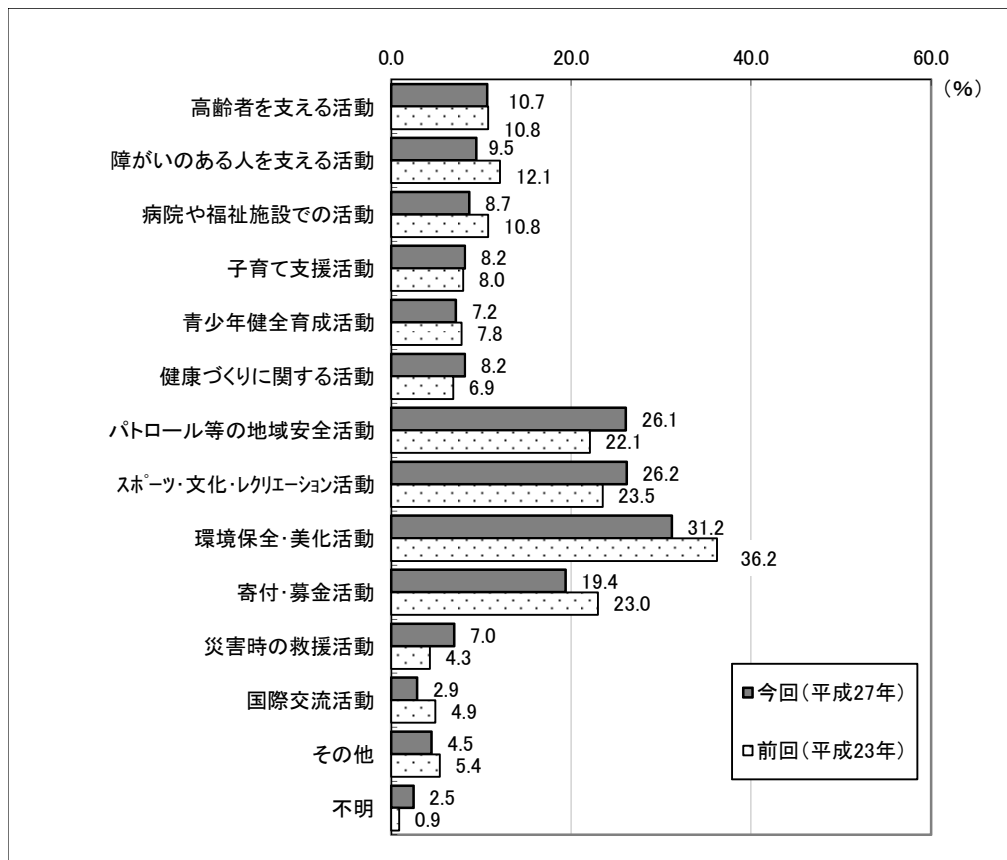
ボランティア活動への参加経験については、「参加したことがない」割合が約6ポイント減少している一方で、「以前に参加したことがある」割合が約4ポイント増加しています。

参加したボランティア活動・行事については、上位にあがっているものに大きな違いはみられないものの、「環境保全・美化活動」や「寄付・募金活動」をあげる人の割合はやや減少している一方で「パトロール等の地域安全活動」や「スポーツ・文化・レクリエーション活動」は前回に比べてやや増加しています。

図表－ 82 ボランティア活動への参加経験



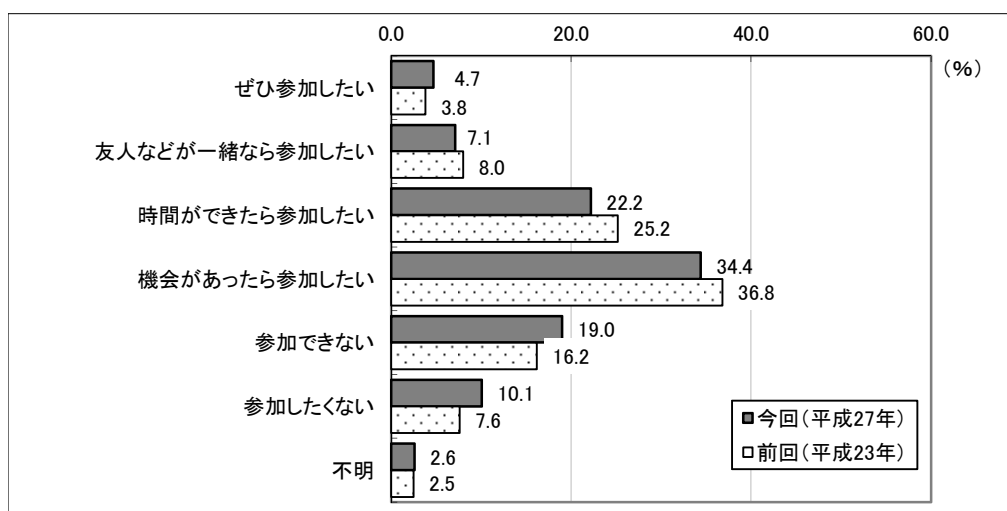
図表ー 83 参加したボランティア活動・行事(複数回答) (n=682)



(13) 今後のボランティア活動への参加意向

今後のボランティア活動への参加意向については、「参加できない」「参加したくない」が前回に比べてやや増加しています。

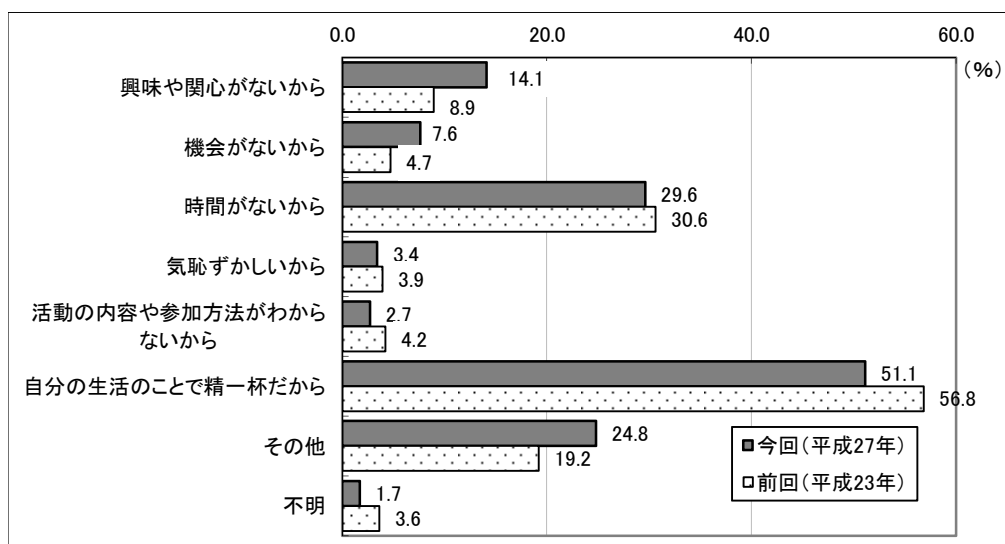
図表ー 84 今後のボランティア活動への参加意向 (n=1,639)



(14) ボランティア活動に参加したくない理由

ボランティア活動に参加したくない理由については、前回に比べてやや減少しているものの「自分の生活のことで精一杯だから」をあげる人の割合が最も高く、半数を超えています。その他、「興味関心がないから」は約5ポイント増加しています。

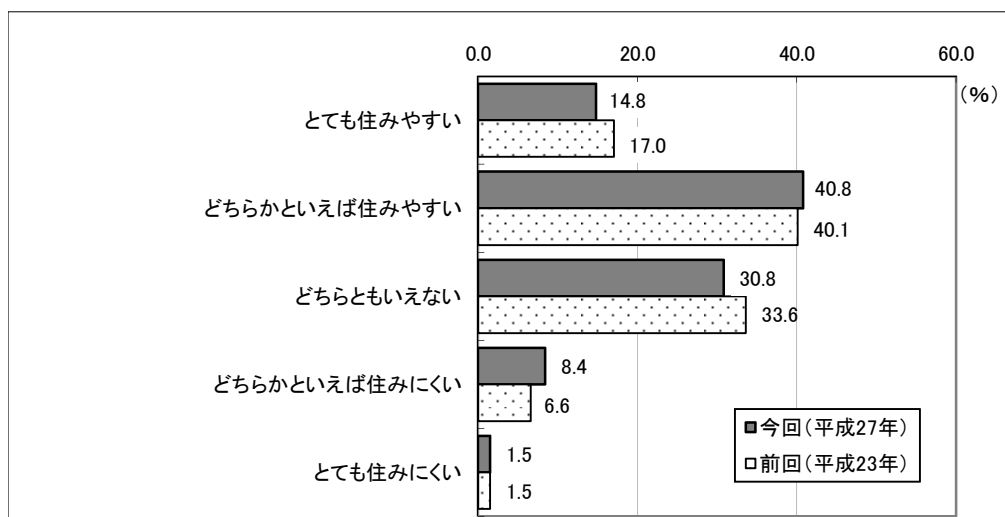
図表－ 85 ボランティア活動に参加したくない理由(複数回答) (n=476)



(15) 住んでいる地域の住みやすさ

住んでいる地域の住みやすさについては、前回とほぼ同様の傾向になっています

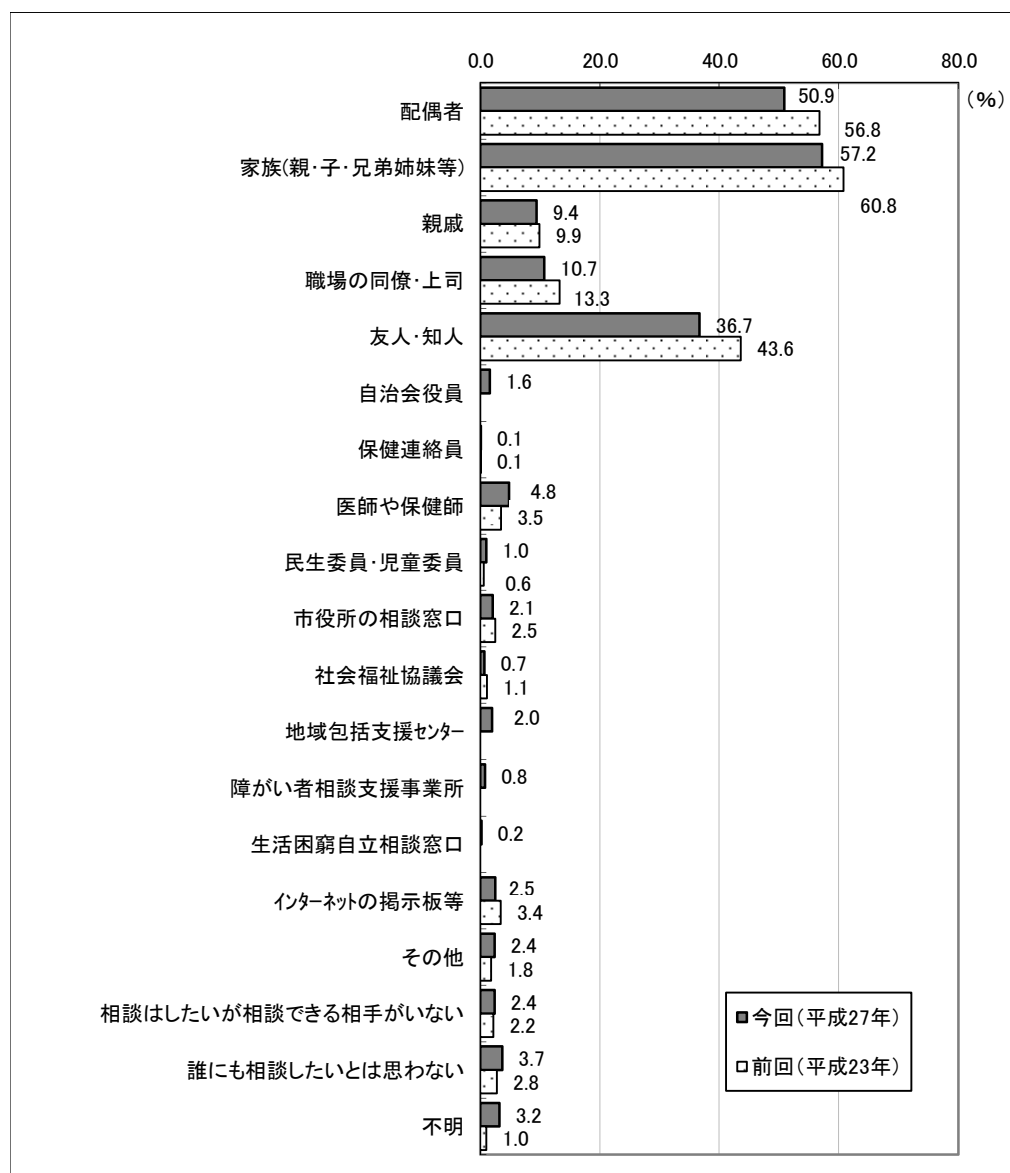
図表－ 86 住んでいる地域の住みやすさ



(16) 日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物

日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物については、上位にあがっているものに大きな違いはみられないものの、全体的にあげている人の割合が低くなっています。

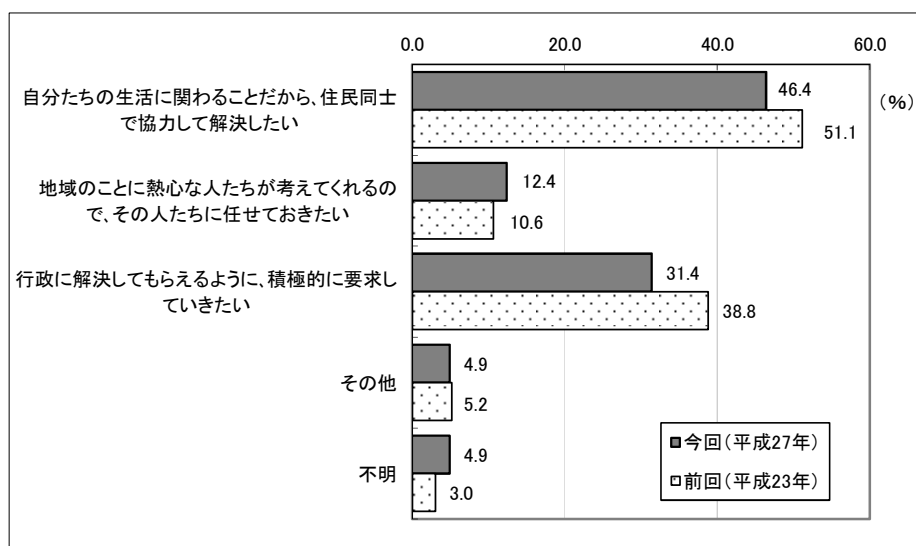
図表－ 87 日常生活の困りごと・悩みごとを相談する人物(複数回答)



(17) 問題や困りごとが生じた場合の解決方法

問題や困りごとが生じた場合の解決方法については、前回と同様の傾向になっているものの「自分たちで生活に関わることから、住民同士で協力して解決したい」や「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」をあげる割合がやや減少、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい」がやや増加しています。

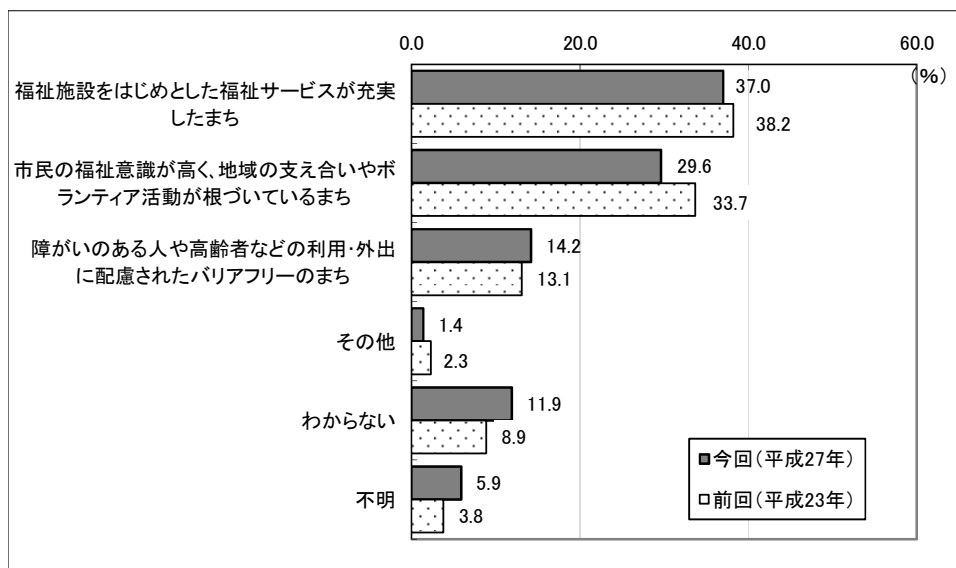
図表－ 88 問題や困りごとが生じた場合の解決方法



(18) 「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまち

「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまちについては、「福祉施設をはじめとした福祉サービスが充実したまち」や「市民の福祉意識が高く、地域の支え合いやボランティア活動が根づいているまち」の割合が減少している一方で、「わからない」とする人が増加しています。

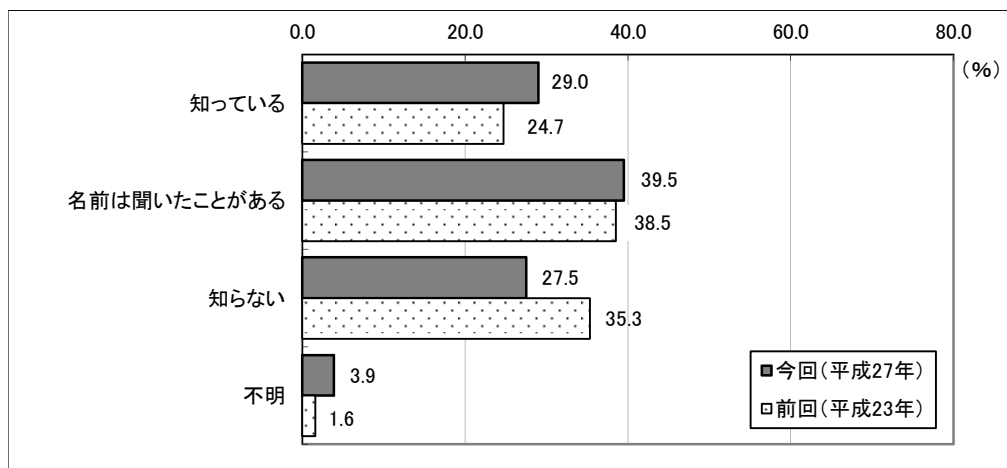
図表－ 89 「福祉のまち」として小牧市がめざすべきまち



(19) 小牧市社会福祉協議会の認知度

小牧市社会福祉協議会の認知度については、前回に比べて「知っている」割合が約4ポイント増加している一方で、「知らない」割合が約8ポイント減少しています。

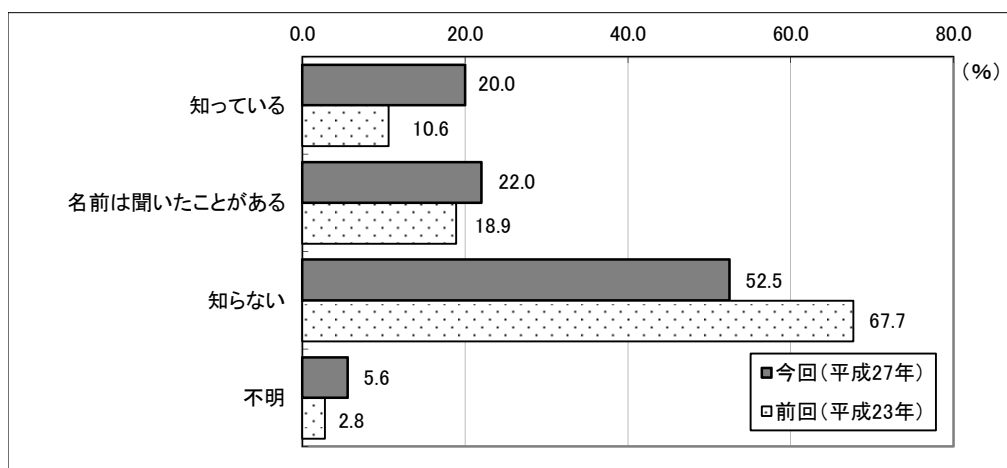
図表ー 90 小牧市社会福祉協議会の認知度 (n=1,639)



(20) 地域包括支援センターの認知度

地域包括支援センターの認知度については、前回に比べて「知っている」割合が約9ポイント増加している一方で、「知らない」割合が約15ポイント減少しています。

図表ー 91 地域包括支援センターの認知

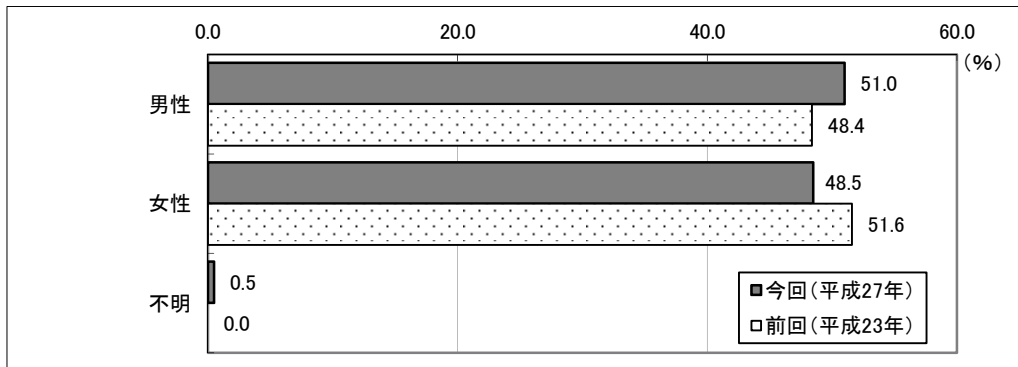


2. 中学生

(1) 回答者の属性

性別については、前回調査に比べ「女性」がやや減少した一方で、「男性」がやや増加しています。

図表－ 92 性別

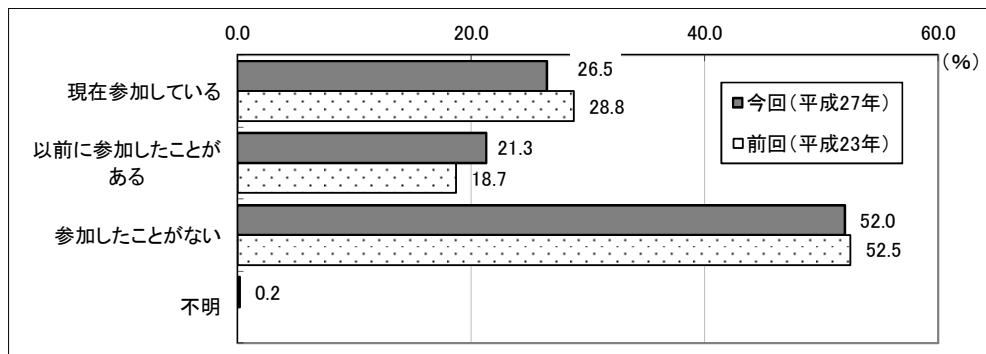


(2) ボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について

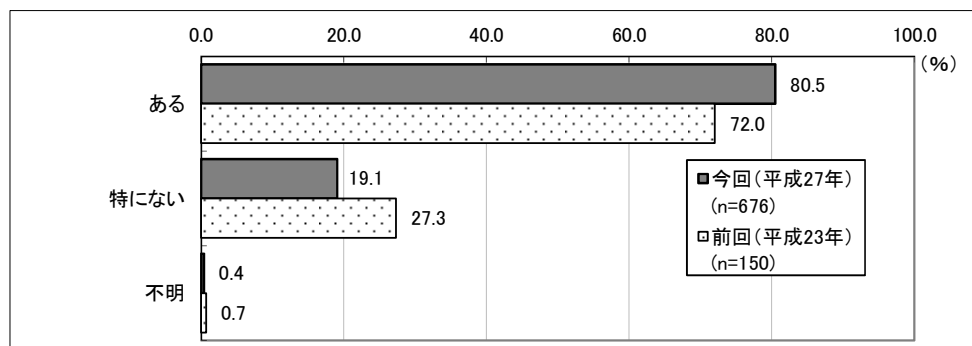
ボランティア活動への参加経験の有無については、前回調査より「現在参加している」がやや減少している一方で、「以前に参加したことがある」がやや増加しています。

ボランティア活動に参加してよかったこと、楽しかったことの有無については、「ある」が前回より約9ポイント増加しています。

図表－ 93 ボランティア活動への参加経験の有無



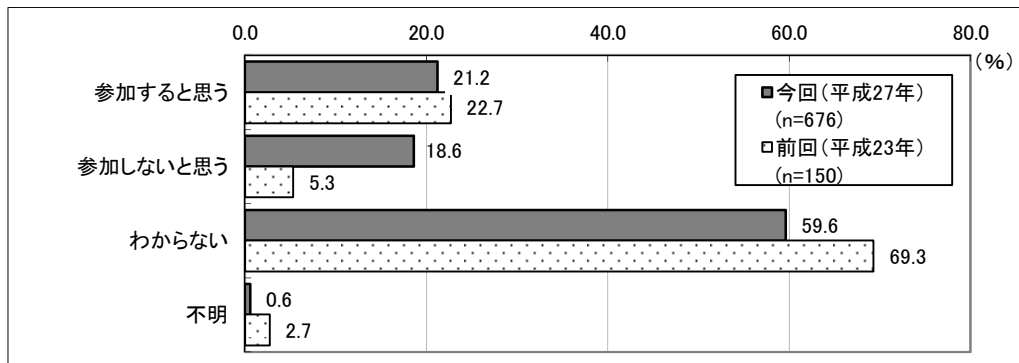
図表－ 94 ボランティア活動に参加してよかったこと、楽しかったことの有無 (ボランティア活動参加経験者)



(3) 中学校卒業後のボランティア活動への参加意向

中学校卒業後のボランティア活動への参加意向については、前回に比べて「参加しないと思う」が約 13 ポイント増加しています。

図表－ 95 中学校卒業後のボランティア活動への参加意向（ボランティア活動参加経験者）

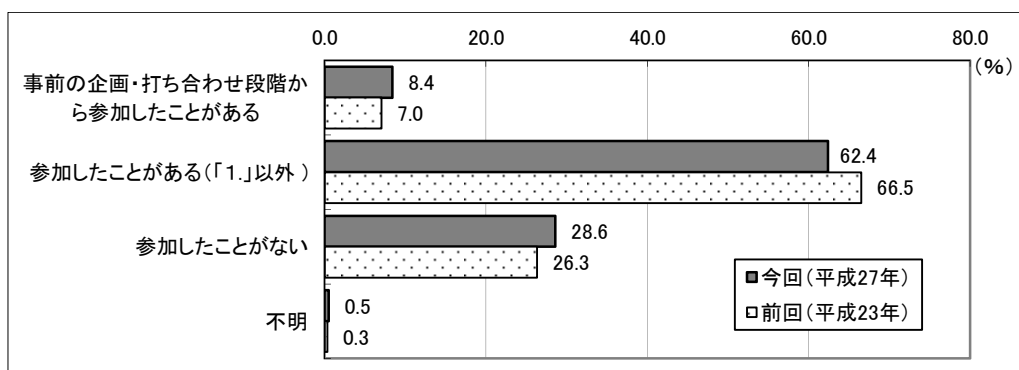


(4) 盆踊りやお祭りなどの地域の行事への参加経験の有無

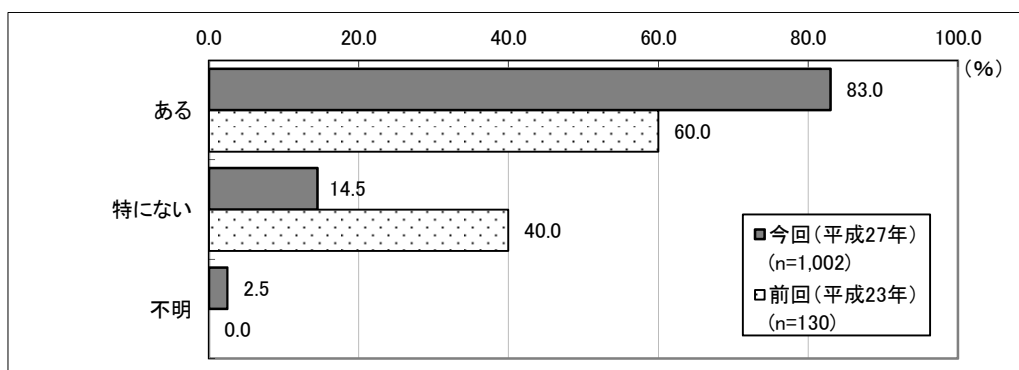
盆踊りやお祭りなどの地域の行事への参加経験の有無については、前回とおおむね同じ傾向にあります。

地域行事に参加してよかったと思ったこと、楽しかったことの有無については、「ある」が前回より約 23 ポイントと、大幅に増加しています。

図表－ 96 盆踊りやお祭りなどの地域の行事に参加経験の有無



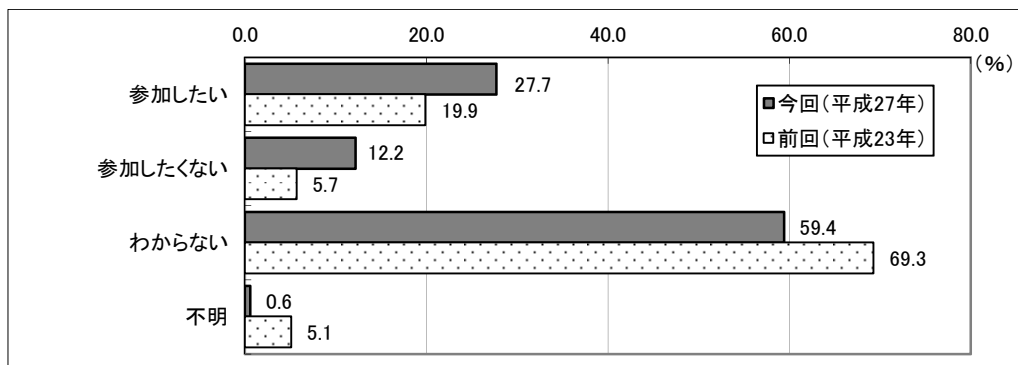
図表－ 97 地域行事に参加してよかったと思ったこと、楽しかったことの有無 (n=1,002)



(5) 今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向

今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向については、前回に比べて「参加したい」が約8ポイントと増加しています。

図表－ 98 今後の福祉体験活動や地域の活動への参加意向

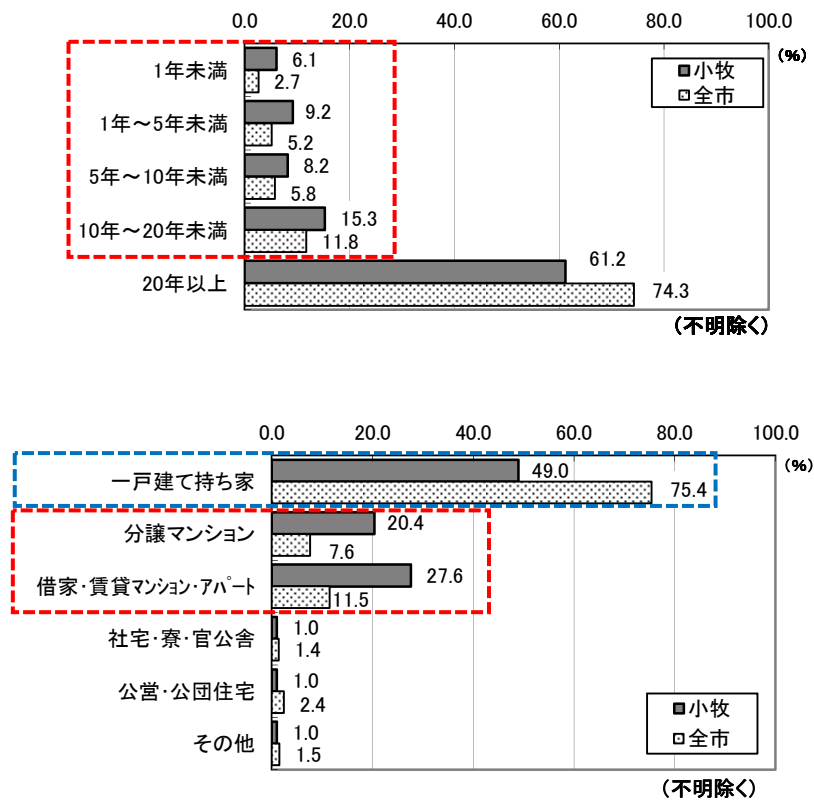


V. 小学校区別まとめ

小牧

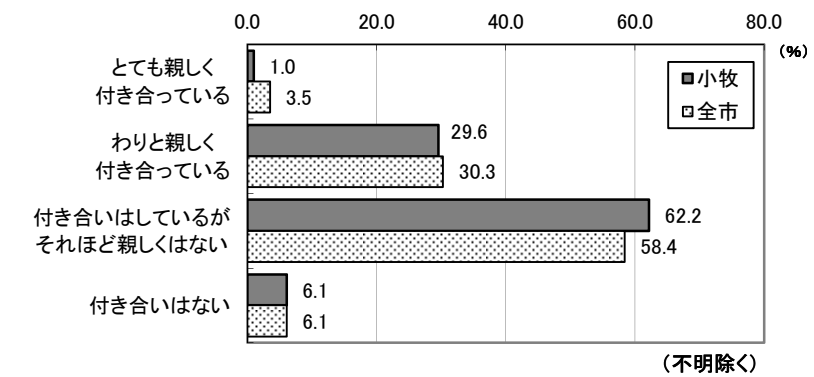
■居住年数・住まいの状況

- ・全市に比べて、比較的居住年数の浅い人の割合が高い
- ・全市に比べて、「分譲マンション」「借家・賃貸マンション・アパート」の割合が高い一方で、「一戸建て持ち家」はかなり低い



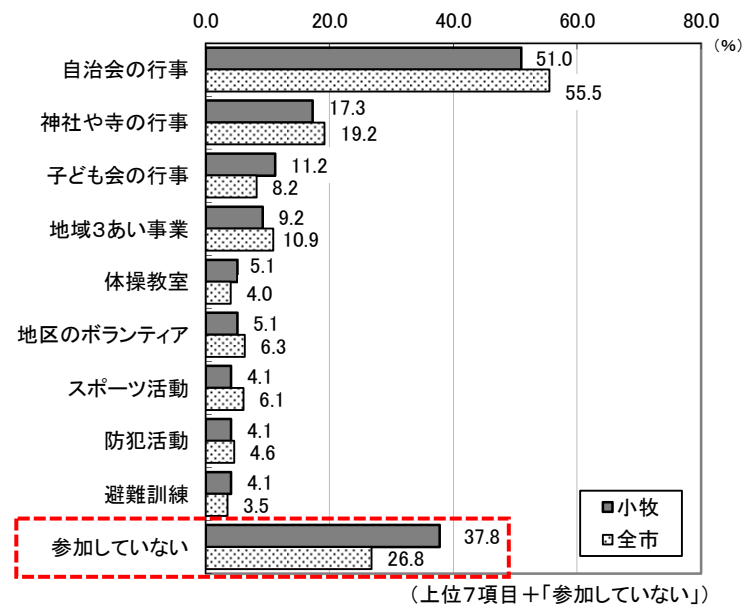
■近所づきあい

- ・近所づきあいの親密度は、全市とほぼ同じ程度



■地域活動や行事への参加

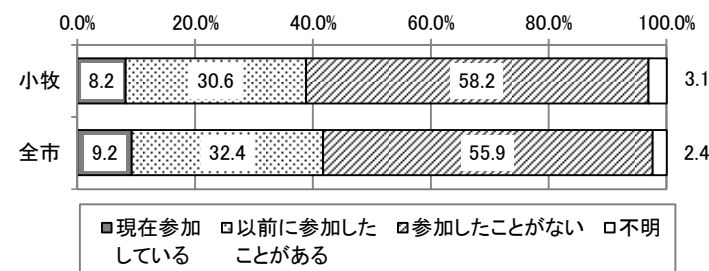
- ・全市に比べて、いずれの地域活動や行事にも参加していない人の割合が高いものの、「子ども会の行事」や「体操教室」への参加率は比較的高い



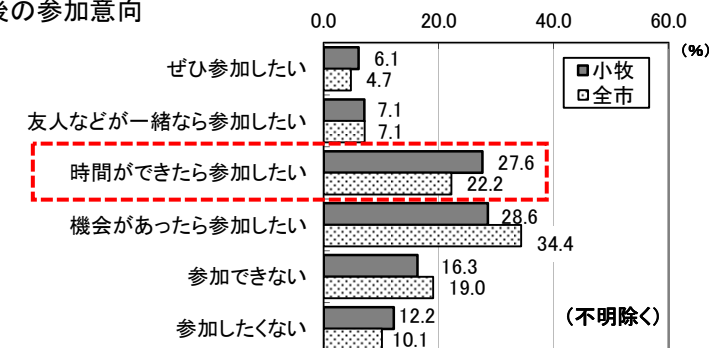
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験は全市とあまり違いがみられない
- ・今後の参加意向については、「時間ができたら参加したい」とする割合が、全市に比べて高い

○現在の参加状況

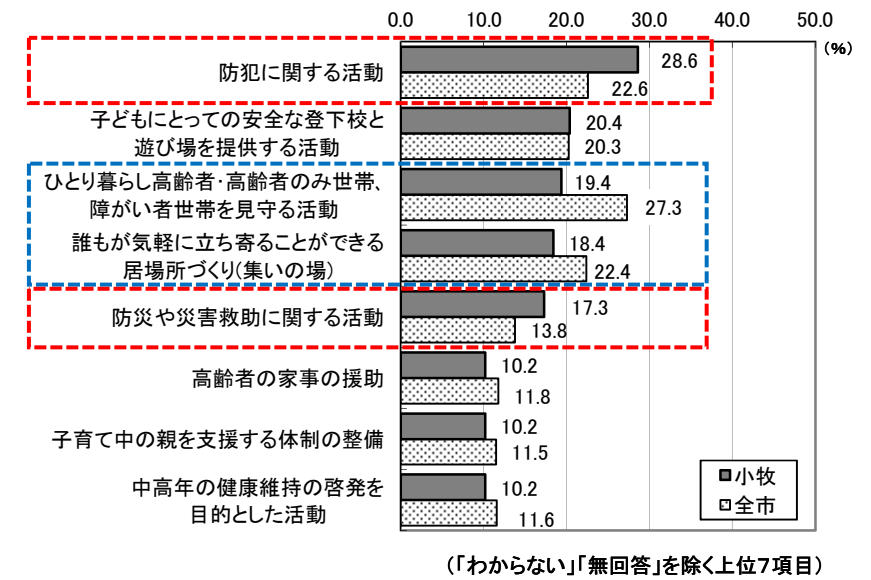


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

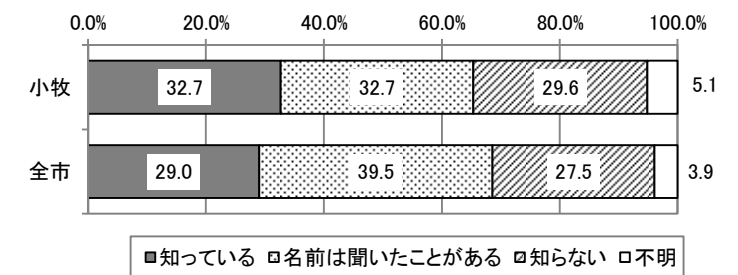
- ・全市に比べて、「防犯に関する活動」や「防災や災害援助に関する活動」をあげる割合が高くなっている
- ・一方、「ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯、障がい者世帯を見守る活動」や「誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり(集いの広場)」は低くなっている



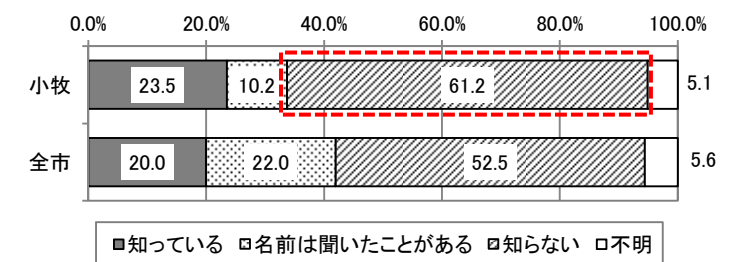
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・全市に比べて、社協の認知度は同程度だが、地域包括の認知度はかなり低い

○社会福祉協議会の認知度



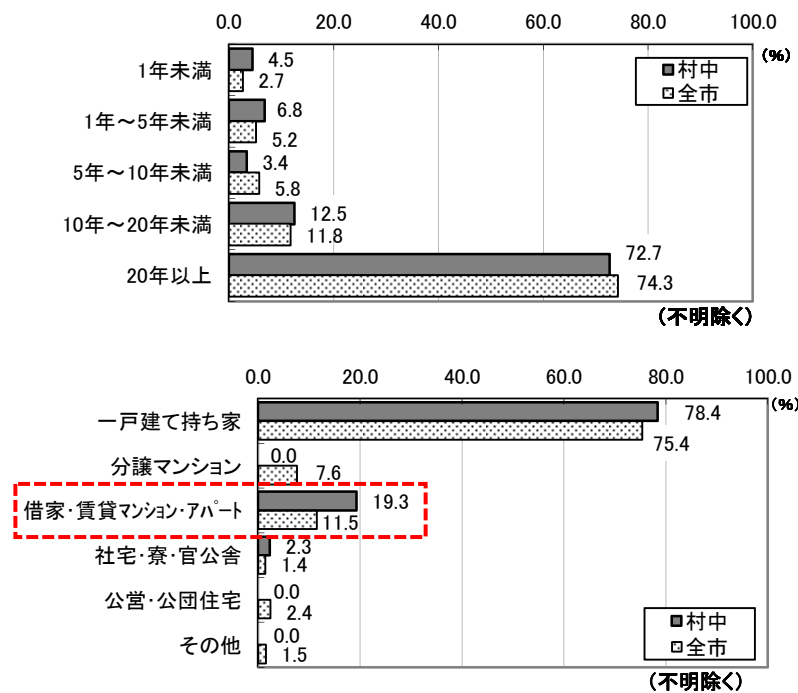
○地域包括の認知度



村中

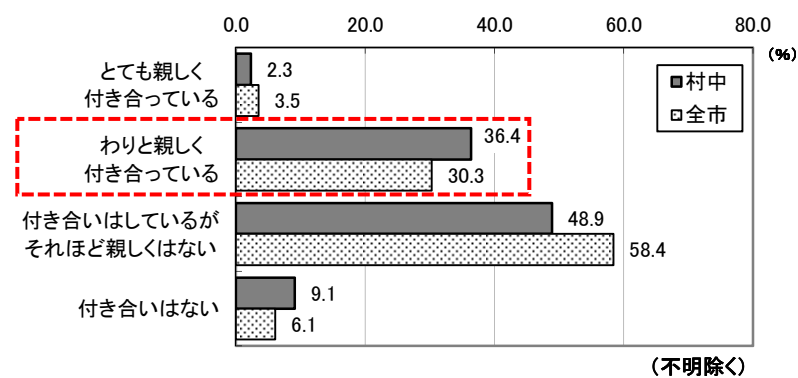
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数は全市とあまり違いはない
- ・全市に比べて、「借家・賃貸マンション・アパート」の割合が高い



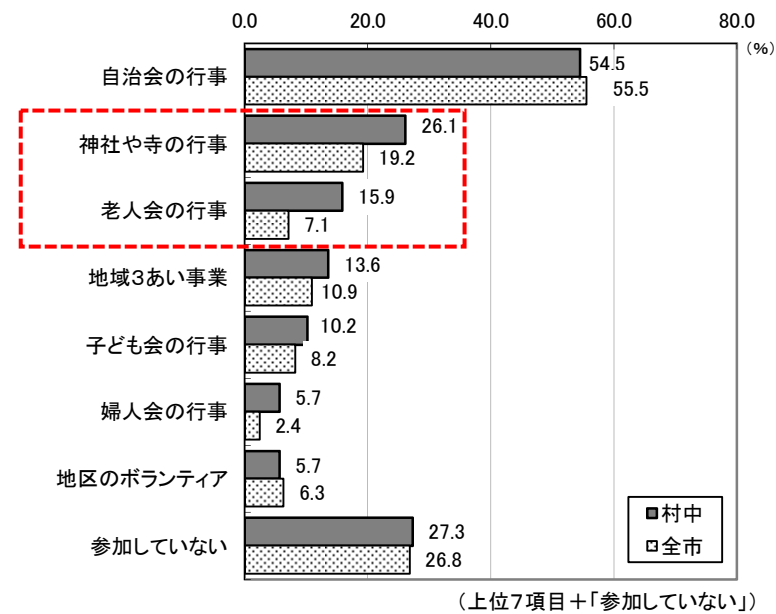
■近所づきあい

- ・「わりと親しく付き合っている」をあげる割合が全市と比べて高くなっている。



■地域活動や行事への参加

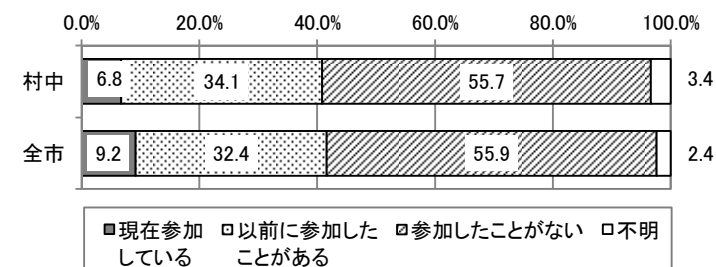
- ・全市に比べて、「神社や寺の行事」「老人会の行事」に参加している人の割合が高くなっている。



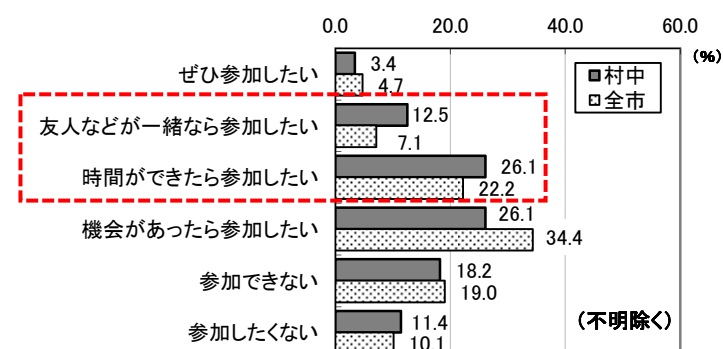
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験は、全市とほぼ同じ状況である。
- ・今後の参加意向については、全市と比べて「友人などが一緒なら参加したい」「時間ができたら参加したい」割合が高くなっている。

○現在の参加状況

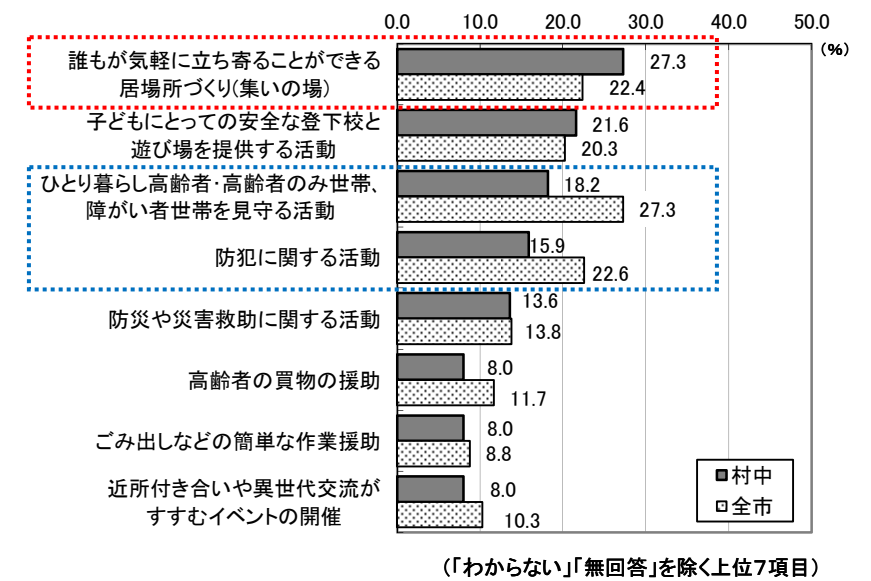


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

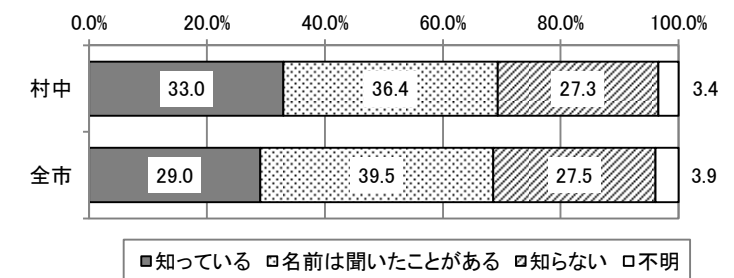
- ・全市に比べて、「誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり（集いの広場）」をあげる割合が高い
- ・一方、「ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯、障がい者世帯を見守る活動」や「防犯に関する活動」は低くなっている



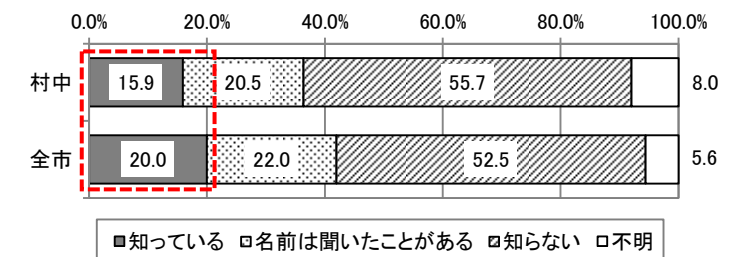
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度はともに全市と同程度だが、地域包括を「知っている」割合は低い。

○社会福祉協議会の認知度



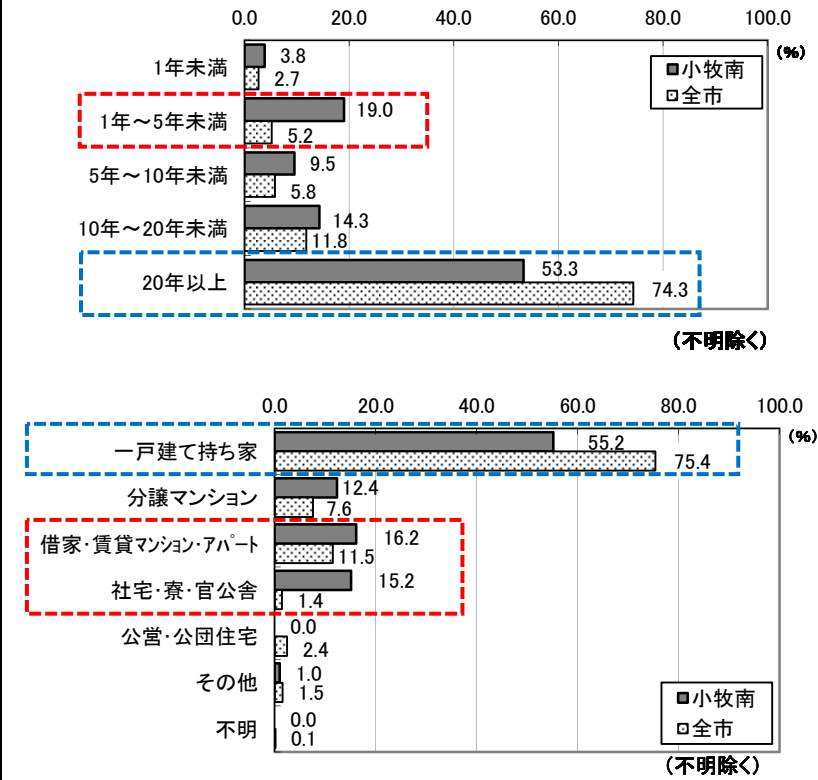
○地域包括の認知度



小牧南

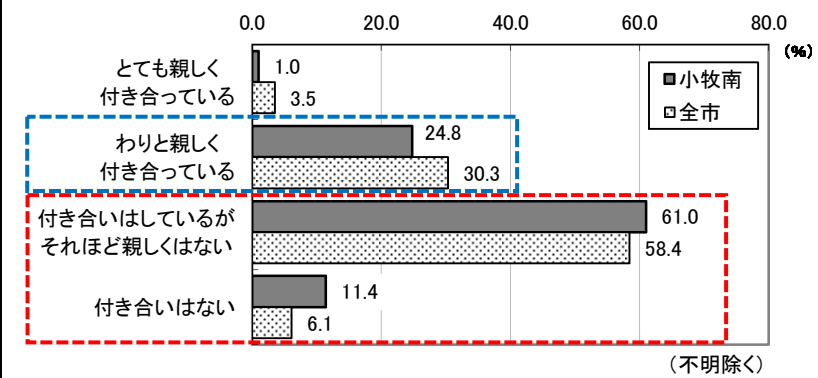
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が「1年～5年未満」と短い人の割合が全市に比べて高い一方で、「20年以上」と長い人の割合がかなり低い。
- ・全市に比べて、「借家・賃貸マンション・アパート」「社宅・寮・官公舎」の割合が高い一方で、「一戸建て持ち家」がかなり低い。



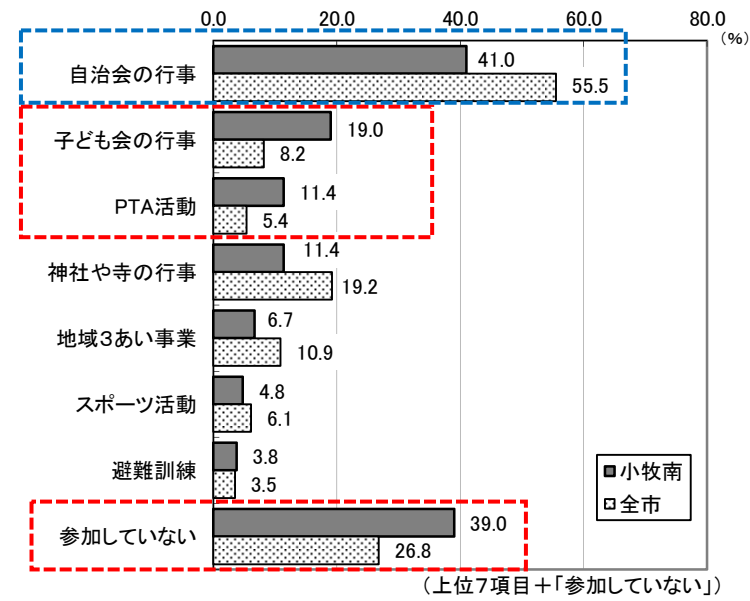
■近所づきあい

- ・親しく付き合っている割合が全市に比べて低く、「付き合いはない」割合が高い。



■地域活動や行事への参加

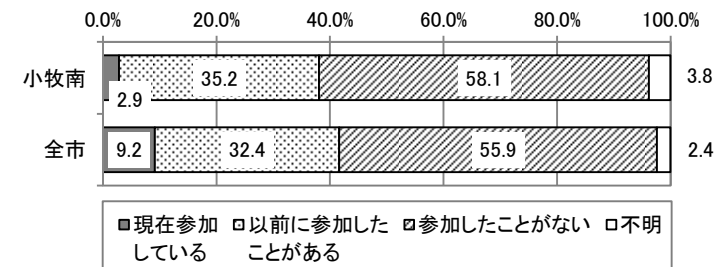
- ・全市に比べていずれの地域活動や行事にも参加していない人の割合が高く、特に「自治会行事」への参加が低い。
- ・一方、「子ども会の行事」「PTA活動」の参加率は全市に比べて高い。



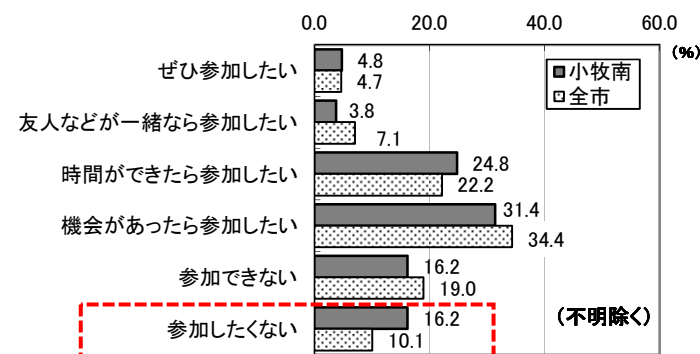
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験は、全市とあまり違いはない
- ・今後の参加意向は、「参加したくない」割合が全市に比べて高い。

○現在の参加状況

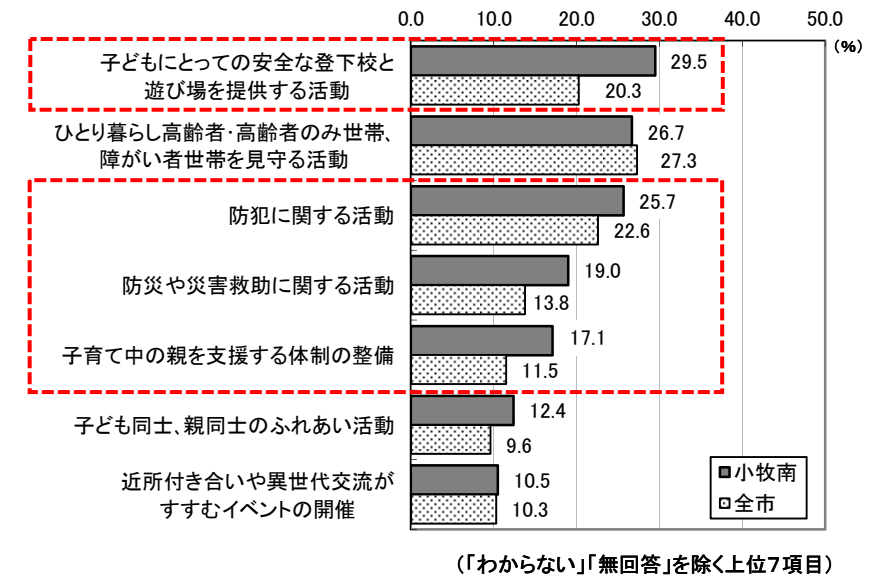


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

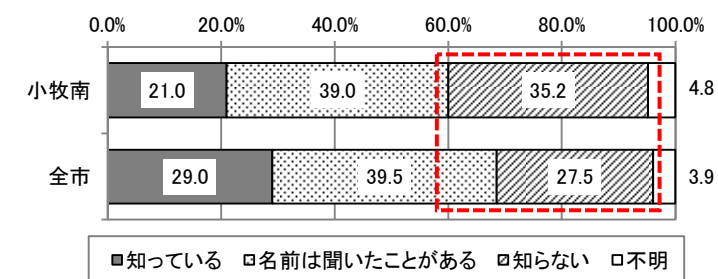
- ・全市に比べて、「子どもにとっての安全な登下校と遊び場を提供する活動」「子育て中の親を支援する体制の整備」など子どもに関する活動をあげる割合が高くなっている。
- ・また「防犯に関する活動」や「防災や災害救助に関する活動」も高い。



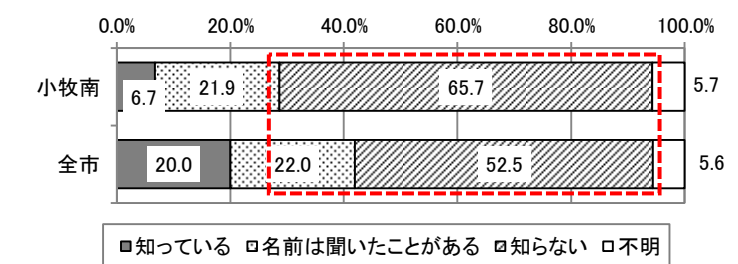
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協、地域包括ともに全市に比べて、認知度が低い。特に地域包括の認知度が低くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



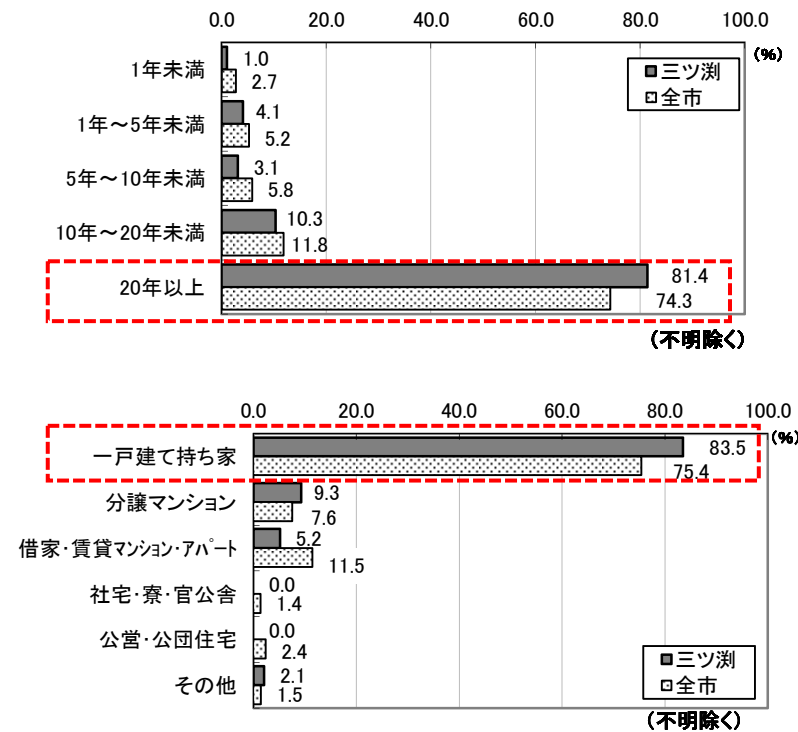
○地域包括の認知度



三ツ渚

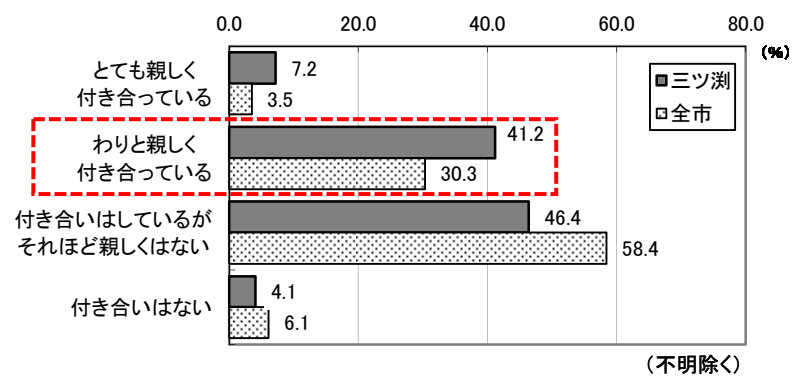
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が「20年以上」と長い人の割合が全市と比べて高くなっている。
- ・「一戸建て持ち家」の割合も高い。



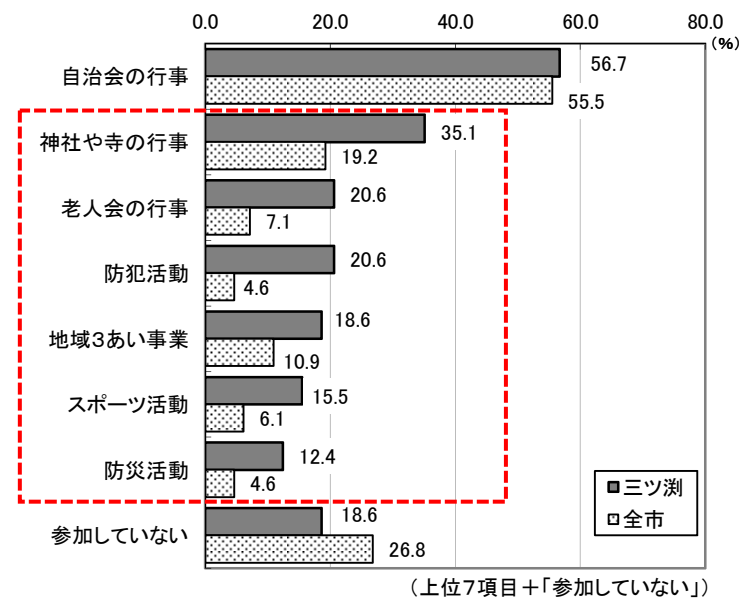
■近所づきあい

- ・比較的親しく付き合っている割合が、全市と比べてかなり高くなっている。



■地域活動や行事への参加

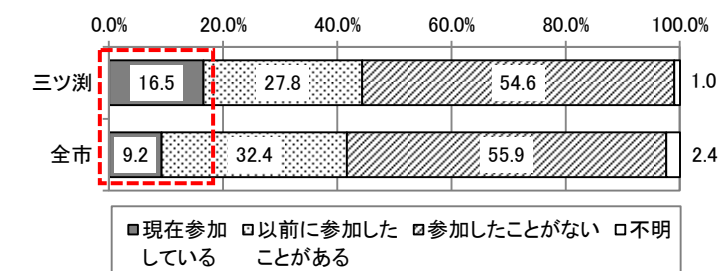
- ・全市に比べて、なんらかの地域活動や行事に参加している人の割合が高い。
- ・「自治会の行事」への参加率は全市と同じ程度だが、その他上位項目のいずれにおいても全市より参加率がかなり高くなっている。



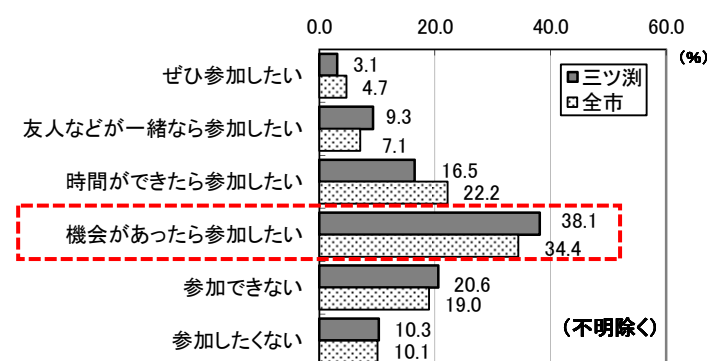
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動を「現在参加している」割合が、全市に比べて高くなっている。
- ・今後の参加意向については、「機会があったら参加したい」とする割合が、全市に比べてやや高い。

○現在の参加状況

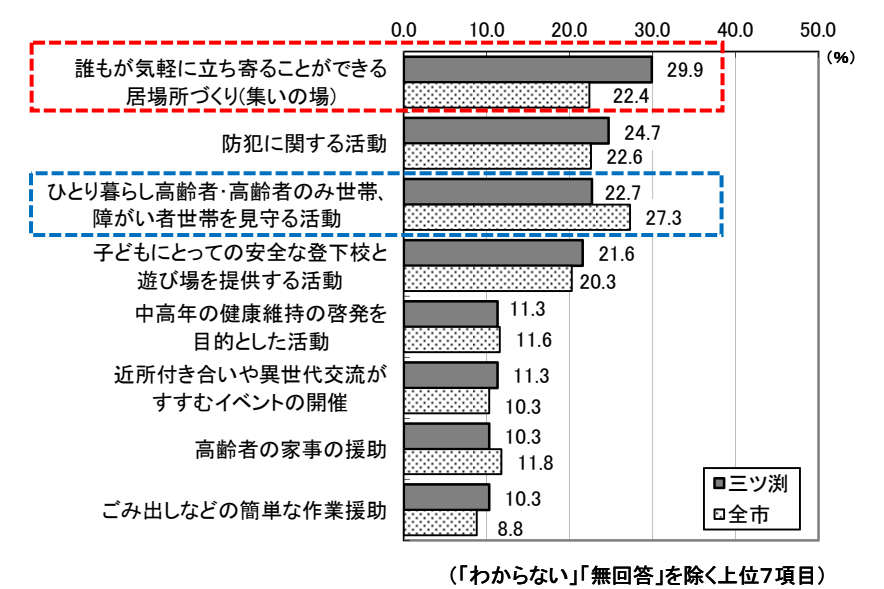


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

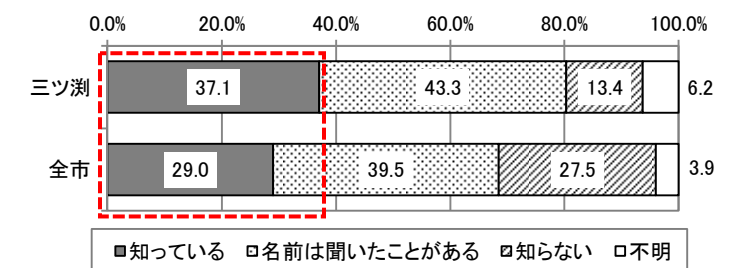
- ・全市に比べて、「誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり（集いの広場）」をあげる割合が高くなっている。
- ・一方、「ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯、障がい者世帯を見守る活動」は、全市に比べてやや低い。



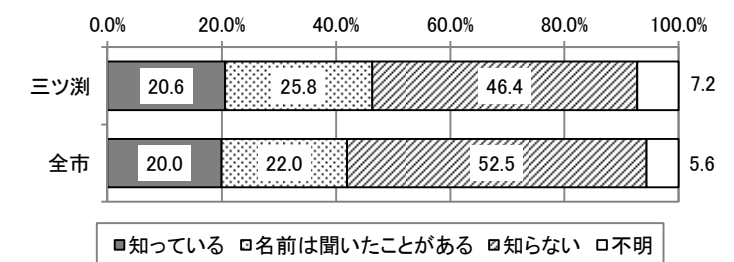
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は全市と比べてかなり高い。
- ・一方、地域包括の認知度は全市と同割合となっている。

○社会福祉協議会の認知度



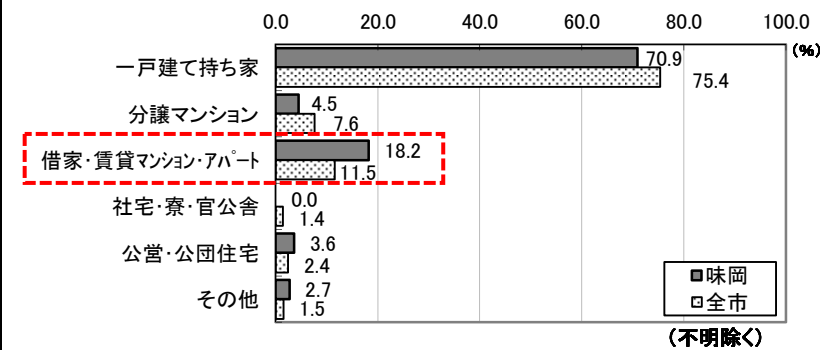
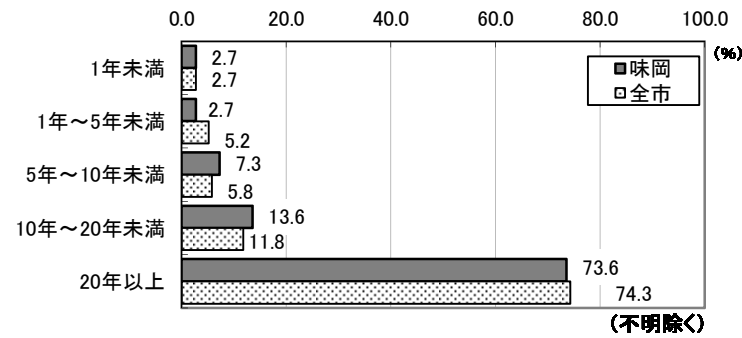
○地域包括の認知度



味岡

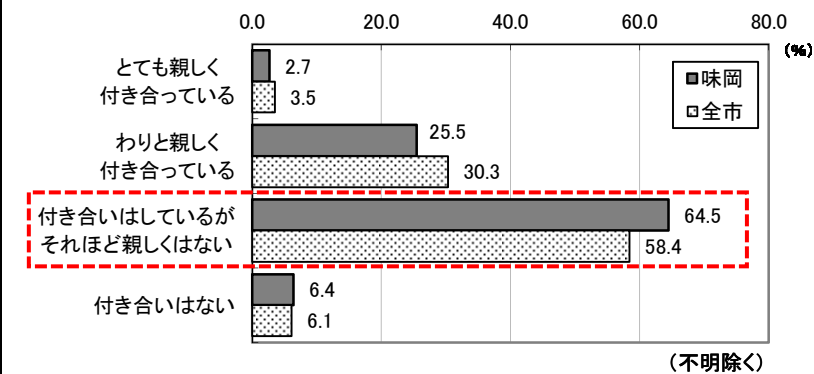
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数は全市とあまり違いはない
- ・全市に比べて、「借家・賃貸マンション・アパート」の割合が高い



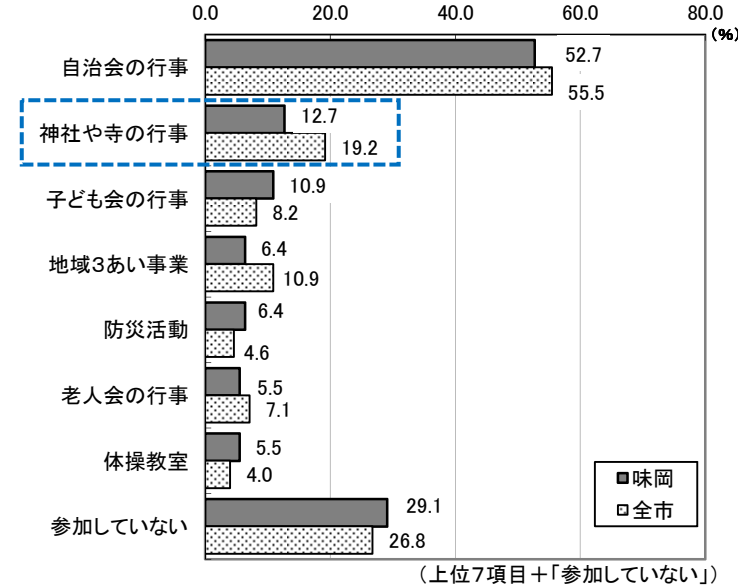
■近所づきあい

- ・「付き合いはしているがそれほど親しくない」をあげる割合が全市に比べて高い。



■地域活動や行事への参加

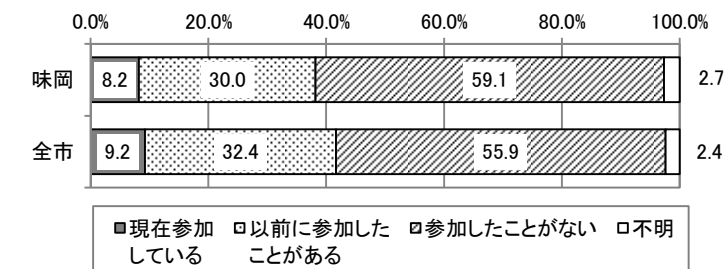
- ・「神社や寺の行事」への参加率は全市に比べてやや低くなっているものの、その他は全市とあまり違いはない。



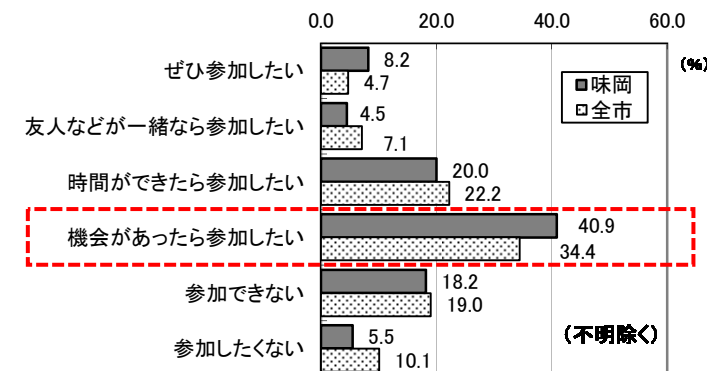
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験は全市とあまり違いはない
- ・今後の参加意向は「機会があったら参加したい」とする割合が高くなっている

○現在の参加状況

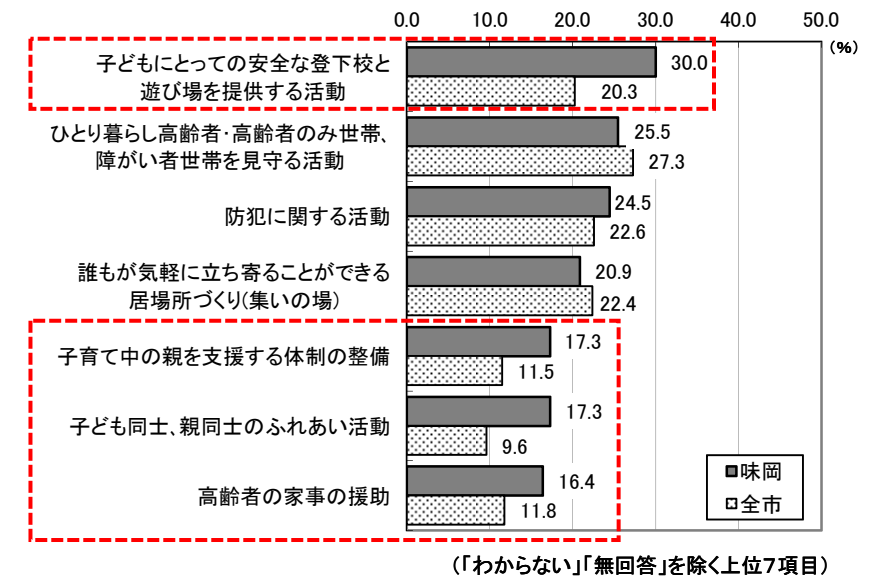


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

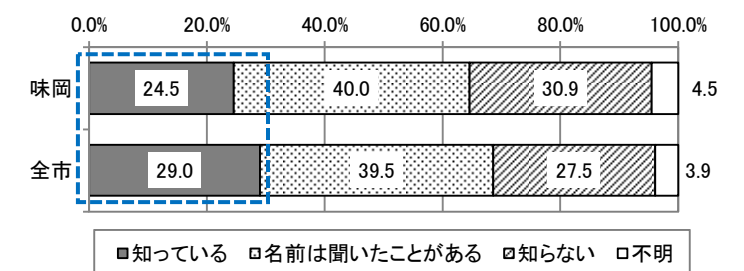
- ・全市に比べて、「子どもにとっての安全な登下校と遊び場を提供する活動」「子育て中の親を支援する体制の整備」「子ども同士、親同士のふれあい活動」など子どもに関する活動をあげる割合がかなり高くなっている。
- ・また、「高齢者の家事の援助」の割合も全市に比べて高い。



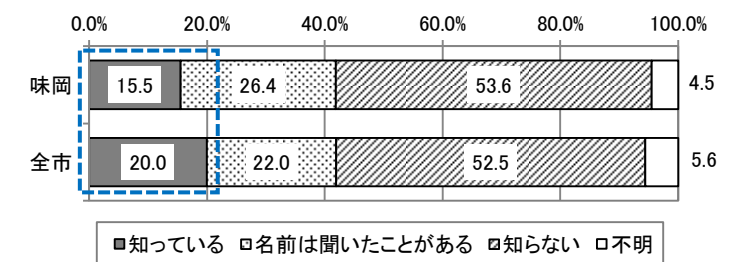
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協、地域包括ともに認知度は全市と比べてあまり違わないが、どちらも「知っている」と明確に認知する人の割合は全市と比べてやや低くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



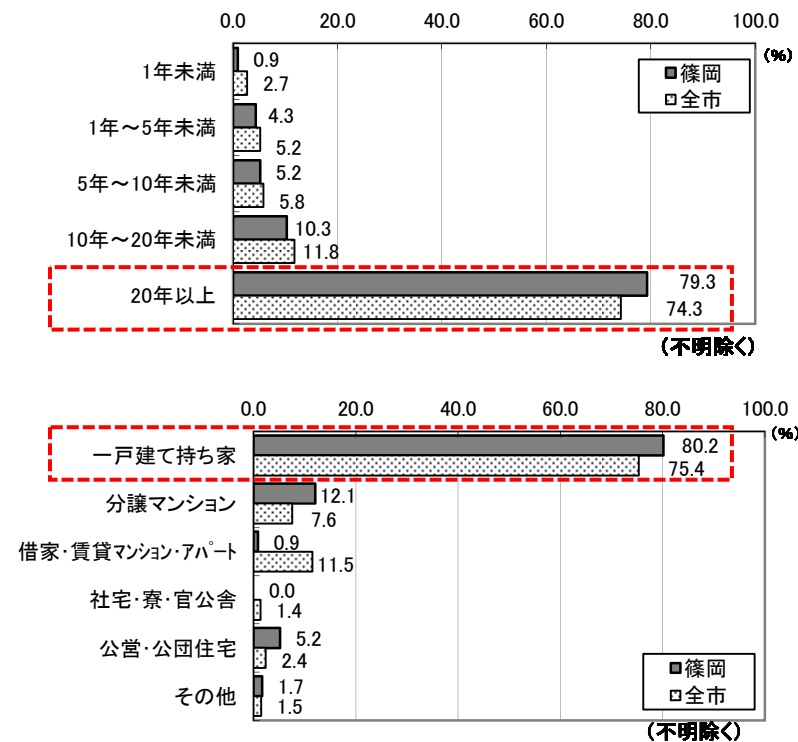
○地域包括の認知度



篠岡

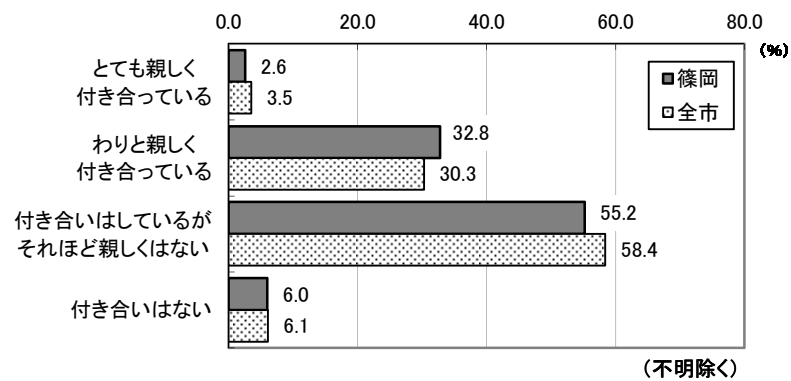
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が20年以上と長い人の割合が全市に比べて、やや高い。
- ・全市に比べて「一戸建て持ち家」の割合がやや高い。



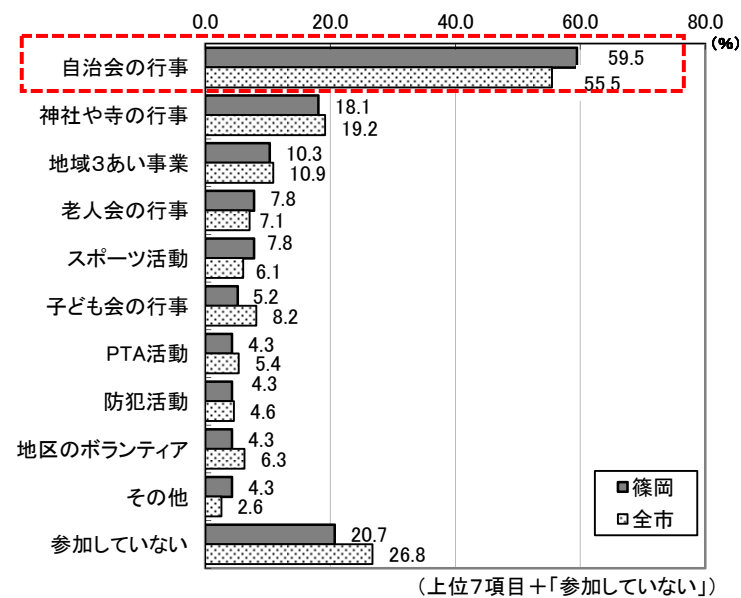
■近所づきあい

- ・近所づきあいの程度は、全市とほぼ同様



■地域活動や行事への参加

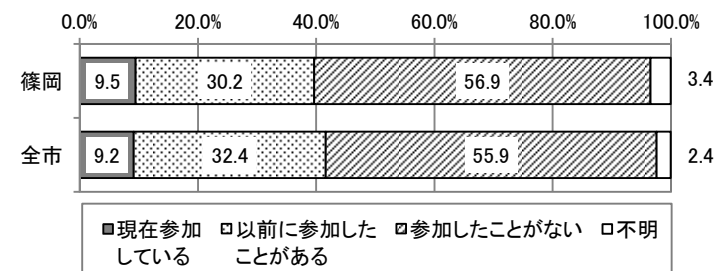
- ・何らかの地域活動や行事に参加している人の割合が高く、特に「自治会の行事」への参加率が全市に比べてやや高い。



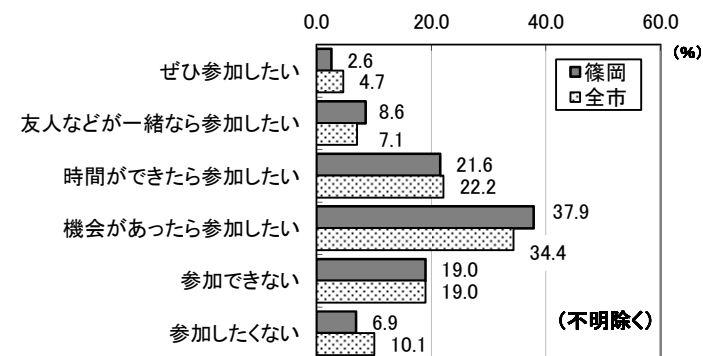
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動の現在の参加状況、今後の参加意向ともに、全市とほぼ同様。

○現在の参加状況

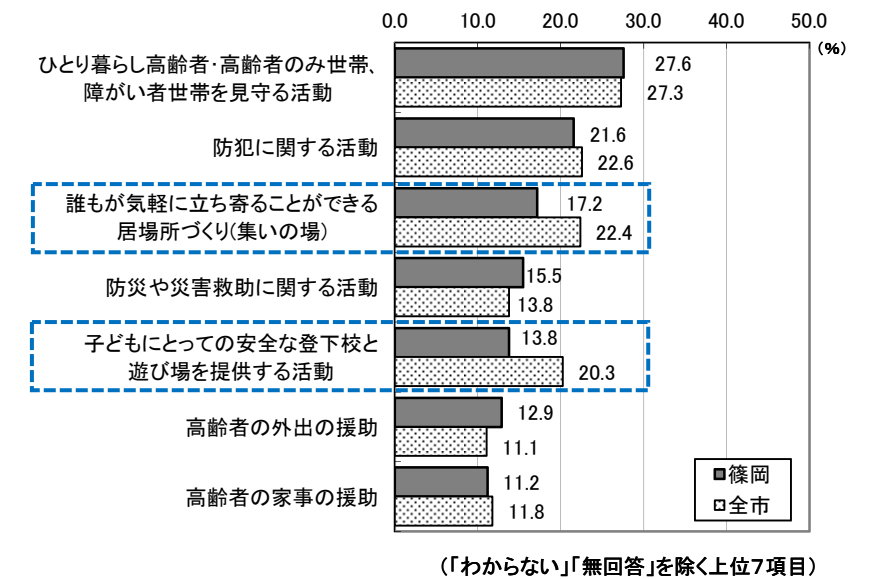


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

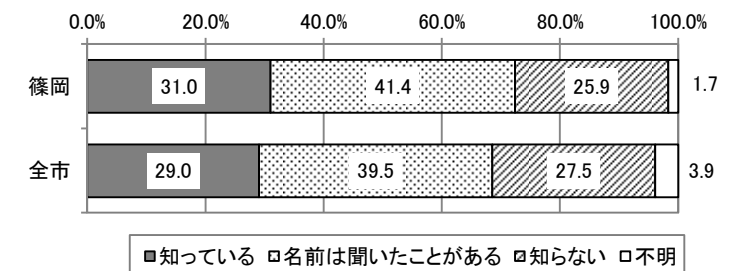
- ・上位にあげられた項目のうち「誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり(集いの広場)」と「子どもにとっての安全な登下校と遊び場を提供する活動」は全市にくらべて低い、それ以外の項目は全市とほぼ同様。



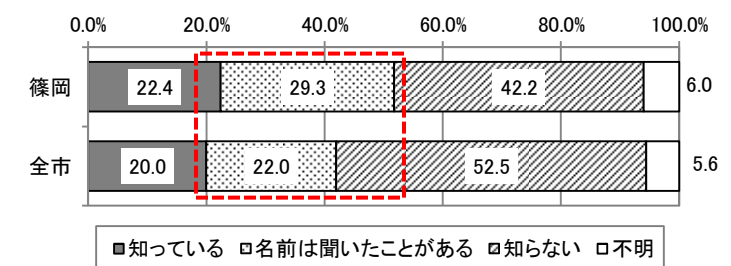
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は、全市とほぼ同様。
- ・地域包括の認知度は全市に比べて高くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



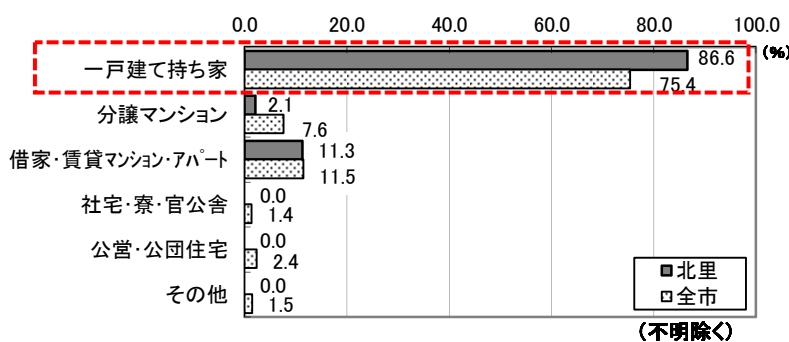
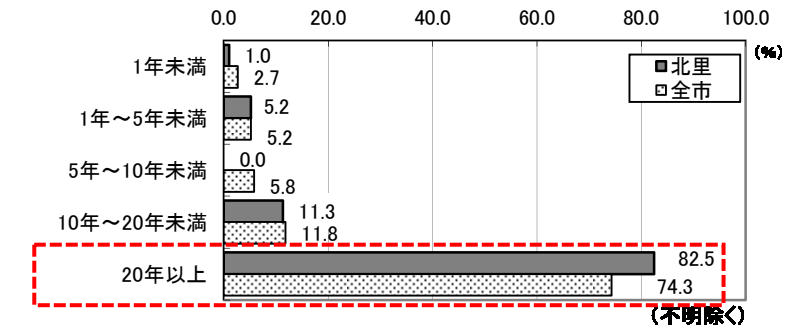
○地域包括の認知度



北里

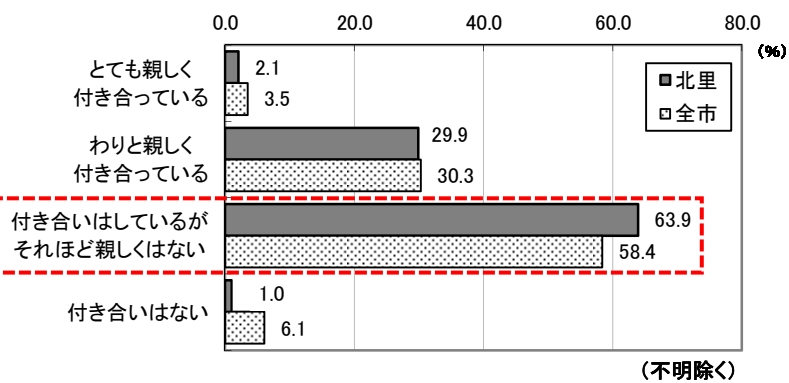
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が20年以上と長い人の割合が全市に比べて高い。
- ・全市に比べて、「一戸建て持ち家」の割合がかなり高い。



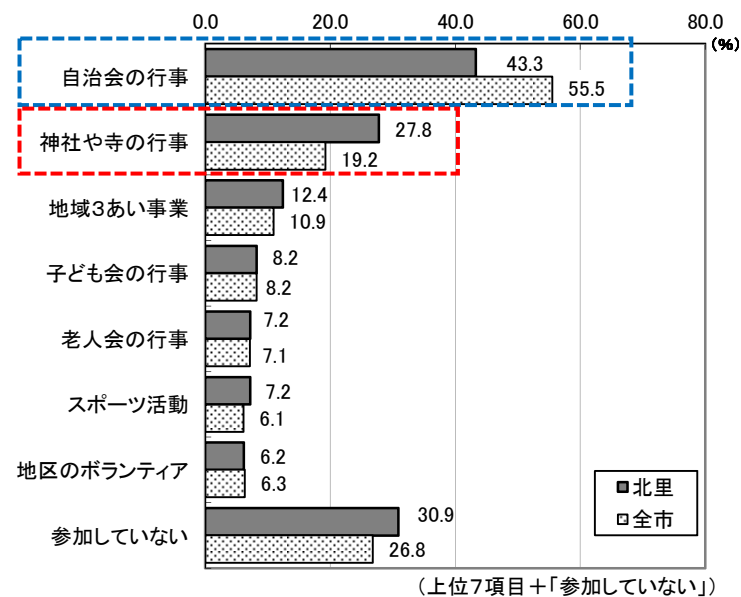
■近所づきあい

- ・比較的親しく付き合っている割合が全市に比べて低い



■地域活動や行事への参加

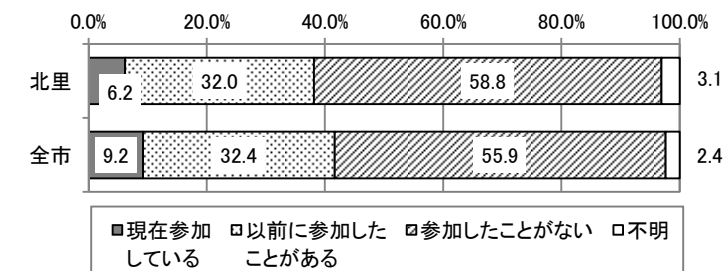
- ・参加していない人の割合が、全市に比べてやや高い。
- ・「自治会の行事」への参加率が全市に比べて低い一方、「神社や寺の行事」への参加率は全市より高い。



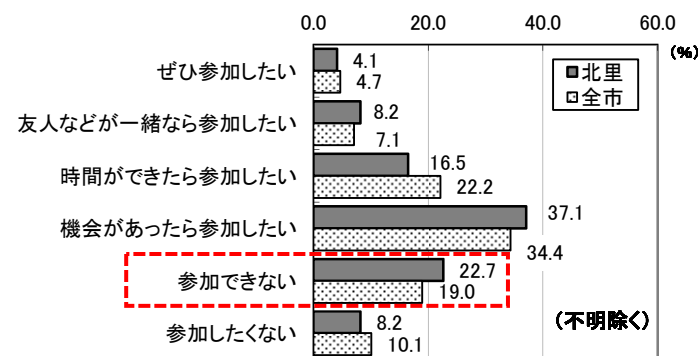
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加状況は、全市とほぼ同様。
- ・今後の参加意向については、参加できないとする割合が、全市に比べてやや高い。

○現在の参加状況

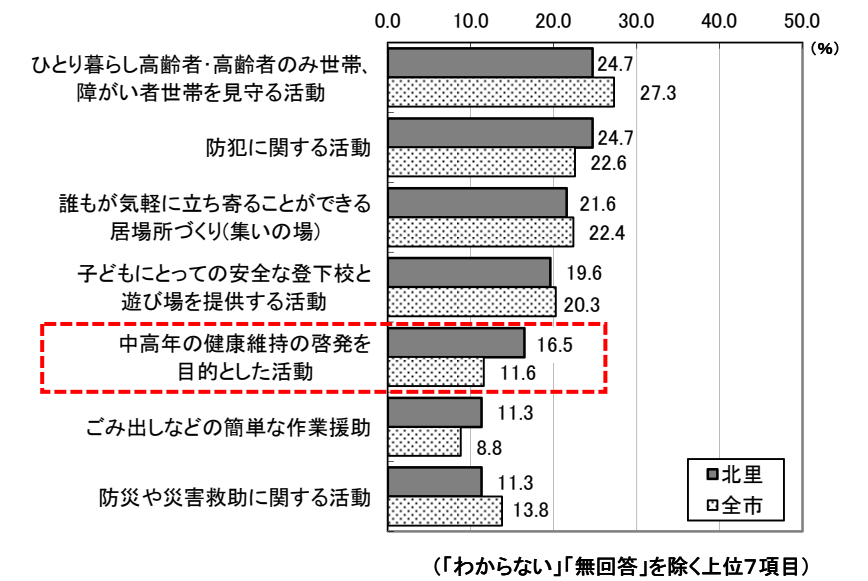


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

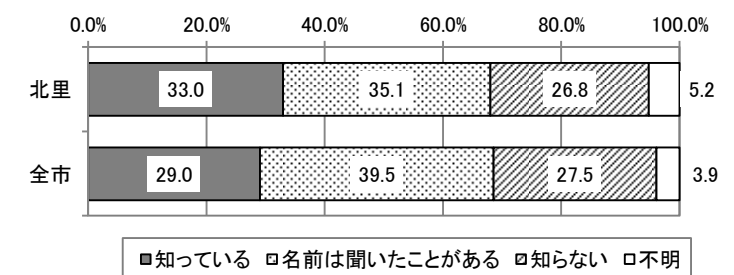
- ・「中高年の健康維持の啓発を目的とした活動」をあげる割合が全市よりやや高くなっている。



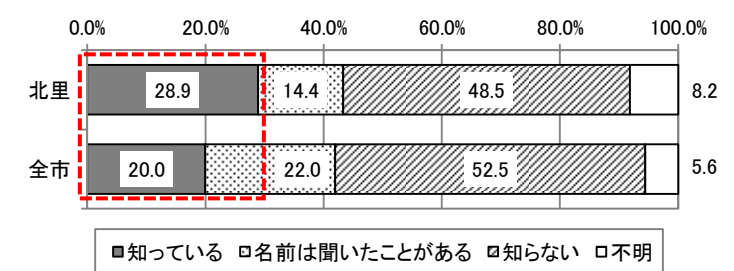
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は、全市とほぼ同様。
- ・地域包括の認知度は全市に比べて高くなっている。

○社会福祉協議会の認知度

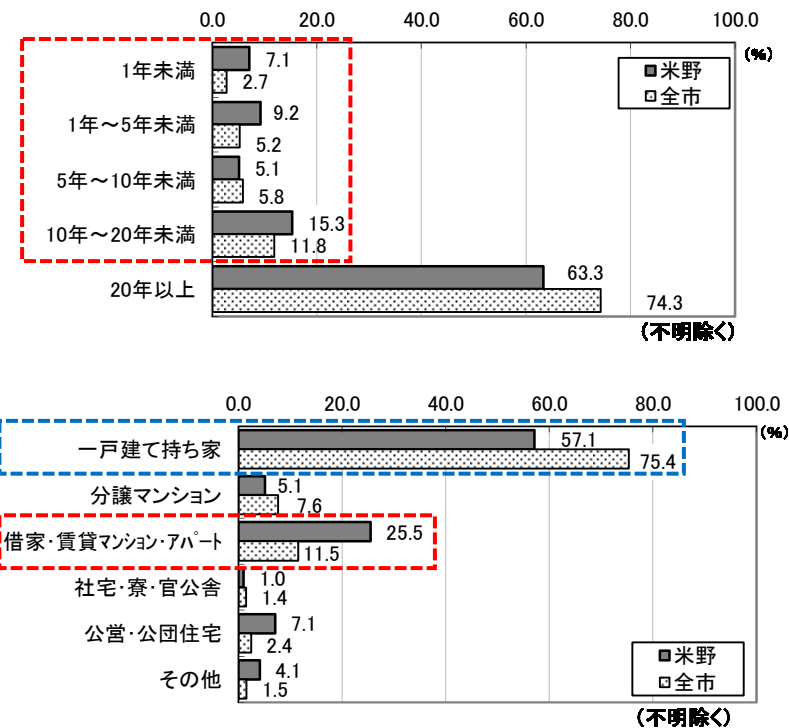


○地域包括の認知度



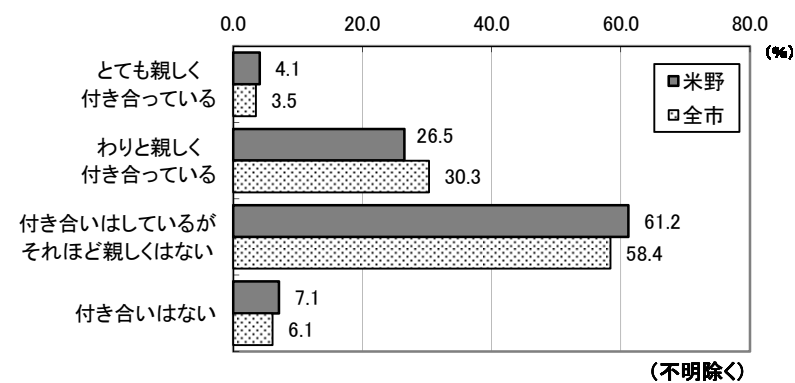
■居住年数・住まいの状況

- ・全市に比べて、比較的居住年数の浅い人の割合が高い。
- ・全市に比べて、「借家・賃貸マンション・アパート」の割合が高い一方で、「一戸建て持ち家」の割合は低い。



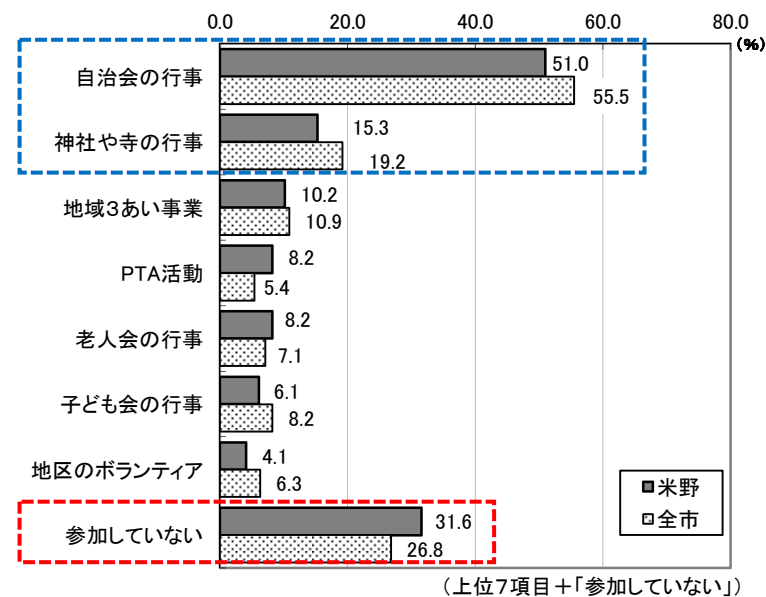
■近所づきあい

- ・近所づきあいの程度は、全市とほぼ同様。



■地域活動や行事への参加

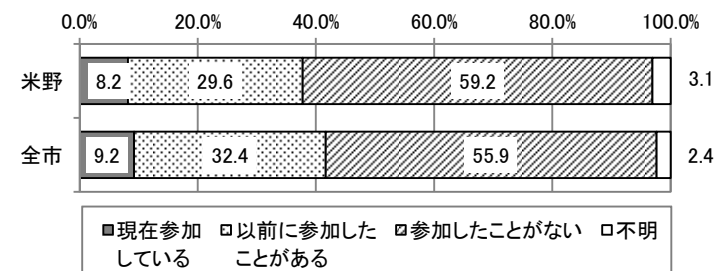
- ・参加していない人の割合が、全市に比べて高くなっている。
- ・上位にあげられた「自治会の行事」や「神社や寺の行事」ともに、参加率は全市より低い。



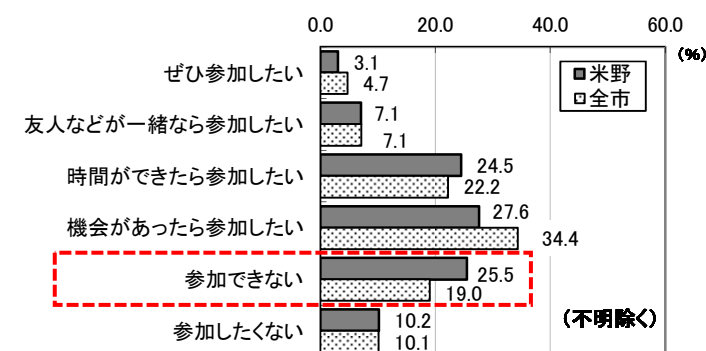
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動の参加状況は全市とあまり違いはない。
- ・今後の参加意向については、参加できないとする割合が、全市に比べて高い。

○現在の参加状況

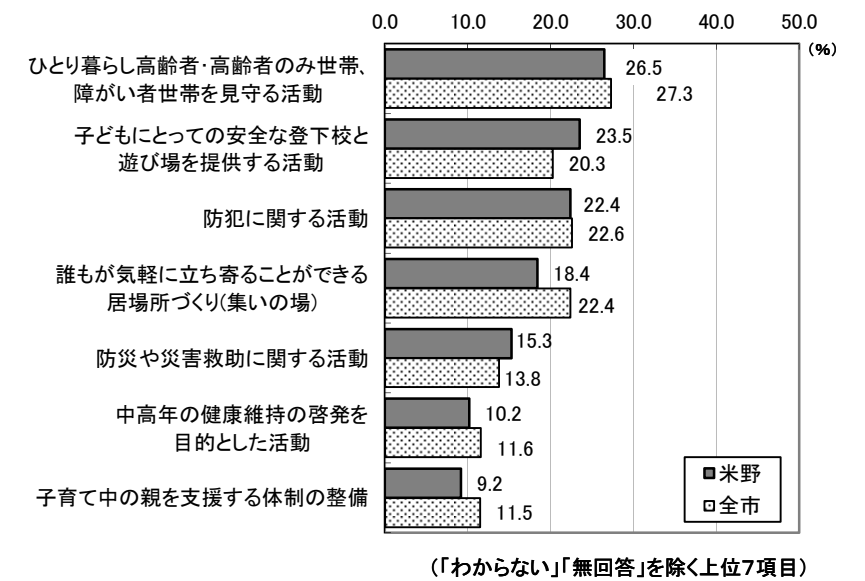


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

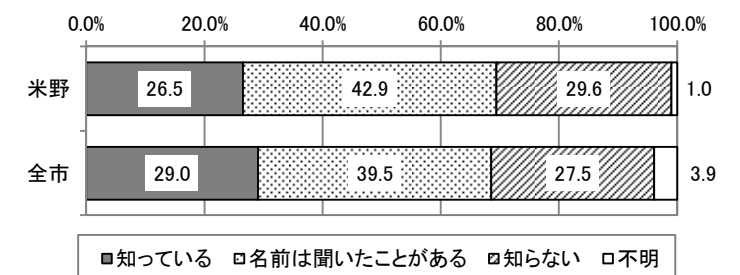
- ・あげられた上位項目の割合は、全市とほぼ同程度となっている。



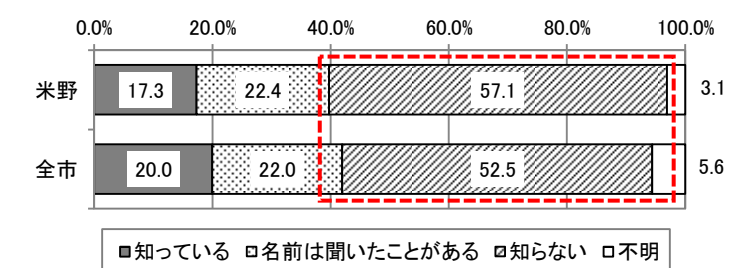
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は、全市とほぼ同様。
- ・地域包括の認知度は全市に比べてやや高くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



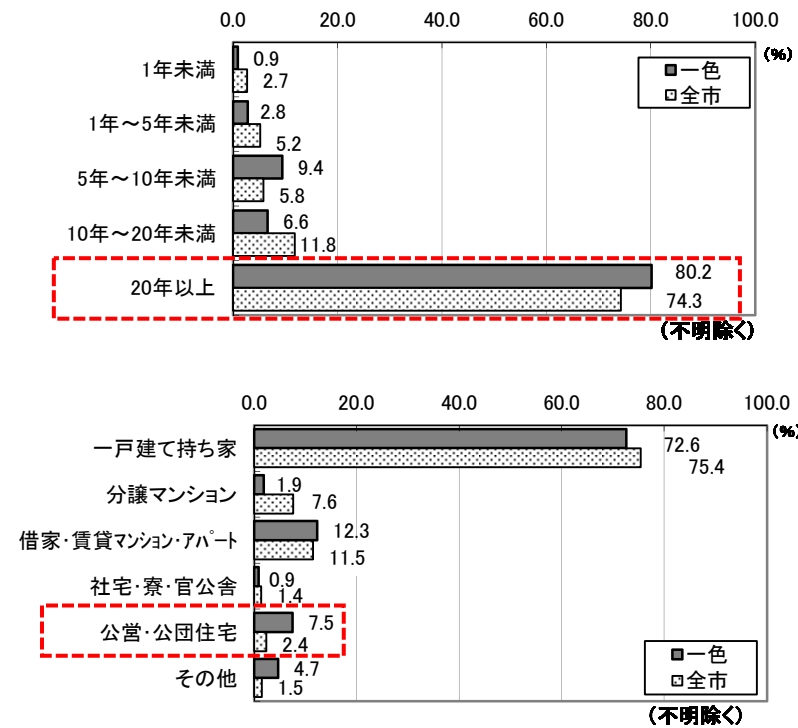
○地域包括の認知度



一色

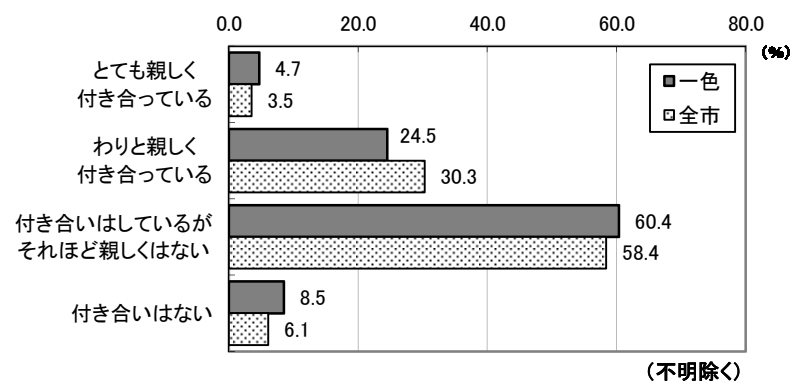
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が20年以上と長い人の割合が全市に比べてやや高い。
- ・全市に比べて、「分譲マンション」の割合が低く、「公営・公団住宅」の割合がやや高い。



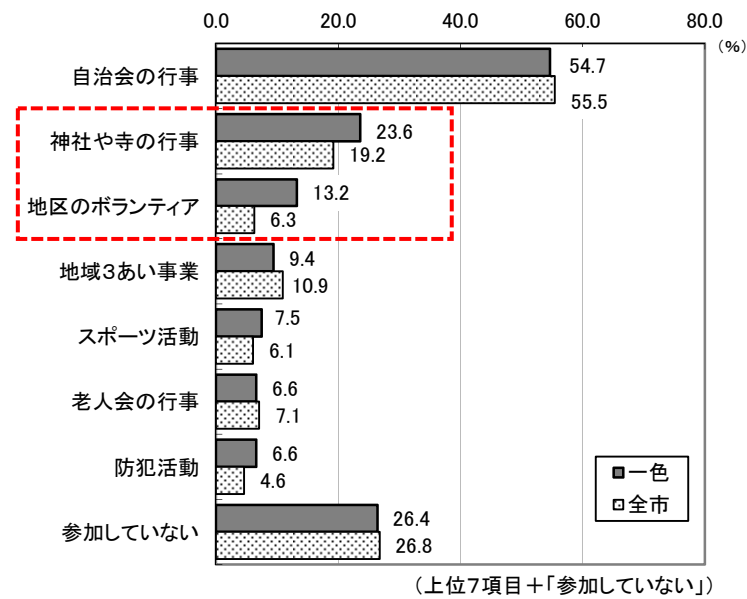
■近所づきあい

- ・近所づきあいの程度は、全市とほぼ同様。



■地域活動や行事への参加

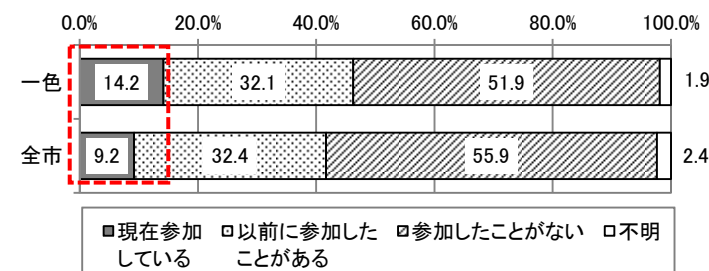
- ・「神社や寺の行事」と「地区のボランティア」への参加率が全市より高い。



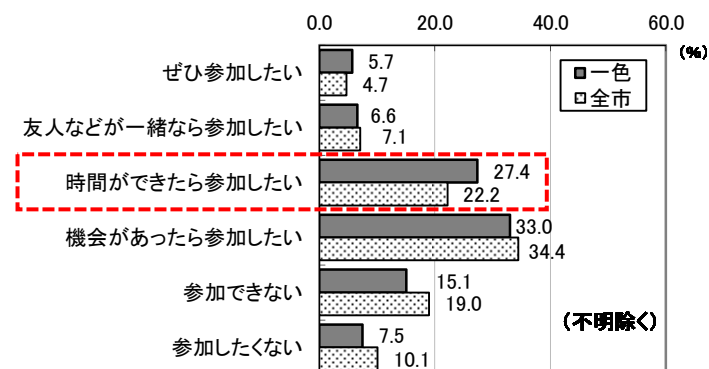
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動に「現在参加している」割合が、全市に比べて高い。
- ・今後の参加意向については、「時間ができたら参加したい」とする割合が、全市に比べてやや高い。

○現在の参加状況

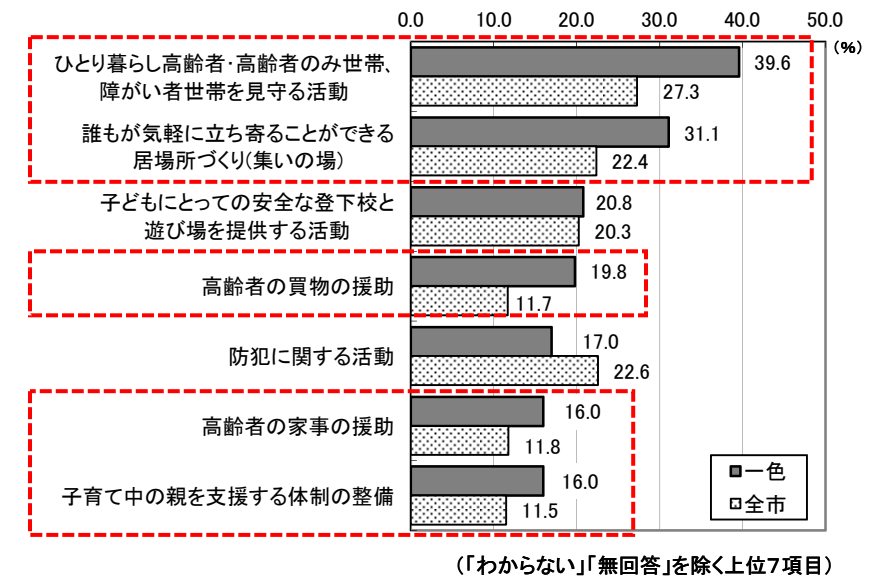


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

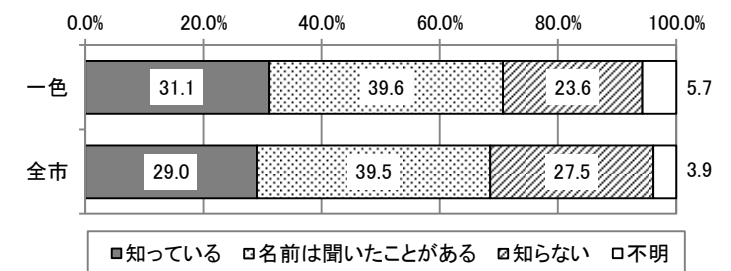
- ・「ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯、障がい者世帯を見守る活動」「高齢者の買物の援助」「高齢者の家事の援助」など高齢者に関する項目の割合が、全市より高くなっている。
- ・また、「誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり（集いの場）」や「子育て中の親を支援する体制の整備」の割合も全市に比べて高い。



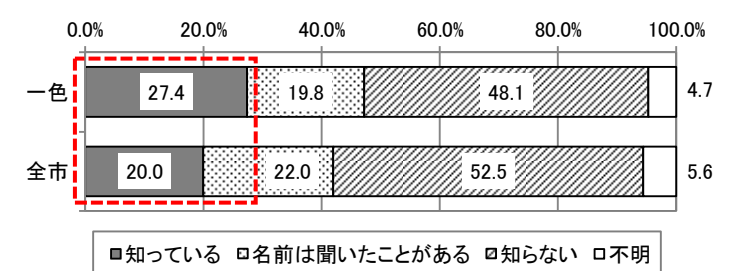
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は、全市とほぼ同程度
- ・地域包括の認知度は全市に比べて高くなっている

○社会福祉協議会の認知度



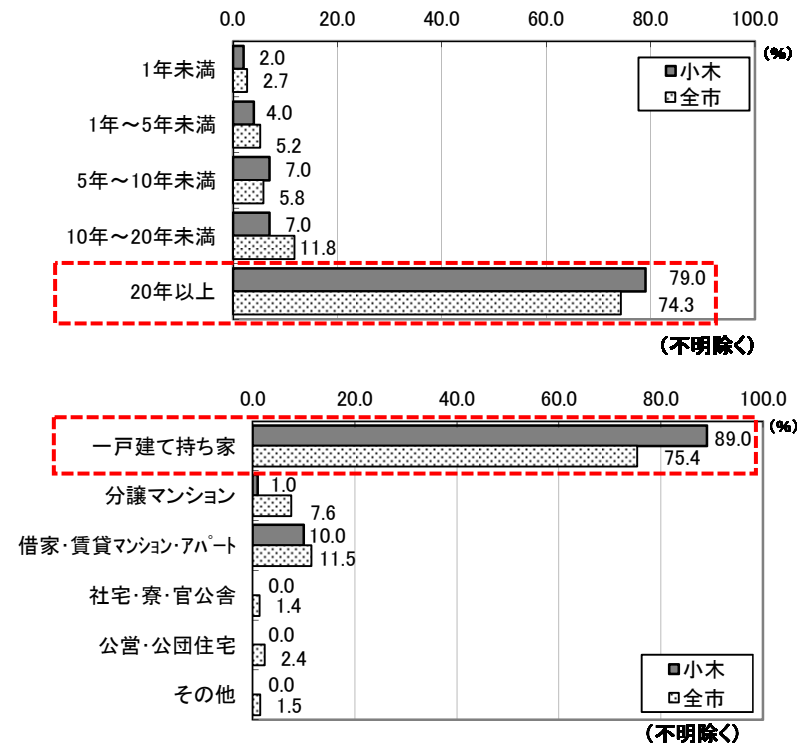
○地域包括の認知度



小木

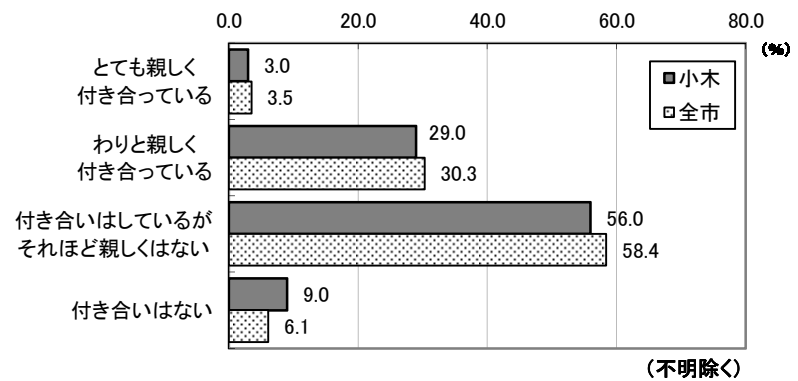
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が20年以上と長い人の割合が全市に比べてやや高い。
- ・全市に比べて、「一戸建て持ち家」の割合がかなり高い。



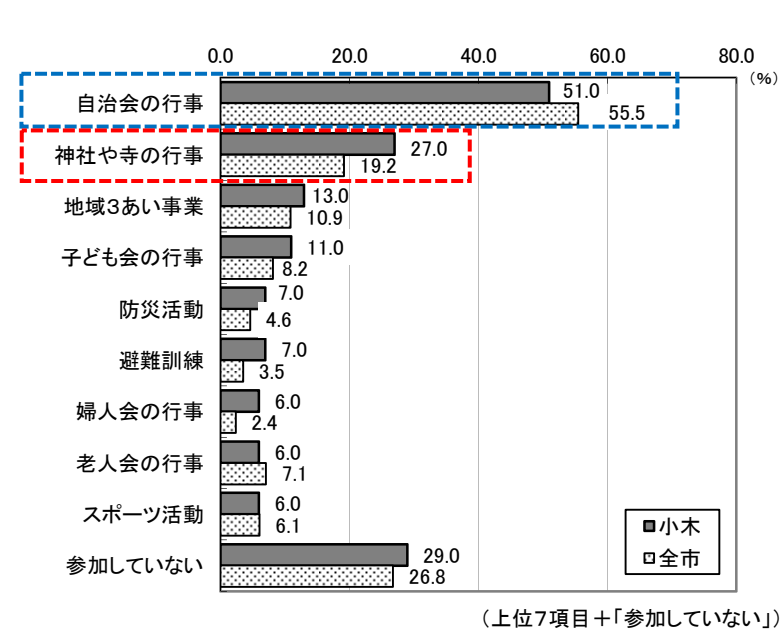
■近所づきあい

- ・近所づきあいの程度は、全市とほぼ同様



■地域活動や行事への参加

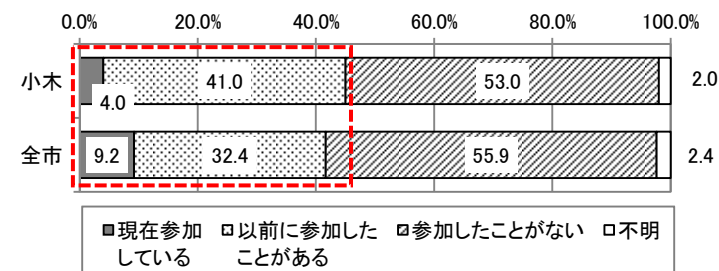
- ・「自治会の行事」への参加率が全市に比べてやや低い一方、「神社や寺の行事」への参加率は全市より高い。



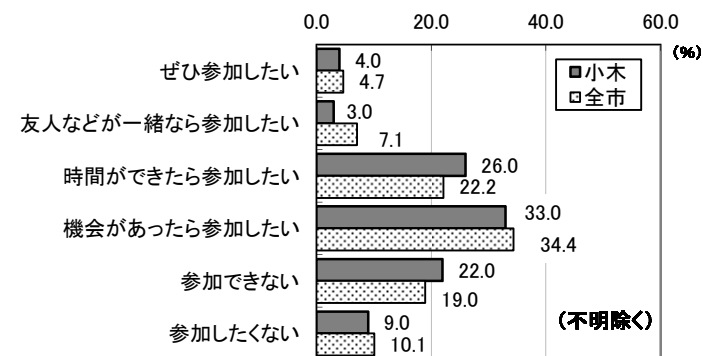
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動に以前に参加したことがある割合が、全市に比べて高い。
- ・今後の参加意向については、全市とあまり違いはない。

○現在の参加状況

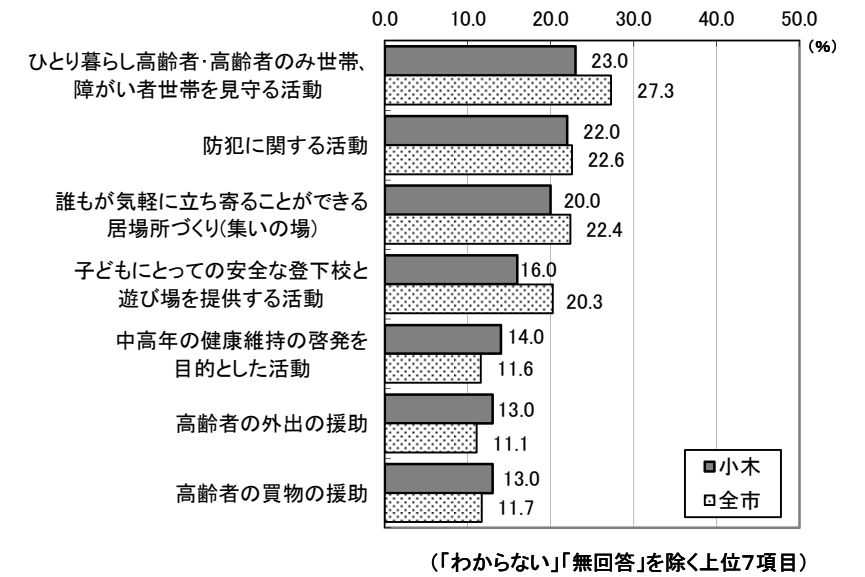


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

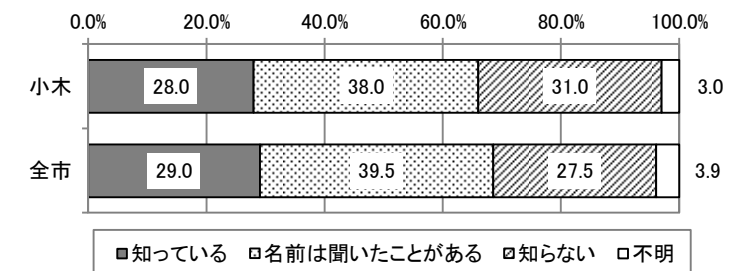
- ・あげられた上位項目のうち多くが、全市に比べて低い割合となっている。



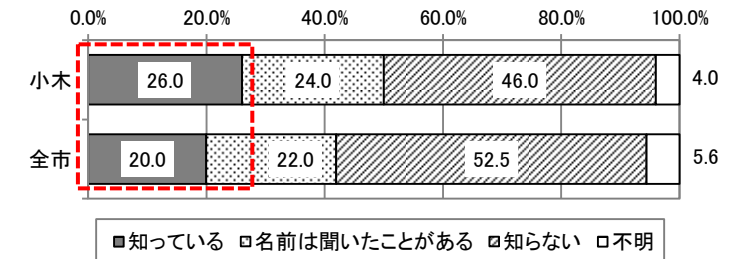
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は、全市とほぼ同様。
- ・地域包括の認知度は全市に比べて高くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



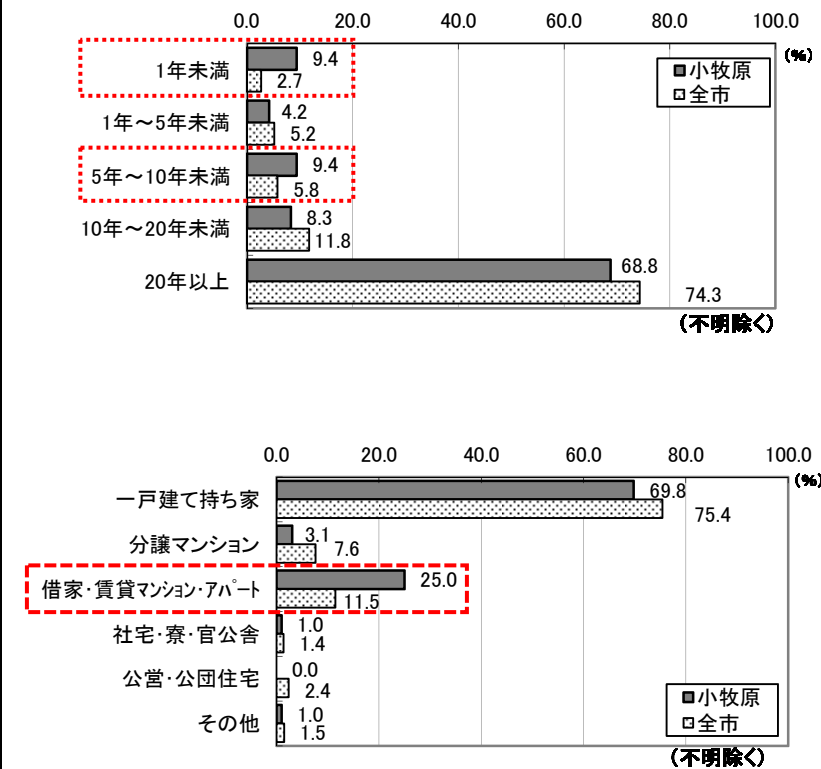
○地域包括の認知度



小牧原

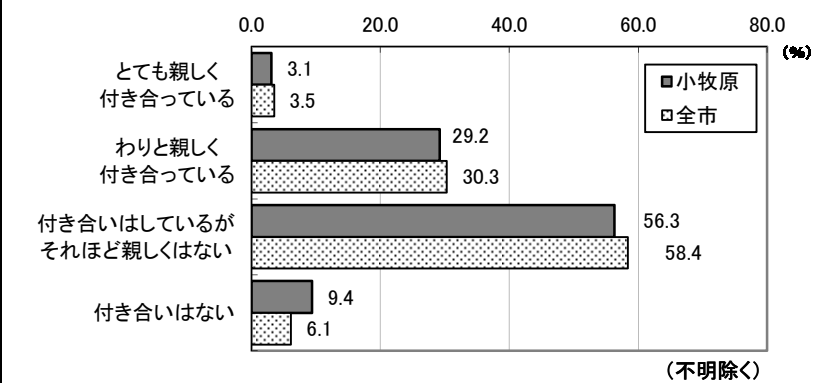
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が「1年未満」「5年～10年未満」の割合が高い。
- ・全市に比べて、「借家・賃貸マンション・アパート」の割合が高くなって
- いる一方で、「一戸建て持ち家」の割合は低い。



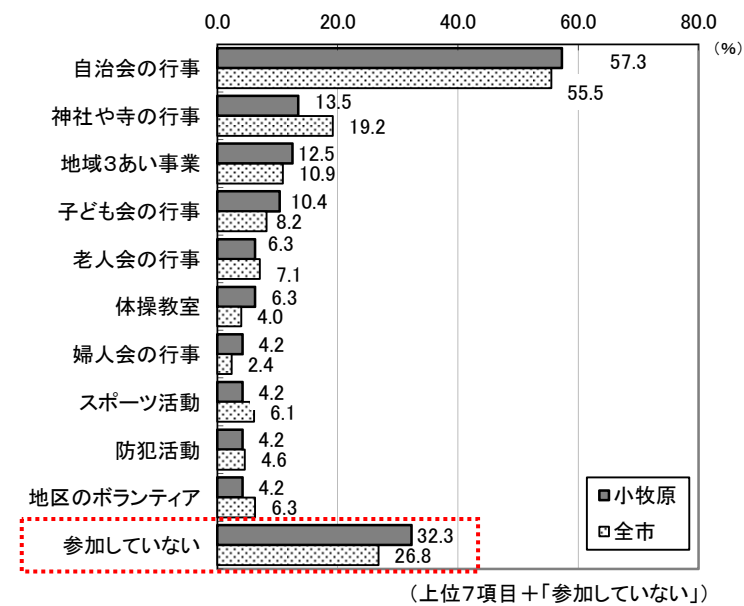
■近所づきあい

- ・近所づきあいの程度は、全市とほぼ同様



■地域活動や行事への参加

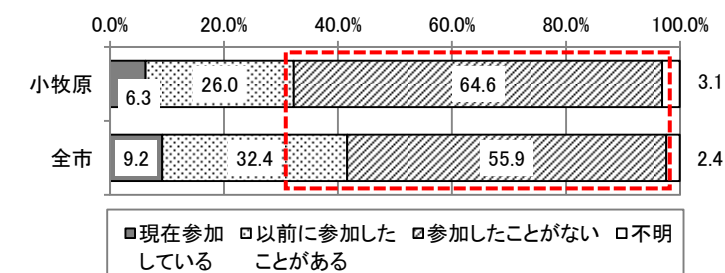
- ・いずれの地域活動や行事にも参加していない人の割合が、全市に比べてやや高い。



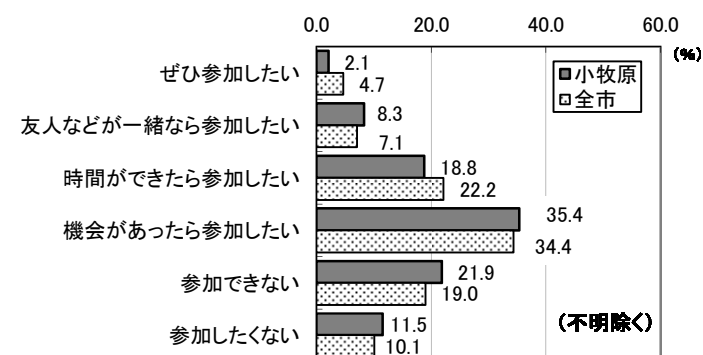
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動参加経験のある割合が、全市に比べて低い。
- ・今後の参加意向については、全市とあまり違いはない。

○現在の参加状況

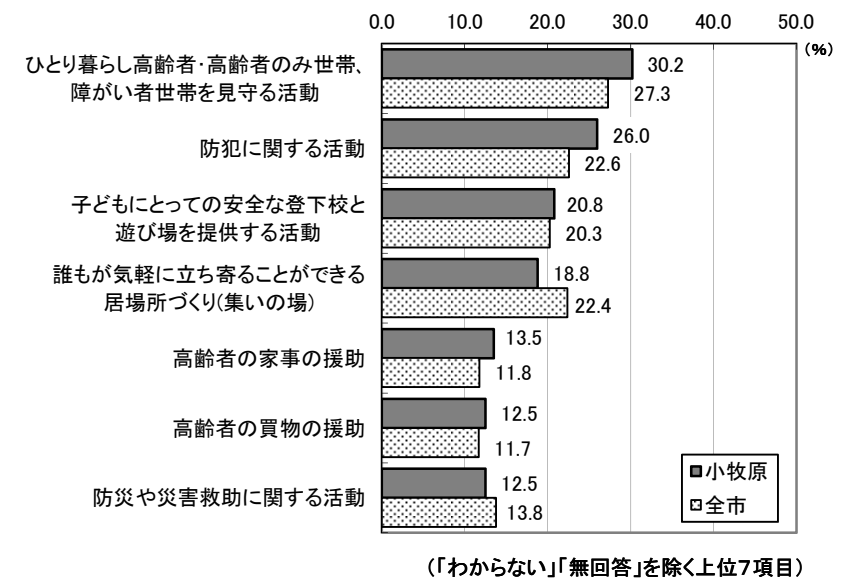


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

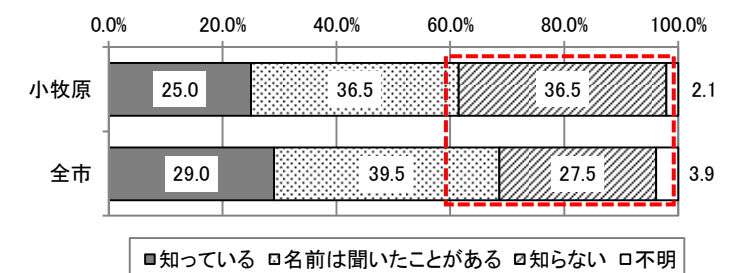
- ・あげられた上位項目の割合は、全市とあまり違いはない。



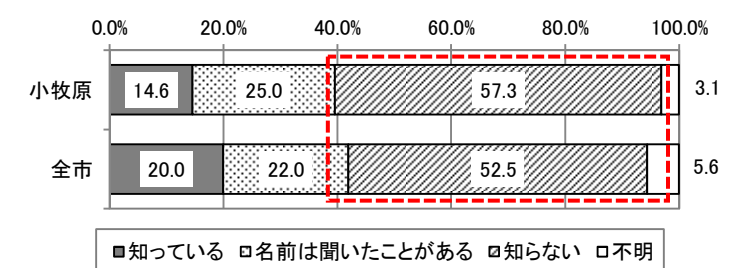
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協、地域包括ともに、認知度は全市に比べて低くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



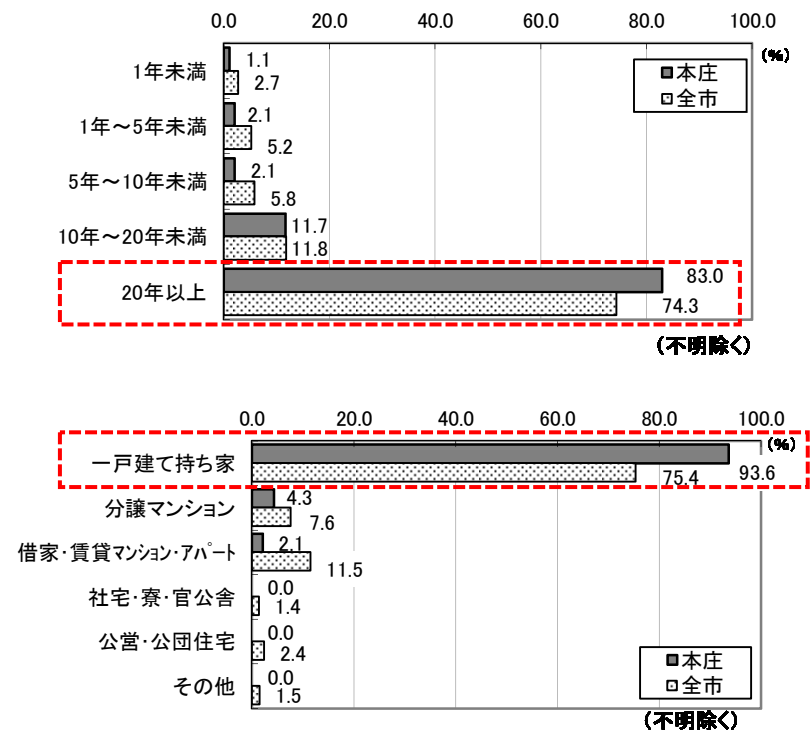
○地域包括の認知度



本庄

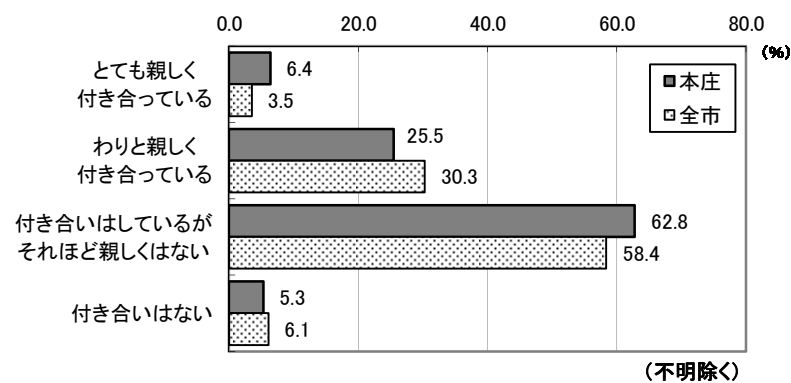
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が「20年以上」と長い人の割合が全市に比べて高い。
- ・全市に比べて、「一戸建て持ち家」の割合がかなり高い。



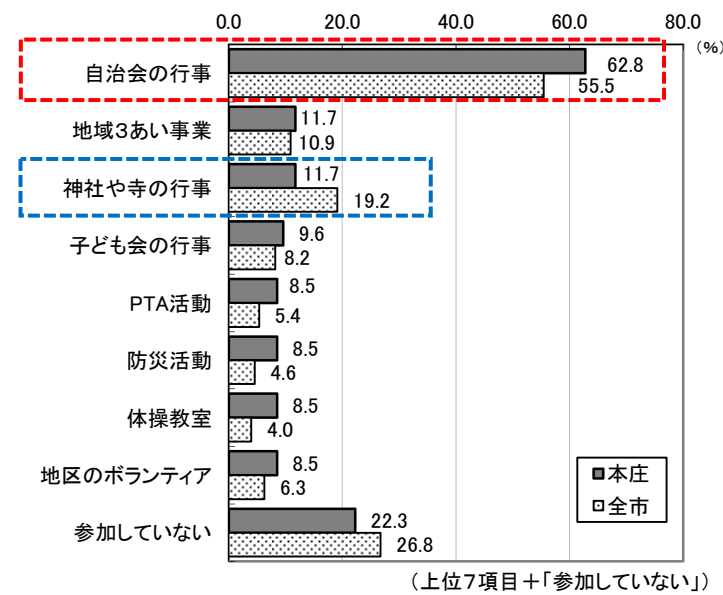
■近所づきあい

- ・比較的親しく付き合っている割合が全市に比べてやや低い。



■地域活動や行事への参加

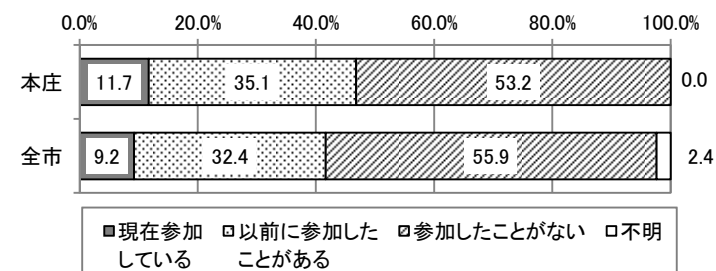
- ・「自治会の行事」への参加率が全市に比べて高い一方で、「神社や寺の行事」への参加率は全市より低い。



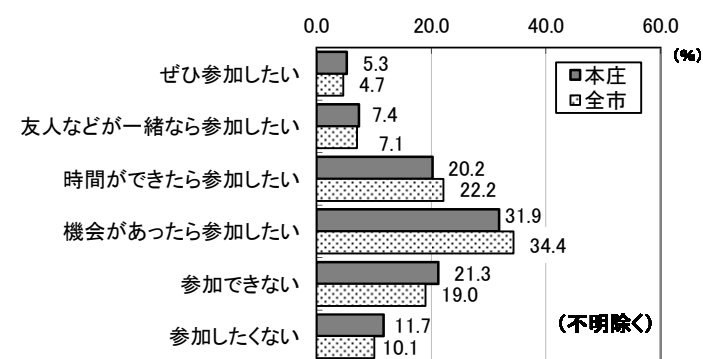
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験は全市とあまり違いはない。
- ・今後の参加意向も全市とほぼ同様。

○現在の参加状況

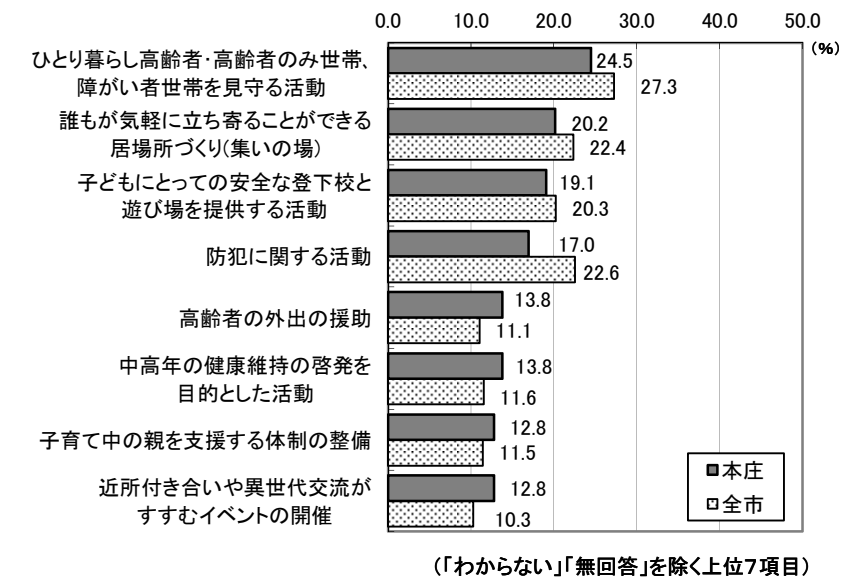


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

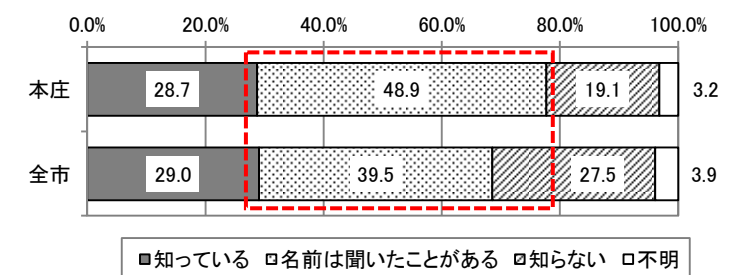
- ・多ジャンルの項目があげられている一方で、上位項目のうち多くが、全市にくらべて低い割合となっている。



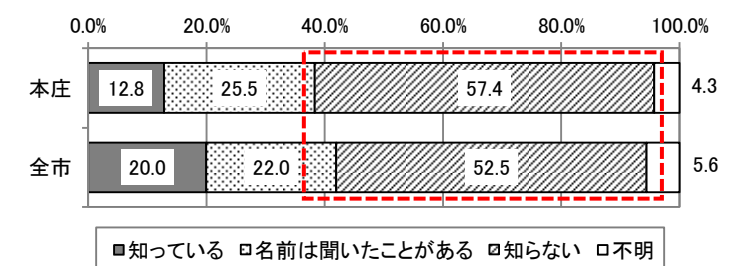
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は、「名前をきいたことがある」割合が全市に比べて高い。
- ・一方、地域包括の認知度は全市に比べてやや低くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



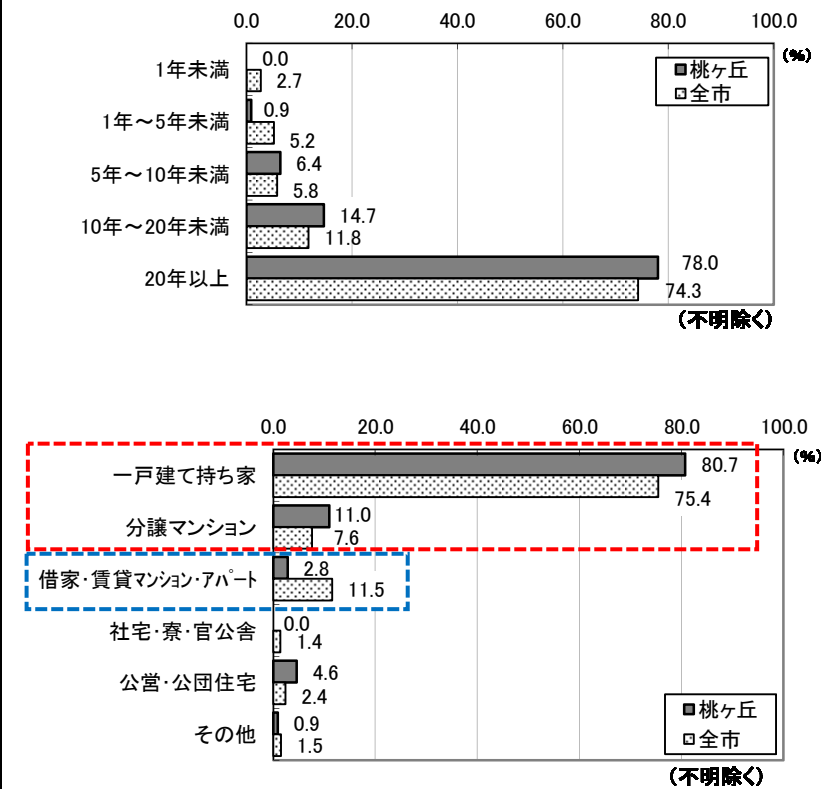
○地域包括の認知度



桃ヶ丘

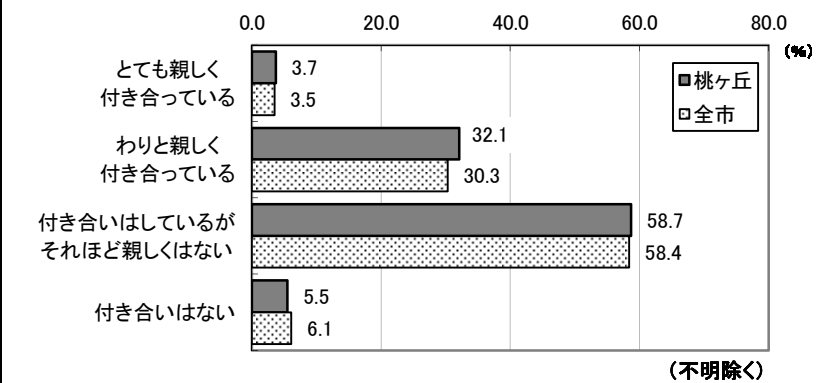
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数については全市とあまり違いはない。
- ・全市に比べて、「一戸建て持ち家」「分譲マンション」の割合がやや高く、一方「借家・賃貸マンション・アパート」は低くなっている。



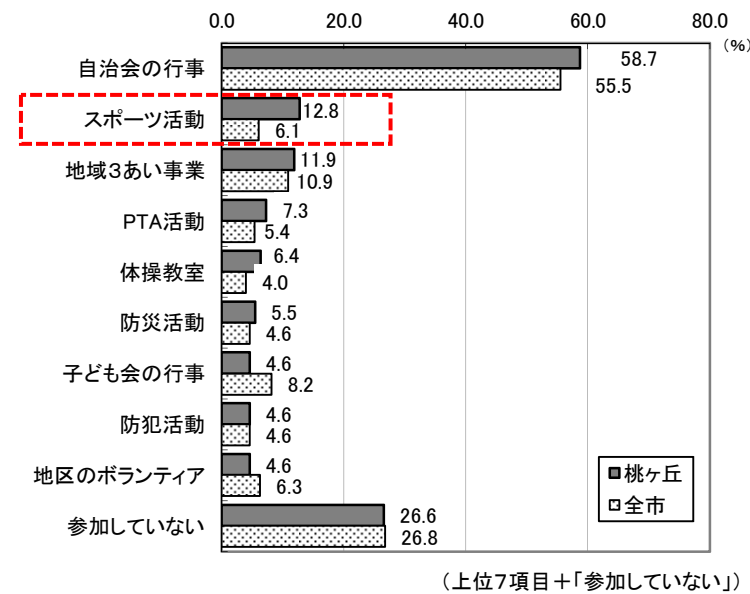
■近所づきあい

- ・近所づきあいの程度は、全市とほぼ同様。



■地域活動や行事への参加

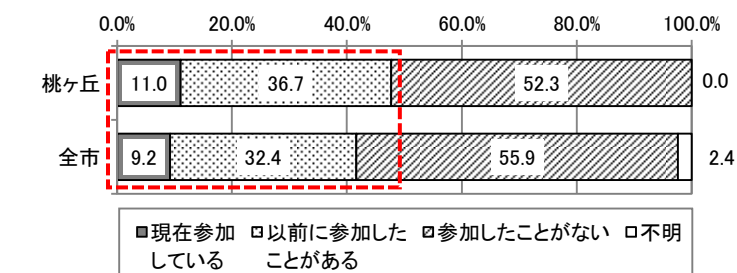
- ・全市とほぼ同様であるが、「スポーツ活動」への参加率が全市に比べて高くなっている。



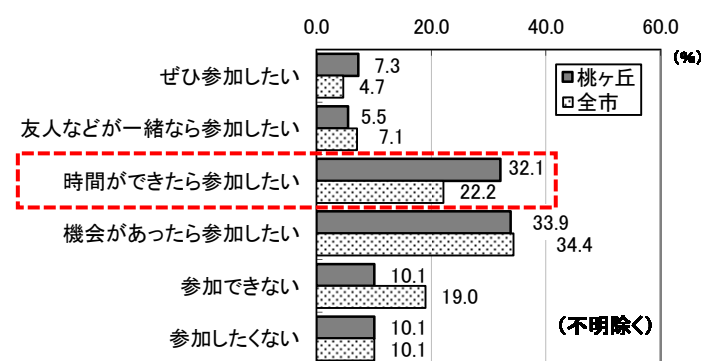
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験の割合が、全市に比べて高い。
- ・今後の参加意向については、「時間ができたら参加したい」とする割合が、全市に比べてかなり高くなっている。

○現在の参加状況

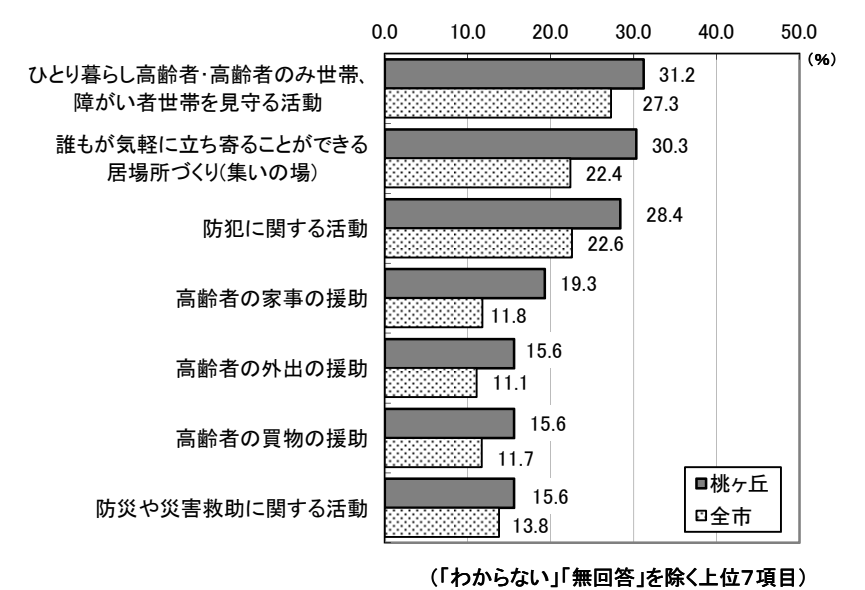


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

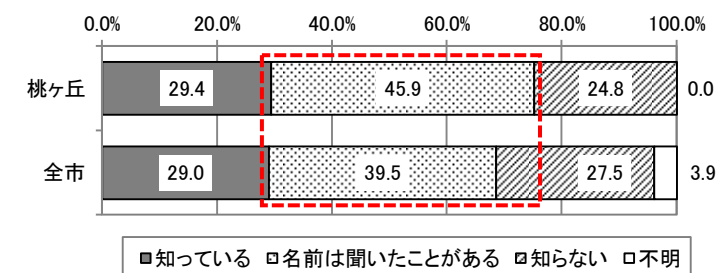
- ・高齢者に関する項目と防災・防犯の項目があげられており、割合はいずれも全市より高くなっている。



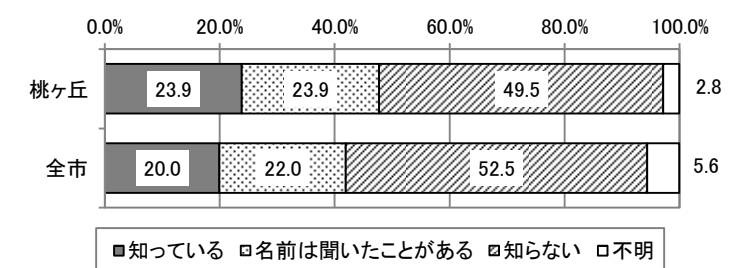
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協の認知度は、「名前は聞いたことがある」割合が全市に比べて高くなっている
- ・地域包括の認知度は全市と同程度。

○社会福祉協議会の認知度

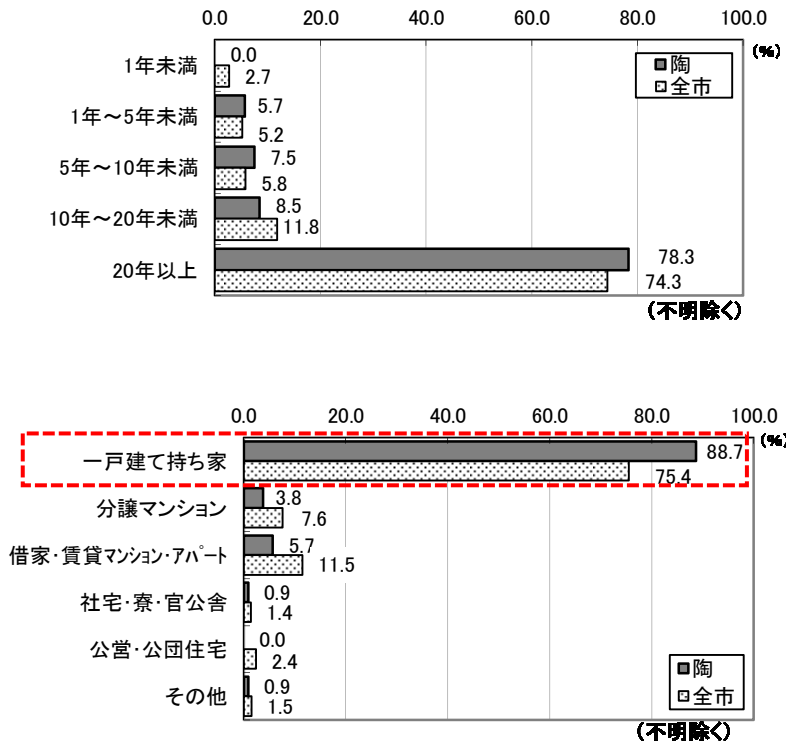


○地域包括の認知度



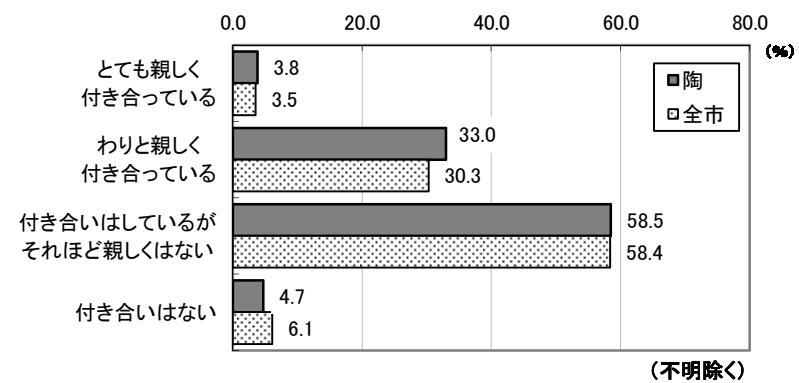
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数については全市とあまり違いはない。
- ・全市に比べて、「一戸建て持ち家」の割合がかなり高くなっている



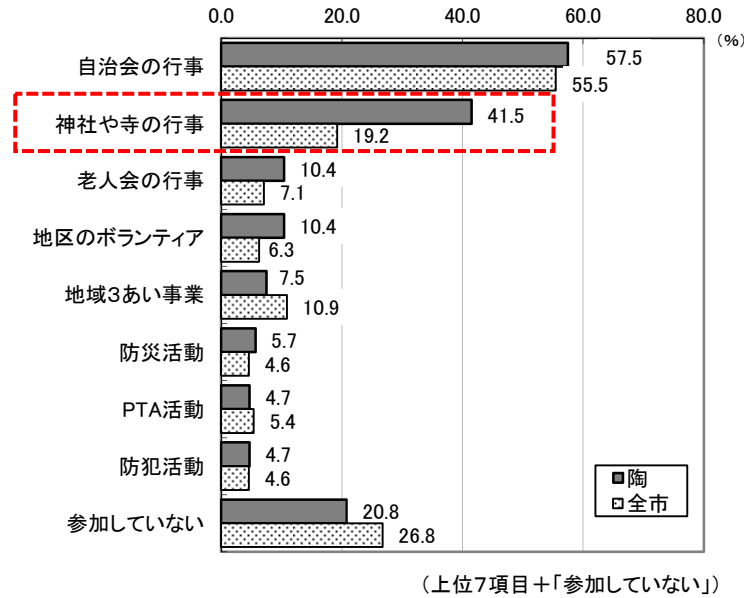
■近所づきあい

- ・近所づきあいの程度は、全市とほぼ同様。



■地域活動や行事への参加

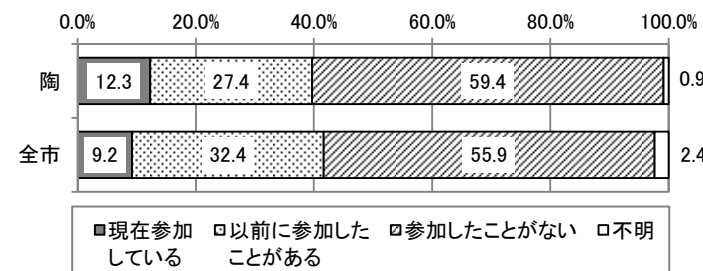
- ・何らかの地域活動や行事に参加している割合が、全市に比べて高く、特に「神社や寺の行事」への参加率が全市よりかなり高くなっている。



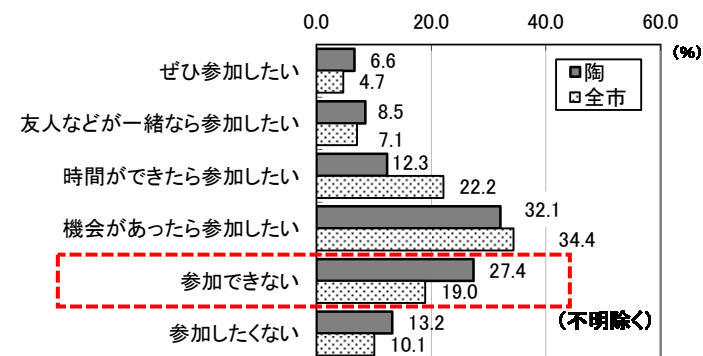
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験は全市とあまり違いはない。
- ・今後の参加意向については、「参加できない」とする割合が、全市に比べて高くなっている。

○現在の参加状況

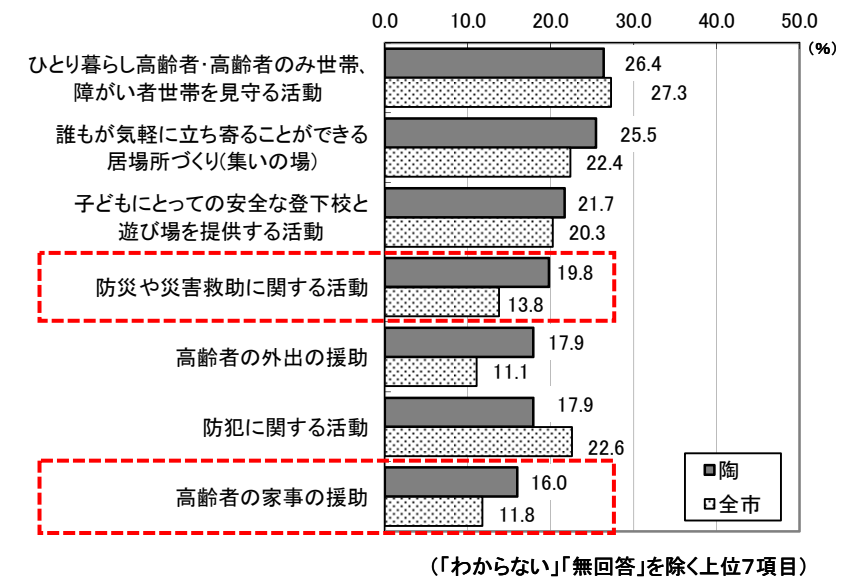


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

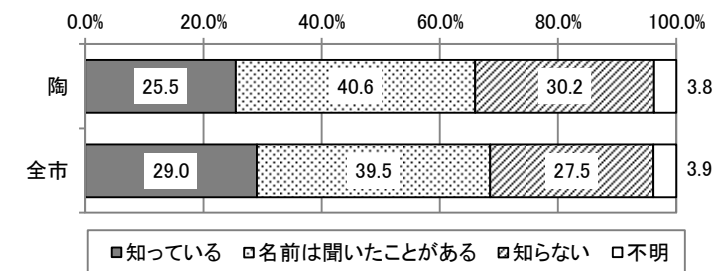
- ・上位にあがっているもの大きな違いはないものの、「高齢者の外出の援助」「高齢者の家事の援助」をあげる割合が、全市に比べて高くなっている。
- ・「防災や災害援助に関する活動」の割合も全市に比べて高い。



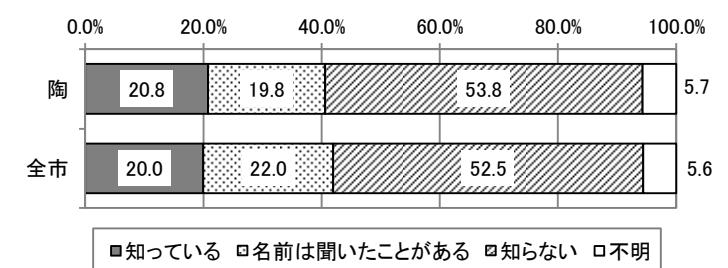
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協、地域包括ともに、認知度は全市とほぼ同様。

○社会福祉協議会の認知度



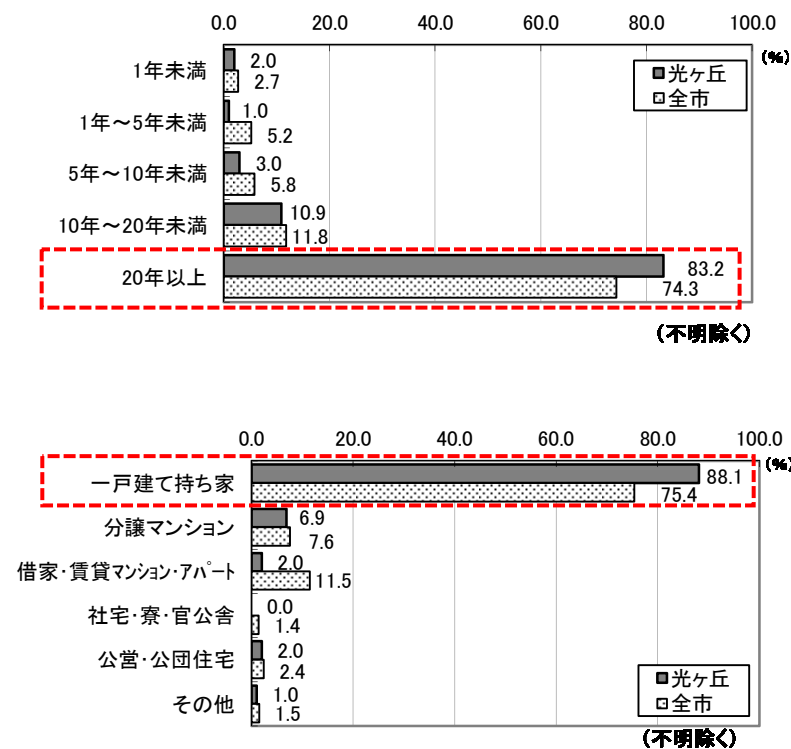
○地域包括の認知度



光ヶ丘

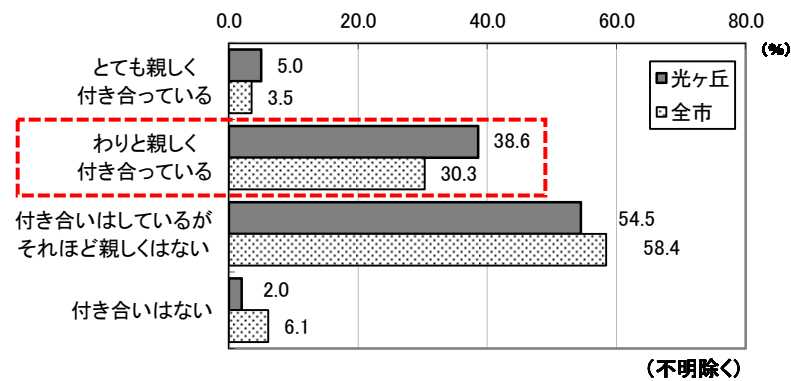
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が20年以上と長い人の割合が全市に比べて高い。
- ・全市に比べて、「一戸建て持ち家」の割合が高くなっている。



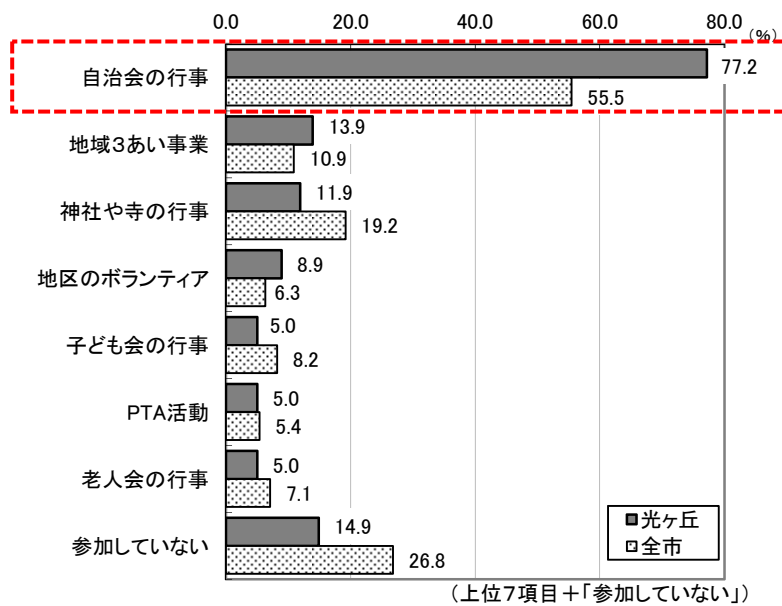
■近所づきあい

- ・親しく付き合っている割合が全市に比べて高い。



■地域活動や行事への参加

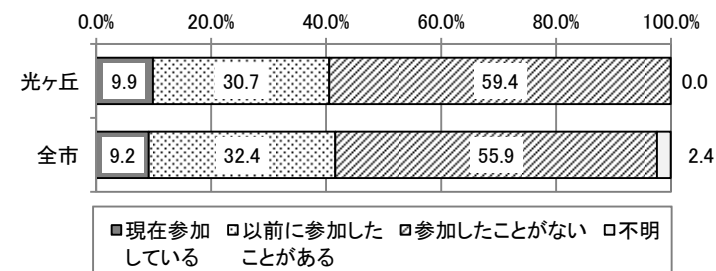
- ・何らかの地域活動や行事に参加している割合が、全市に比べてかなり高く、特に「自治会の行事」への参加率が全市に比べて非常に高くなっている。



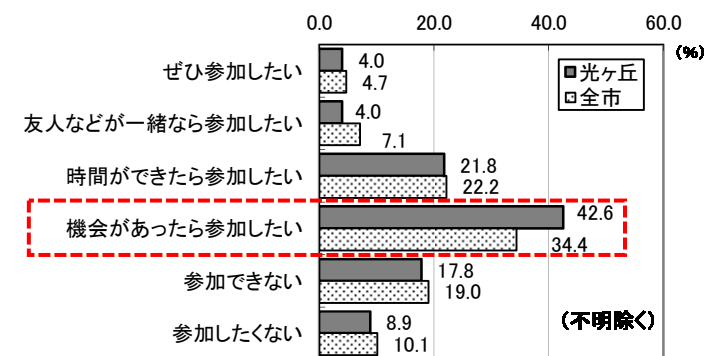
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験は全市とあまり違いはない。
- ・今後の参加意向については、「機会があったら参加したい」割合が、全市に比べて高くなっている。

○現在の参加状況

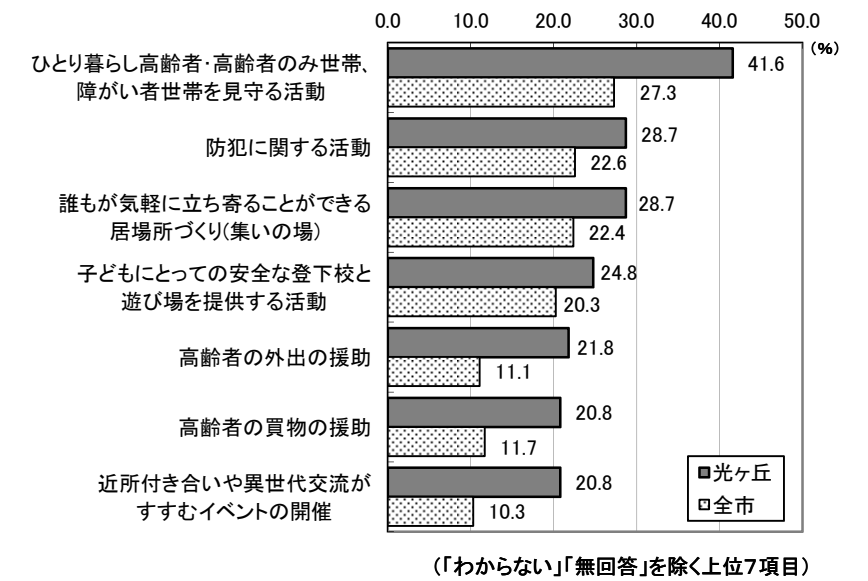


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

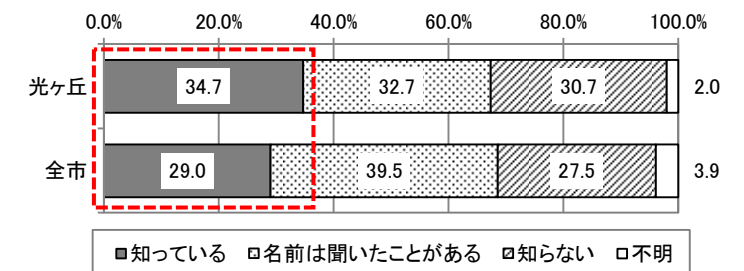
- ・あげられた上位項目の全ての割合が、全市よりかなり高くなっている。



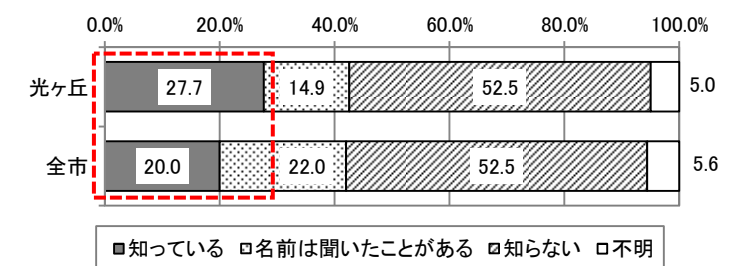
■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協、地域包括ともに「知っている」割合は、全市より高いものの、「知らない」割合は全市と同程度となっている。

○社会福祉協議会の認知度



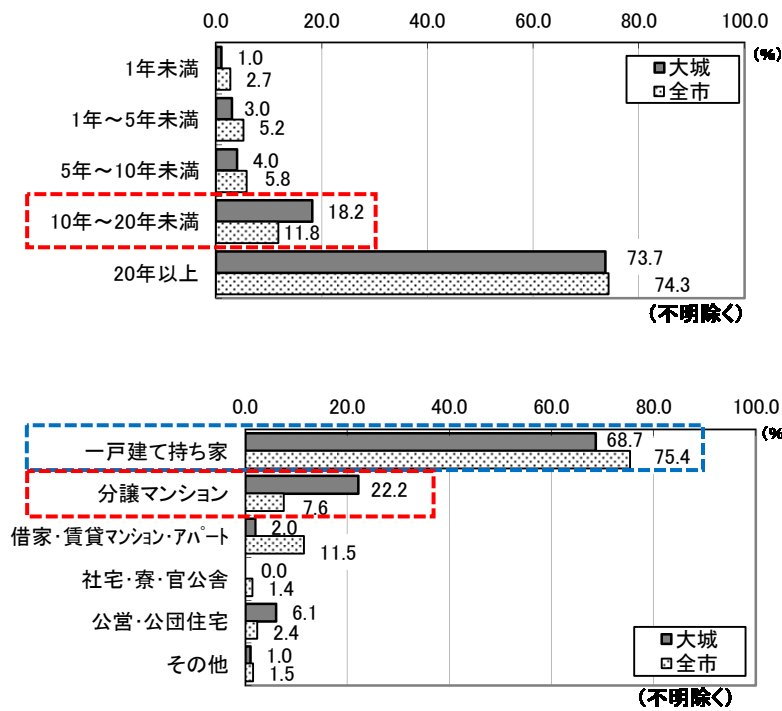
○地域包括の認知度



大城

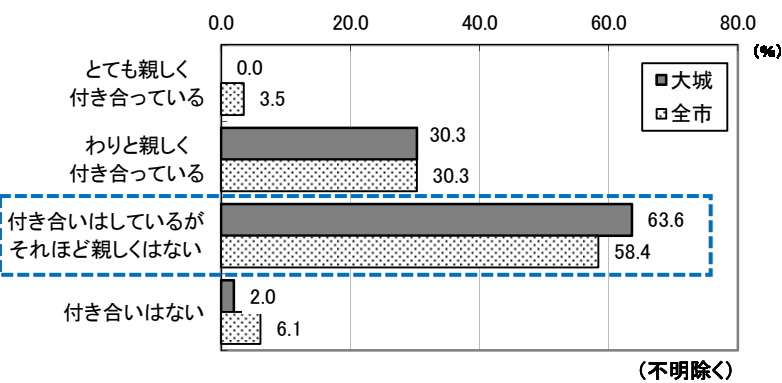
■居住年数・住まいの状況

- ・居住年数が「10年～20年未満」の割合が全市に比べて高い。
- ・全市に比べて、「分譲マンション」の割合がかなり高くなっている一方で、「一戸建て持ち家」の割合が低くなっている。



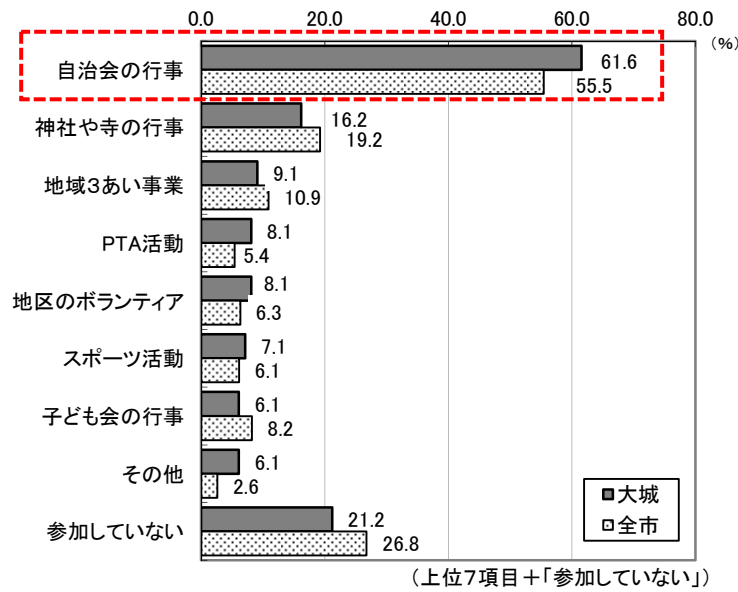
■近所づきあい

- ・比較的親しく付き合っている割合が全市に比べて低い。



■地域活動や行事への参加

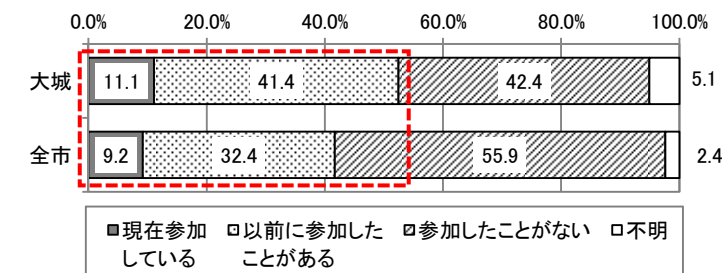
- ・何らかの地域活動や行事に参加している割合が、全市に比べて高くなっている。特に「自治会の行事」への参加率が全市に比べて高い。



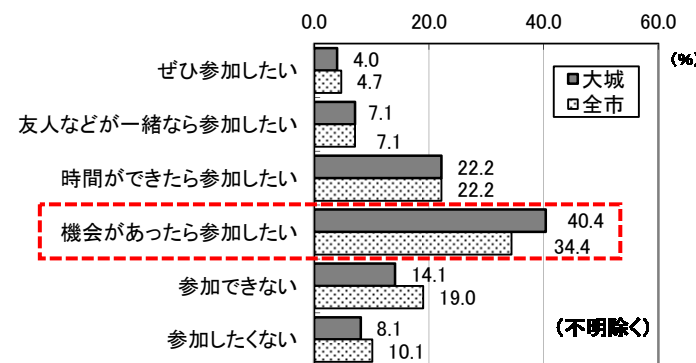
■ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加経験の割合は、全市に比べて高い。
- ・今後の参加意向については、「機会があったら参加したい」割合が、全市に比べて非常に高くなっている。

○現在の参加状況

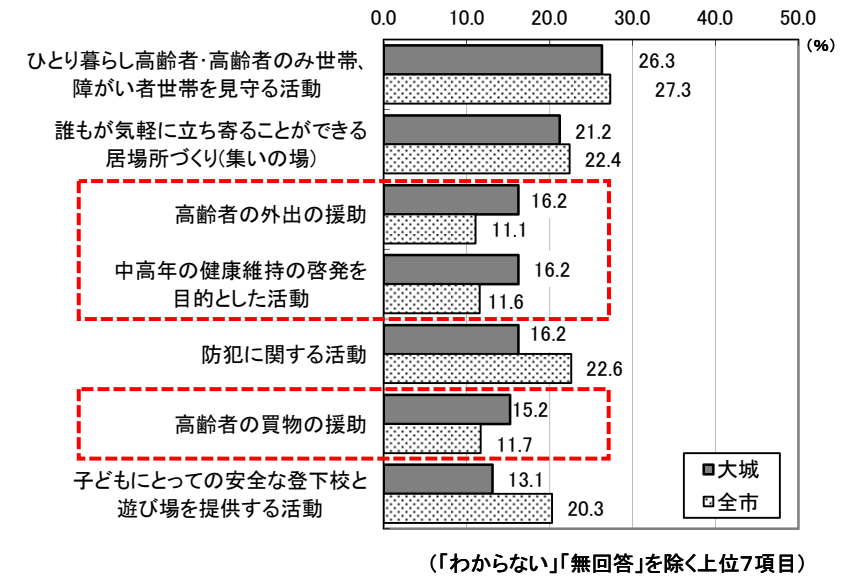


○今後の参加意向



■地域に必要な活動

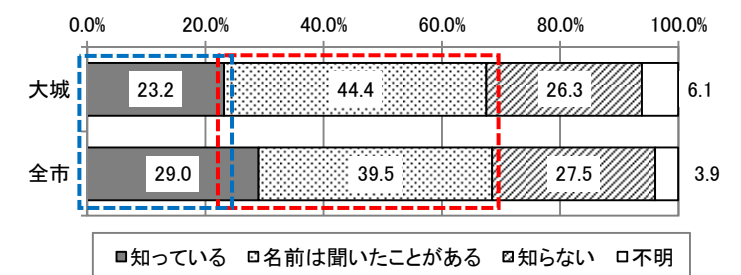
- ・「高齢者の外出の援助」や「高齢者の買物の援助」と、「中高年の健康維持の啓発を目的とした活動」をあげる割合が全市より高くなっている。



■社協の認知度・地域包括の認知度

- ・社協、地域包括ともに、「名前は聞いたことがある」割合は全市に比べて高くなっている一方、「知っている」割合は低くなっている。

○社会福祉協議会の認知度



○地域包括の認知度

